Nikon

研究用倒立顕微鏡 ECLIPSE Ti2 シリーズ用 アプリケーション

Ti2 Control

使用説明書

(Android 版)

はじめに

このたびはニコン製品をお買上げいただき、まことにありがとうございます。

この使用説明書は、「ニコン研究用倒立顕微鏡 ECLIPSE Ti2 シリーズ顕微鏡」のアプリケーションソフトウェア「Ti2 Control」のインストールおよび、操作方法について説明しています。

ご使用前によくお読みになり、正しくお使いくださいますようお願いいたします。

顕微鏡のシステム構成や接続手順については、ハードウェアマニュアルをご覧ください。

- 本書の内容の一部、または全部を無断で複写、転記することを禁止します。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に掲載されている製品の外観は、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不明な点や、誤り、お気付きの点がございましたら、購入先 にご連絡くださいますようお願いいたします。
- 同時にお使いになる製品がある場合は、その製品の使用説明書も併せてお読みください。
- 製造業者が指定していない使い方をされた場合、製品の安全性が損なわれる恐れがあります。
- 本書に掲載されている画像は参考画像であり、実際のアプリケーションの画像とは異なる場合があります。

必要な基本知識

この使用説明書は、Androidの基本的な知識があるユーザーを対象として書かれています。 使用説明書を読み進めている中でわからない用語や操作がある場合は、お使いのスマートデバイスの使用説明書をご覧く ださい。

商標

Google、Android は、米国 Google 社の米国および各国における登録商標です。 その他の会社名、製品名は、それぞれの登録商標または商標です。 本文中の各社の登録商標または商標には、™、®マークは表示しておりません。

参照データ

Ti2 Control にて参照している蛍光プローブのスペクトルデータは、Takara BIO USA Inc. から提供を受けたものです。 Some spectral data is copyright of Takara BIO USA, Inc. and used with permission.

Ti2 Control にて参照している蛍光プローブのスペクトルデータは、Thermo Fisher Scientific Inc. から提供を受けたものです。

Some spectral data is copyright of Thermo Fisher Scientific Inc. and used with permission.

免責

ニコンは、お客様が本アプリケーションを使用することに関連して、お客様ご自身または第三者において、損害の発生その他の問題が生じた場合においても、一切の責任および義務を負担しないものとします。

「Ti2 Control」ご使用にあたって

- 本アプリケーションは、Ti2-E/Ti2-A の設定、Ti2-E の制御、および Ti2-A の状態表示、アシストガイドの表示を するためのアプリケーションです。
- はじめて顕微鏡本機をご使用の際は、必ずセットアップ機能で顕微鏡システムの情報を設定し、顕微鏡システム側 に送信(Send)してください。
- 顕微鏡システム側では、送信された情報を記憶しますが、新たな情報が送信されますと前の情報は上書きされます。
- セットアップ機能またはその他の設定機能を使って設定した情報は、セットアップ画面のサブ項目[設定読込・保存] 欄の[保存]機能でファイル名をつけて保存することをお勧めします。
- 顕微鏡本機を Ti2 Control 以外のアプリケーションで使用する際に、スマートデバイス側の Ti2 Control からの操作を制限することができます。
 制限中はスマートデバイス側の Ti2 Control の画面右上に "Locked" と赤文字が表示されます。
 なお、スマートデバイス側でアシストガイド使用中に Ti2 Control 以外のアプリケーションから制限をかけられた場合は、制限中であることを示すメッセージが表示されます。[OK]をタップするとアシストガイドのトップ画面に戻ります。
- Android 端末で Ti2 Control が Live 表示中に OS または他のアプリによる割込みが発生すると、Live が中断されて Home 画面に戻ることがあります。

本書で使用する画面

「Ti2 Control」は、接続されている顕微鏡システムや電動装置によって、表示されるメニューや内容が異なります。

本書では、章ごとに Ti2-E と Ti2-A で分けて説明していますが、共通の章では Ti2-E の画面を例に説明を行っています。

目次

はじめに		i
「Ti2 Co	ntrol」ご使用にあたって	ii
第1章	準備	1
1.1	必要なハードウェアとソフトウェア	2
1.2	アプリケーションのインストール	3
	1.2.1 Google Playからインストールする場合	3
	1.2.2 Google Playを使用せずにインストールする場合	4
	1.2.3 Google Playを使用せずにインストールしたアプリのアンインストール方法	9
1.3	アプリケーションの起動	11
	1.3.1 起動方法	11
1.4	顕微鏡システムをLANに接続する	12
	1.4.1 デバイスから顕微鏡にアクセスする	12
	1.4.2 無線ルーターと顕微鏡システムの組み合わせごとの接続手順	14
第2章	アプリの機能構成: Ti2-A編	16
2.1	アプリの機能構成	17
第3章	セットアップ: Ti2-A編	18
3.1	セットアップの基本操作と画面について	19
-	3.1.1 セットアップの開始	19
	3.1.2 セットアップ画面の構成	19
	3.1.3 設定項目	20
	3.1.4 顕微鏡システム情報の送信	20
3.2	[全般] 顕微鏡とアプリの基本設定	21
	3.2.1 表示言語の設定	21
	3.2.2 Home画面の表示設定(タブレットのみ)	22
	3.2.3 顕微鏡システムの登録	23
	3.2.4 LANの設定	24
	3.2.5 顕微鏡の固定IPアドレスについて	25
3.3	[システム] 顕微鏡構成の表示と手動登録	26
	3.3.1 顕微鏡構成の手動登録	26
3.4	[接続] 装置の接続先設定	30
	3.4.1 カメラの接続設定	30
	3.4.2 FLターレットの接続設定	30
	3.4.3 ブランチ(LAPP)の接続設定	31
	3.4.4 インキュベーターの装着設定	31
	3.4.5 蛍光LED光源(C-LEDFI)の設定	31
3.5	[光学素子] 光学素子の設定	32
	3.5.1 レボルバーの設定	32
	3.5.2 コンデンサーモジュールの設定	34

	3.5.3	フィルターキューブの設定	35
	3.5.4	中間変倍の設定	36
	3.5.5	光路名の設定	36
3.6	[任意光望	学素子] 光学素子の新規登録	37
	3.6.1	対物レンズの新規登録	37
	3.6.2	コンデンサーモジュールの新規登録	39
	3.6.3	フィルターキューブの新規登録	39
3.7	[連動制	卸] 連動機能の設定	40
3.8	[コント	コーラー] 制御可能な機能の設定	41
	3.8.1	ファンクションボタンの設定	41
	3.8.2	その他の制御可能な機能の設定	42
3.9	[インジ	ケーター] インジケーターの設定	43
	3.9.1	顕微鏡側FnLインジケーターの設定	43
	3.9.2	LEDインジケーターの制御	44
	3.9.3	その他の制御	44
3.1	0 [アシス	トカメラ] アシストカメラの設定	45
3.1	1 [設定読)	と・保存] 設定の読込みと保存	46
	3.11.1	設定の読込み	46
	3.11.2	設定の保存	48
	3.11.3	設定転送	49
	3.11.4	設定名の変更	51
	3.11.5	設定ファイルの削除	52
3.1	2 [情報] /	ビージョン情報	53
3.1 筆/音	2 [情報] / タ生産	ビージョン情報	53 54
3.1 第4章	2 [情報] / 各装置	ベージョン情報 の状態表示: Ti2-A編	53 54
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画	ベージョン情報 の状態表示: Ti2-A編 面	53 54 55
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1	ビージョン情報 の状態表示: Ti2-A編 i面 Home画面の構成	53 54 55 55
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2	バージョン情報 の状態表示: Ti2-A編 面 Home画面の構成 リモコンボタン一覧	53 54 55 55 57
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3	 バージョン情報 の状態表示: Ti2-A編 i面 Home画面の構成 リモコンボタン一覧 対物レンズの状態表示 コンデンサーの出作まー 	53 54 55 55 57 58
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4	 ベージョン情報 の状態表示: Ti2-A編 i面 Home画面の構成 リモコンボタン一覧 対物レンズの状態表示 コンデンサーの状態表示 コンデンサーの状態表示 	53 54 55 55 57 58 59
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.5	 ベージョン情報 (の状態表示: Ti2-A編 i面 Home画面の構成 リモコンボタン一覧 対物レンズの状態表示 コンデンサーの状態表示 フィルターキューブの状態表示 ※800世能表示 	53 54 55 57 58 59 60
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7	 ベージョン情報 の状態表示: Ti2-A編 i面 Home画面の構成 リモコンボタン一覧 対物レンズの状態表示 コンデンサーの状態表示 フィルターキューブの状態表示 洗路の状態表示 添過昭明装置(DIA)の操作 	53 54 55 57 58 59 60 61 62
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8	 ベージョン情報 の状態表示: Ti2-A編 i面 Home画面の構成 リモコンボタン一覧 対物レンズの状態表示 コンデンサーの状態表示	53 54 55 57 58 59 60 61 62 63
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9	 ベージョン情報 の状態表示: Ti2-A編	53 54 55 57 58 59 60 61 62 63 63
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9 4.1.10	 バージョン情報	53 55 55 57 58 59 60 61 62 63 63 63
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9 4.1.10 4.1.11	 ベージョン情報 ゆ状態表示: Ti2-A編 ina Home画面の構成 リモコンボタン一覧 対物レンズの状態表示 コンデンサーの状態表示 フィルターキューブの状態表示 ブムルターキューブの状態表示 送過照明装置(DIA)の操作 FLターレットのシャッターの開閉状態表示	53 55 55 57 58 59 60 61 62 63 63 64 65
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9 4.1.10 4.1.11 4.1.12	 ページョン情報	53 55 55 57 58 59 60 61 62 63 63 63 63 64 65 66
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9 4.1.10 4.1.11 4.1.12 4.1.13	 パージョン情報	53 55 55 57 58 59 60 61 62 63 63 64 65 66 67
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9 4.1.10 4.1.11 4.1.12 4.1.13 Live画面	 パージョン情報	53 55 55 57 58 59 60 61 62 63 63 63 64 65 66 67 68
3.1 第4章 4.1	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9 4.1.10 4.1.11 4.1.12 4.1.13 Live画面 4.2.1	ページョン情報	53 55 55 57 58 59 60 61 62 63 63 63 64 65 66 67 68 68
3.1 第4章 4.1 4.2	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9 4.1.10 4.1.11 4.1.12 4.1.13 Live画面 4.2.1	 パージョン情報	53 55 55 57 58 59 60 61 62 63 63 64 65 66 67 68 68
3.1 第4章 4.1 4.2 第5章	2 [情報] / 各装置 Home画 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9 4.1.10 4.1.11 4.1.12 4.1.13 Live画面 4.2.1 高度な	パージョン情報	53 55 55 57 58 59 60 61 62 63 63 64 65 66 67 68 68 68 68 69

	5.1.1 Checkモードの使い方	70
5.2	リモコンボタンの配置	72
	5.2.1 リモコンボタンの配置変更	72
	5.2.2 保存したリモコンボタン配置を呼出す	75
5.3	Modeの登録と再現	76
	5.3.1 Modeの保存	76
	5.3.2 登録済みModeの呼出し 8	32
	5.3.3 登録済みModeの編集 8	34
第6章	アプリの機能構成: Ti2-E編8	35
6.1	アプリの機能構成 8	36
第7章	セットアップ: Ti2-E編	37
7.1	セットアップの基本操作と画面について	38
	7.1.1 セットアップの開始	38
	7.1.2 セットアップ画面の構成 8	38
	7.1.3 設定項目	39
	7.1.4 顕微鏡システム情報の送信 8	39
7.2	[全般] 顕微鏡とアプリの基本設定	90
	7.2.1 表示言語の設定	Э0
	7.2.2 Home画面の表示設定(タブレットのみ)	91
	7.2.3 顕微鏡システムの登録	92
	7.2.4 LANの設定	93
	7.2.5 顕微鏡の固定IPアドレスについて	Э4
7.3	[システム] 顕微鏡構成の表示と手動登録	Э5
	7.3.1 顕微鏡構成の手動登録	Э5
7.4	[接続] 装置の接続先設定10	00
	7.4.1 電動シャッターの接続設定1(00
	7.4.2 カメラの接続設定10	01
	7.4.3 FLターレットの接続設定10	01
	7.4.4 BAフィルターホイールの接続設定10	01
	7.4.5 ブランチ(LAPP)の接続設定10)2
	7.4.6 インキュベーターの装着設定10)2
	7.4.7 蛍光LED光源(C-LEDFI)の設定10)2
7.5	[光学素子] 光学素子の設定10)3
	7.5.1 レボルバーの設定10)3
	7.5.2 コンデンサーモジュールの設定10)5
	7.5.3 フィルターキューブの設定10)6
	7.5.4 BAフィルターの設定10)7
	7.5.5 中間変倍の設定1()8
	7.5.6 外部位相リングの設定1(38
	7.5.7 光路名の設定10)9
7.6	[任意光学素子] 光学素子の新規登録11	10
	7.6.1 対物レンズの新規登録1	10

		7.6.2	コンデンサーモジュールの新規登録	.112
		7.6.3	フィルターキューブの新規登録	.112
		7.6.4	BAフィルターの新規登録	.113
	7.7	[移動動	作] 移動動作の設定	.114
		7.7.1	電動レボルバーの設定	.114
		7.7.2	PFSの設定	.115
		7.7.3	焦準装置(Zステージ)の設定	.115
		7.7.4	未設定番地スキップ機能の設定	.116
		7.7.5	FLターレットの駆動速度設定	.116
		7.7.6	フィルターシャッターの設定	.117
		7.7.7	光路の設定	.117
		7.7.8	初期化位置(LAPP)の設定	.118
	7.8	[連動制	御] 連動機能の設定	.119
		7.8.1	対物レンズ切替え時の連動設定	.119
		7.8.2	シャッターの連動設定	.120
		7.8.3	透過照明(DIA)の光量設定	.120
		7.8.4	同焦点補正の設定	.121
		7.8.5	同軸補正の設定	.122
	7.9	[コント	ローラー] ファンクションの機能割当て	.123
		7.9.1	顕微鏡本体とジョイスティックのファンクションボタンの設定	.123
		7.9.2	カスタムファンクションボタンの設定	.125
		7.9.3	シャトルスイッチの設定	.126
		7.9.4	DIA照明の設定	.126
		7.9.5	Zハンドルの設定	.127
		7.9.6	XYジョイスティックの設定	.128
		7.9.7	ボタン・スイッチの制御	.130
		7.9.8	PFSオフセットダイヤルの制御	.130
	7.10	[インジ	ケーター] インジケーターの設定	.131
		7.10.1	. 顕微鏡側FnL/FnRインジケーターの設定	.131
		7.10.2	2 ジョイスティックのLCD表示画面の設定	.132
		7.10.3	3 LEDインジケーターの制御	.133
		7.10.4	+ その他の制御	.133
	7.11	[アシス	トカメラ] アシストカメラの設定	.134
	7.12	[落射照	明] D-LEDIの設定	.135
	7.13	[設定読]	込・保存] 設定の読込みと保存	.136
		7.13.1	. 設定の読込み	.136
		7.13.2	2 設定の保存	.138
		7.13.3	3 設定転送	.139
		7.13.4	- 設定名の変更	.141
		7.13.5	5 設定ファイルの削除	.142
	7.14	[情報] /	バージョン情報	.143
谷ら	÷	夕壮平		1 / /
おび	早	合表直	』の町岬と衣水: IIZ-E柵	144
	8.1	Home画	面	.145

	8.1.1	Home画面の構成145
	8.1.2	リモコンボタン一覧147
	8.1.3	対物レンズの操作149
	8.1.4	コンデンサーの操作150
	8.1.5	フィルターキューブの操作151
	8.1.6	BAフィルターの操作152
	8.1.7	光路の切替え153
	8.1.8	外部位相リングの操作154
	8.1.9	透過照明装置 (DIA) の操作155
	8.1.10	FLターレットのシャッターの開閉156
	8.1.11	落射照明用電動シャッターの開閉156
	8.1.12	透過照明用電動シャッターの開閉156
	8.1.13	アシストカメラ画像のキャプチャー(アシスト鏡筒ベース使用時のみ)157
	8.1.14	対物レンズの退避と復帰157
	8.1.15	表示専用ボタン158
	8.1.16	落射照明の光路切替え159
	8.1.17	落射光源装置にC-LEDFIを使用する場合の操作160
	8.1.18	落射光源装置にD-LEDIを使用する場合の操作161
	8.1.19	落射光源装置にインテンシライトを使用する場合の操作163
	8.1.20	アプリ側のファンクションボタンによる操作164
	8.1.21	カスタムファンクションボタンによる操作165
8.2	XYZ画面	i166
	8.2.1	XYZ画面の構成167
	8.2.2	情報表示エリア168
	8.2.3	リモコンボタンエリア171
	8.2.4	カメラコントロール171
	8.2.5	XYZ操作エリア172
	8.2.6	Memory
	8.2.7	Mapモード177
第9章	高度な	使い方: Ti2-E編 179
9.1	Checkモ	ード
	9.1.1	Checkモードの使い方180
9.2	リモコン	/ボタンの配置182
	9.2.1	リモコンボタンの配置変更182
	9.2.2	保存したリモコンボタン配置を呼出す185
9.3	Mode連續	動の登録と再現
	9.3.1	Mode連動の保存186
	9.3.2	登録済みModeの呼出し194
	9.3.3	登録済みModeの編集196
第10章	アシス	トガイドの使い方 197
10.1	アシスト	ガイドについて
	10.1.1	Assist Guide画面(Top画面)
	10.1.2	Assist Guide画面(ガイド中)

	アシストガイドの開始	10.2
	付録: Ti2-E編	第11章
	ファンクションボタンの割当て機能一	11.1
ボタンの初期設定208	11.1.1 Ti2-E顕微鏡本体側ファンク:	
ボタンの初期設定208	11.1.2 ジョイスティック側ファンク	
	11.1.3 登録可能な機能	
機能割当て一覧217	Ti2-E顕微鏡本体LEDインジケーターの	11.2
	11.2.1 登録可能な表示機能	
一覧218	ジョイスティックのLCD画面の割り当	11.3
	11.3.1 LCD表示の初期設定	
	11.3.2 登録可能な表示機能	





本章では、「Ti2 Control」に必要なハードウェアとソフトウェア、および本アプリケーションソフトウェアのインストー ル方法アンインストール方法について説明します。

1.1 必要なハードウェアとソフトウェア

🕑 注意

ノートパソコンとスマートデバイスの組み合わせによっては、スマートデバイスをノートパソコンに近づけたときに、ノートパ ソコンがスリープ状態になることがありますのでご注意ください。

項目	条件		
プロセッサー	ARM 互換		
LAN	無線 LAN: IEEE802.11ac、または IEEE802.11n (IEEE802.11ac を推奨)		
RAM	2GB 以上		
ストレージ	16GB以上		
解像度(アスペクト比)	タブレット: 1,920 x 1,200 以上(4:3、16:9 または 16:10)		
	スマートフォン: 640 x 480 以上(4:3、16:9 または 18:9)		
推奨デバイス	Google Pixel Tablet		
	Google Pixel 8		
プラットフォーム	Android OS Ver. 8.0 以上		
備考	インストールについて		
	「Ti2 Control」は、Google Play から入手できます。		
	すべてのデバイスにて動作を保証するものではありません。		
	詳細については、弊社製品の購入先へお問い合わせください。		

1.2 アプリケーションのインストール

ここではアプリのインストールの方法について説明します。

🕑 注意

• 「Ti2 Control」のアンインストール方法は、通常の Android アプリと同じです。

✓ アプリのアップデートや再インストール時の注意

Google Play を使用せずにインストールした「Ti2 Control」がデバイス内に存在する場合は、アプリのアップデートができません。その場合は、「Ti2 Control」をいったんアンインストールしてから再インストールしてください。 詳しくは「1.2.3 Google Playを使用せずにインストールしたアプリのアンインストール方法」を参照してください。

1.2.1 Google Play からインストールする場合

- 1. デバイスで[Play ストア]のアイコンをタップして、Google ▼ インストール Play にアクセスします。
- 2. 「Ti2 Control」を検索して、インストールします。



Google Play を使用せずにインストールする場合 1.2.2

お手元の PC に「Ti2 Control」のインストーラーファイル(*.apk)をご用意ください。 インストーラーの入手方法については、弊社製品の購入先へお問い合わせください。

準備

- 1. デバイスで[設定]のアイコンをタップします。 設定画面が表示されます。
- 2. [セキュリティ]をタップします。

セキュリティ画面が表示されます。

- 3. [提供元不明のアプリ]のスイッチを ON にします。 警告画面が表示されます。

認証情報ストレージ ストレージのタイプ ハードウェア式

▼ セキュリティ画面

端末管理アプリ 端末管理アプリを表示または無効にする

提供元がPlayストアではないアプリのインストー ルを許可する

← セキュリティ

提供元不明のアプリ

信頼できる認証情報 信頼できるCA証明書を表示する

ストレージからのインストール ストレージから証明書をインストールする

認証ストレージの消去 証明書をすべて削除す

詳細設定

信頼できるエージェント 使用するには、まず画面ロックを設定してください

О́С				
定画面				
	۹	:		
セキュリティ)		
アカウント				
Google				
言語と入力				
バックアップとリセット				
x				
日付と時刻				
ユーザー補助				
	 亡 画 面	 定画面		

▼ 準備

4. [OK]をタップします。

[提供元不明のアプリ]のスイッチが ON になります。 これでインストールの準備作業は完了です。

< <i>UT_1</i> /1 :
端末管理アプリ 端末管理アプリを表示または無効にする
提供元不明のアプリ 提供元がPlayストアではないアプリのインストー ルを許可する
提供元不明のアプリからスマートフォンや 個人データが攻撃を受ける可能性が高くな ります。このようなアプリの使用により生 じる可能性があるスマートフォンへの損害 やデータの損失について、ユーザーご自身 が単独で責任を負うことに同意するものと します。
キャンセル OK
ストレージから証明書をインストールする
認証ストレージの消去 証明書をすべて削除する
詳細設定
信頼できるエージェント 使用するには、まず画面ロックを設定してください
← セキュリティ :
端未管理アプリ 端末管理アプリを表示または無効にする
提供元不明のアプリ 提供元がPlayストアではないアプリのインストー ルを許可する
認証情報ストレージ
ストレージのタイプ ハードウェア式
信頼できる認証情報 信頼できるCA証明書を表示する
ストレージからのインストール ストレージから証明書をインストールする
認証ストレージの消去 証明書をすべて削除する
詳細設定
信頼できるエージェント 使用するには、まず画面ロックを設定してください

アプリのインストール

🕑 注意

- アプリをインストールするには、ファイル管理アプリ(ファイルマネージャー)が必要です。
 ファイルマネージャーは、お使いのスマートデバイスに付属のファイル管理アプリを使用してください。
- Nexus シリーズをご使用の場合は、ファイルマネージャーが付属されていないため、Android 向け無料ファ イル管理アプリをご用意ください。
- 「Ti2 Control」アプリのアップデートや再インストールをする場合は、いったん「Ti2 Control」をアンインスト ールしてから再インストールしてください。アンインストールの方法については「1.2.3 Google Playを使 用せずにインストールしたアプリのアンインストール方法」を参照してください。

1. スマートデバイスと PC を USB ケーブルで接続します。

PC からスマートデバイスがストレージとして認識されます。

- 2. PC からスマートデバイスにアクセスし、インストーラーフ ァイル (*.apk)をスマートデバイス側にコピーします。
- スマートデバイスで、ファイルマネージャーを起動し、イン ▼ インストール開始 ストーラーをコピーしたフォルダーを表示します。

ここでは Android 向け無料ファイル管理アプリの「ES ファ イルエクスプローラー」を例に説明しています。

4. インストーラーをタップします。

プロパティが表示されます。



5. [インストール]をタップします。

確認メッセージが表示されます。

▼ プロパティ



6. [インストール]をタップします。

▼ インストール開始

通 Ti2 Control
このアプリケーションをインストールしてもよ ろしいですか?このアプリケーションは下記に アクセスする場合があります:
◎ 写真と動画の撮影
■ USBストレージのコンテンツの変更または削除 USBストレージの読み取り
● 録音
キャンセル インストール

- 7. インストールが完了したら、[完了]をタップします。
- ▼ インストール完了

Ti2 Control
✔アプリをインストールしました。
完了 開く

インストールが完了すると、ホーム画面にアイコンが表示さ ▼ Android のホーム画面 れます。



▼ Android のドロワー画面

ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、ドロワーボタ ンをタップして表示されるドロワーのアプリー覧に、「Ti2 Control」が収納されています。

ホーム画面にアイコンを表示させる場合は、ドロワーのアプ リー覧で「Ti2 Control」アイコンをロングタップして、ホ ーム画面にアイコンを追加してください。



1.2.3 Google Play を使用せずにインストールしたアプリのアンインストール方法

注意

デバイスの種別や OS のバージョンによって、インターフェイスや設定方法が異なることがあります。

▼ 準備

1. デバイスで[設定]のアイコンをタップします。

設定画面が表示されます。

2. [アプリ]をタップします。

アプリ画面が表示されます。

アプリー覧から[Ti2 Control]をタップします。
 アプリ情報画面が表示されます。



Q



▼ アプリ画面



第1章 準備

4. [アンインストール]をタップします。

「Ti2 Control」 がアンインストールされます。

▼ アプリ情報画面

← アプリ!	青報	
Ti2 Contr バージョン	ol /1.0	
アンインストー	-n	強制停止
ストレージ 90.01MB使用(内音	『ストレージ)	
データ使用量 データ通信の使用は	はありません	
権限 カメラ、ストレージ	、マイク	
通知		
既定で開く 既定の設定なし		
電池 前回のフル充電から		

メモリ

1.3 アプリケーションの起動

ここではアプリの起動方法について説明します。

🕑 注意

一部のスマートデバイスにおいて、モバイルデータ通信と Wi-Fi 通信を同時に利用した場合、インターネット接続しない Wi-Fi ルーターへの接続は遮断されることがあります。

モバイルデータ通信が可能なデバイスをお使いの場合は、モバイルデータ通信を OFF にした状態で Ti2 Control をご使用ください。

1.3.1 起動方法

1. デバイスのホーム画面にある本アプリのアイコンをタップ します。

「Ti2 Control」が起動します。

🕑 注意

新規に顕微鏡システムを設定する場合、デバイスは横向きでお使いください。

🕑 注意

起動後にスリープ、サスペンド、アプリを切り替えるなどして、 その後 Ti2 Control に復帰した場合、前回終了時の画面には戻り ません。

その場合は Home 画面が表示され、前回終了時の状態は再現されませんので、ご注意ください。







1.4 顕微鏡システムを LAN に接続する

「Ti2 Control」アプリのインストール終了後は、無線ルーターと顕微鏡システムを LAN ケーブルで接続します。

顕微鏡システム(Ti2-E の場合は TI2-E コントローラー、Ti2-A の場合は顕微鏡本体)を LAN に接続し、LAN に接続さ れたWi-Fiルーター(無線ルーター)経由でスマートデバイスと顕微鏡システムの通信を行います。

✓ 注意

アシスト鏡筒ベースを使用している場合は、顕微鏡本体背面の「LAN(CAM)]にも、LAN ケーブルを装着し、無線ルーターに 接続します。

ケーブルの接続方法は、「研究用倒立顕微鏡 ECLIPSE Ti2-E, Ti2-E/B 使用説明書」もしくは「研究用倒立顕微鏡 ECLIPSE Ti2-A 使用説明書」をご覧ください。

デバイスから顕微鏡にアクセスする 1.4.1

無線ルーターを経由して顕微鏡システムにアクセスします。

1. デバイスの Wi-Fi 設定を ON にします。

デバイスの[設定]->[無線とネットワーク]->[Wi-Fi]で、 Wi-Fiの設定を ON にします。

受信可能な無線の一覧が表示されます。

- 2. 受信可能な無線の一覧で、顕微鏡システムが接続された無線 ルーターをタップして、接続設定を行います。
- 3. Wi-Fi の設定画面で、[スリープ時に Wi-Fi 接続を維持]で、 ▼ Wi-Fi の設定画面 [常に接続]を選択にします。

✓ 注意

機種、OS のバージョンによって設定方法が異なることがありま す。

▼ Wi-Fiの設定画面

÷	Wi-Fi	
	ON	
••		
-	nikon_dev	
-	4CE676C	
-	N89EGR	
-	fc11265	
-	24091475	

÷	Wi-Fi の設定	:
保存済	みネットワーク	
ネット 公衆通(ワークの通知 信回線が利用可能なときは通知する	
スリー 常に接続	プ時にWi-Fi接続を維持 添	
MACア ac:cf:85	ドレス 5:b7:4c:a1	
IPアドI fe80::ae 192.16	レス acf:85ff:feb7:4ca1 8.2.7	

- 4. 「Ti2 Control」のアプリアイコンをタップして、アプリを ▼ Ti2 Control の起動 起動します。



起動画面が表示された後、「Ti2 Control」の Home 画面が表 ▼ Ti2 Control の起動画面 示されます。

これで「Ti2 Control」アプリが使用可能になりました。



✔ 注意

1台の無線ルーターに対して複数の顕微鏡を接続させる場合は、「1.4.2 無線ルーターと顕微鏡システムの組み合わせごとの 接続手順」の「1台の無線ルーターに、複数の顕微鏡システムが接続されている場合」を参照してください。

1.4.2 無線ルーターと顕微鏡システムの組み合わせごとの接続手順

無線ルーターと顕微鏡システムの組み合わせにより、接続の手順が異なります。

1台の無線ルーターに、顕微鏡システムが1台のみ接続されている場合

1. デバイスの[設定]-[Wi-Fi]をタップして、無線ルーターに接 ▼ 接続概略図 続します。

無線ルーターへの接続方法については「1.4.1 デバイスから 顕微鏡にアクセスする」を参照してください。

2. 「Ti2 Control」アプリを起動します。

自動的に「Ti2 Control」が顕微鏡に接続されます。

接続した顕微鏡が登録済みであれば、これで操作可能となり ます。



1 台の無線ルーターに、複数の顕微鏡システムが接続されている場合

🕑 注意

複数の顕微鏡システムを1台の無線ルーターに接続する場合は、接続設定を行う際に、無線ルーターに接続する顕微鏡システムを1台のみに変更し、一台一台順番に設定してください。

1. デバイスの[設定]-[Wi-Fi]をタップして、無線ルーターに接 ▼ 接続概略図 続します。

無線ルーターへの接続方法については「1.4.1 デバイスから 顕微鏡にアクセスする」を参照してください。

2. 「Ti2 Control」アプリを起動します。

複数の顕微鏡が無線ルーターに接続されている場合は、アプリ右上の[0]をタップ -> [全般] -> [LAN] -> [顕微鏡 IP]欄をタップすると、接続されている顕微鏡の一覧が表示 されます。

3. 接続する顕微鏡の IP アドレスを選択し、[OK]をタップします。

接続した顕微鏡が登録済みであれば、これで操作可能となります。

 次の顕微鏡の接続設定を行う場合は、「Ti2 Control」 アプリ 右上の[10]
 アプリー>[全般]で、顕微鏡システムを登録し てから、手順 1.~3.を繰り返します。

顕微鏡システムの登録方法については、Ti2-E を使用する場合は「7.2.3 顕微鏡システムの登録」を、Ti2-A を使用する場合は「3.2.3 顕微鏡システムの登録」を参照してください。



複数の無線ルーターに、それぞれ顕微鏡システムが1台ずつ接続されている場合

1. デバイスの[設定]-[Wi-Fi]をタップして、無線ルーターに接 ▼ 接続概略図 続します。

使用する顕微鏡システムがケーブル接続されている無線ル ーターごとに設定を行います。

無線ルーターへの接続方法については「1.4.1 デバイスから 顕微鏡にアクセスする」を参照してください。

2. 「Ti2 Control」アプリを起動します。

「Ti2 Control」は自動的に顕微鏡に接続します。

接続した顕微鏡が登録済みであれば、これで操作可能となります。

 次の顕微鏡の接続設定を行う場合は、「Ti2 Control」 アプリ 右上の[
]をタップ->[全般]で、顕微鏡システムを登録し てから、手順 1.~2.を繰り返します。

顕微鏡システムの登録方法については、Ti2-Eを使用する場合は「7.2.3 顕微鏡システムの登録」を、Ti2-Aを使用する場合は「3.2.3 顕微鏡システムの登録」を参照してください。



複数の無線ルーターに、それぞれ顕微鏡システムが複数台接続されている場合

1. デバイスの[設定]-[Wi-Fi]をタップして、無線ルーターに接 ▼ 接続概略図 続します。

使用する顕微鏡システムがケーブル接続されている無線ル ーターごとに設定を行います。

無線ルーターへの接続方法については「1.4.1 デバイスから 顕微鏡にアクセスする」を参照してください。

2. 「Ti2 Control」アプリを起動します。

複数の顕微鏡が無線ルーターに接続されている場合は、アプリ右上の[10]をタップ -> [全般] -> [LAN] -> [顕微鏡 IP]欄をタップすると、接続されている顕微鏡の一覧が表示されます。

3. 接続する顕微鏡を選択し、[OK]をタップします。

接続した顕微鏡が登録済みであれば、これで操作可能となります。

 次の顕微鏡の接続設定を行う場合は、「Ti2 Control」 アプリ 右上の[10]
 オ上の[10]
 アプリー>[全般]で、顕微鏡システムを登録し てから、手順 1.~3.を繰り返します。

顕微鏡システムの登録方法については、Ti2-E を使用する場合は「7.2.3 顕微鏡システムの登録」を、Ti2-A を使用する場合は「3.2.3 顕微鏡システムの登録」を参照してください。





アプリの機能構成: Ti2-A編

この章では、Ti2-A 顕微鏡を使用した場合の「Ti2 Control」アプリの機能構成について説明します。

2.1 アプリの機能構成

本アプリは、以下の4つの画面で構成されています。





セットアップ: Ti2-A編

この章では、「Ti2 Control」 アプリを初めて使用するときに、顕微鏡システムの設定を新規に登録する方法について説明します。

セットアップでは、顕微鏡システムの設定を変更した場合に、その部分のみ顕微鏡システムの情報を変更することもできます。

✔ 注意

複数の顕微鏡システムが1台の無線ルーターに接続されている場合は、セットアップを行う際に、無線ルーターに接続する顕 微鏡システムを1台のみに変更してからセットアップを行ってください。

3.1 セットアップの基本操作と画面について

3.1.1 セットアップの開始

Home 画面、または Live 画面から、[<mark>10</mark>]をタップするとセット 、 アップ画面が表示されます。

▼ セットアップの開始



▼ セットアップ画面

Home	Live As	sist Guide
全般	表示言語	
システム	リモコン	日本語
10.60	アシストガイド	日本語
	Home	
光学素子	NIS-Eスタイル	ON
任意光学素子	明教統	
移動動作	タイプ	Ethernet (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)
	名前	
建动制造	アシストカメラ	00.06.00.31.00.09
コントローラー	パスワード	セット
インジケーター	登録番号	1
		王朝
アシストカメラ	LAN	
設定保存・読込	顕微鏡IP	192.168.11.2
	起動時自動検索	Enable
恐傷		ネットワーク上の顕微鏡を検索

3.1.2 セットアップ画面の構成

■ 設定項目選択エリア

各ボタンをタップすることで、設定項目を変更できます。

■ 設定エリア

設定項目選択エリアのボタンをタップすることで表示項目が切り替わり、設定を変更することができます。

▼ セットアップ画面構成

全般	表示言語	
<u>∿</u> 774	リモコン	日本語
	アシストガイド	日本語
接続	Home	
光学素子	NIS-Eスタイル	ON
任意光学素子	顧微鏡	
移動動作	タイプ	Ethernet (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)
	名前	
迷動創即	アシストカメラ	00.06.00.31.00.09
コントローラー	パスワード	
インジケーター	登録番号	
		20
アシストカメラ	LAN	
設定保存・読込	顕微鏡IP	192.168.11.2
-14.6%	起動時自動検索	Enable
234		ネットワーク上の最微鏡を検索
		_

3.1.3 設定項目

セットアップ機能は、以下の11の設定画面と1つのボタンで構成されています。

🕑 補足

ウィンドウサイズによっては、一部の項目が隠れて一度にすべて表示されません。 [全般]もしくは[情報]の設定項目選択する場合は、設定項目欄上を上下にスクロールしてください。

- [全般]…顕微鏡とアプリの基本設定
- [システム]…顕微鏡構成の表示と手動登録
- [接続]…装置の接続先設定
- [光学素子]…光学素子の設定
- [任意光学素子]…光学素子の新規登録
- [連動制御]…連動制御の設定
- [コントローラー]…制御可能な機能の設定
- [インジケーター]…インジケーターの設定
- [アシストカメラ]…アシストカメラの設定
- [設定読込・保存]…設定の読込みと保存
- [情報]…バージョン情報の表示
- [送信]…顕微鏡システムへの設定情報の反映



3.1.4 顕微鏡システム情報の送信

■ 顕微鏡システムに情報を送信

設定項目選択エリアの[送信]をタップすると、確認画面が表示 されます。

[OK]をタップすると、アプリ側で設定した情報を顕微鏡システムに送信します。

▼ セットアップ画面



3.2 [全般] 顕微鏡とアプリの基本設定

ここでは、顕微鏡とアプリケーション全般の基本設定を行います。

1. 設定項目選択エリアの[全般]を選択します。

▼ 全般の設定



3.2.1 表示言語の設定

本アプリケーションの表示言語を設定します。

1. サブ項目の[表示言語]欄で、次の値を設定します。

リモコン:

設定画面の表示言語を選択します。

アシストガイド:

アシストガイドの表示言語を選択します。

▼ 表示言語の設定

Home	Live As:	sist Guide
全般	表示言語	,
システム	リモコン	日本語
按統	アシストガイド	日本語
光学素子	Home	
	N15-EX911/	ON
任意光学素子	順務鏡	
移動動作	タイプ	Ethernet (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)
100.000	名前	
38.610702	アシストカメラ	00.06.00.31.00.09
コントローラー	パスワード	tvk
インジケーター	登録番号	1
		登録
アシストカメラ	LAN	
設定保存・読込	顕微鏡IP	192.168.11.2
	起動時自動検索	Enable
返復		ネットワーク上の顕微鏡を検索

3.2.2 Home 画面の表示設定(タブレットのみ)

Home 画面の表示方法を設定します。

1. サブ項目の[Home]欄で、次の値を設定します。

NIS-E スタイル:

ON にすると、Home 画面の表示方法を NIS-Elements のスタイルに切り替えます。

🕑 注意

スマートフォンをご使用の場合、本機能は表示されません。

▼ Home 画面の表示設定



▼ Home 画面(NIS-E スタイル)

Home		Live Assi	st Guide		ţ.
Check	Mode				
Condenser		Nosepiece		Filter	
l		10× 20× 40:	× 60× 60× 100×	Upper 📃 📕 🗾 🔟 🔲 OPEN	
		1 2 3	4 5 6	Lower 📕 📕 🗵 🗷 📕 OPEN	
DIC		TubeBare	Assist	Shutters	
Polarizer:	OUT	Close	Ó	● FI - I o ● FI - IIo	
DIC Slider:	10×	LightPath			
Analyzer Slider:	ουτ		E100		
		L100 🔵	R100	epileD	
		Bertrand	Zoom:		
		OUT	1x		
		Upper: EPI-FL	Lower: EPI-FL		

項目によっては、タップするとサブ画面が表示されます。

3.2.3 顕微鏡システムの登録

顕微鏡の登録、パスワードの登録、およびアシストカメラの登録方法について説明します。

1. サブ項目の[顕微鏡]欄で、次の値を設定します。

タイプ:

接続する顕微鏡を選択します。

名前:

顕微鏡システムの登録名(任意)を入力します。

アシストカメラ:

タップするとアシストカメラの MAC アドレス一覧が表示 されます。

接続する MAC アドレスをタップしてから[OK]をタップすると、アシストカメラの登録が完了します。

🕑 注意

アシスト鏡筒ベースを使用している場合は、顕微鏡本体背面の [LAN (CAM)]にも、LAN ケーブルを装着し、無線ルーターに接 続します。

♥ 新規に顕微鏡システムを設定する場合

新規に顕微鏡システムを設定する場合は、アシストカメラの登録を 必ず行ってください。 その際に無線ルーターを使用する場合は、接続する顕微鏡システム は1台のみにすることを推奨します。

パスワード:

顕微鏡への未登録デバイスからのアクセスと、[10]をタッ プした際にパスワードを要求するよう設定できます。 パスワードは、任意の文字を入力します。(設定しない場合 は、何も入力しないでください。)

なお、デバイス側で顕微鏡システムの登録済みであれば、 アクセス時にパスワードは要求されません。

登録番号:

デバイスに登録する顕微鏡番号を選択します。 最大で 20 台まで登録できます。

登録済みの番号欄には、顕微鏡システムの登録名(もしく は MAC アドレス)が表示されます。

登録ボタン:

タップすると、接続している顕微鏡を「信頼された顕微鏡」 として、登録番号で指定した番号に登録し、デバイスに記 憶します。

ここで登録した顕微鏡に接続した場合は、パスワードを入 力しなくても接続できます。

注意

新規に顕微鏡システムを設定する場合は、顕微鏡システムの登録を 必ず行ってください。

▼ 顕微鏡システムの登録



3.2.4 LAN の設定

1. サブ項目の[LAN]欄で、次の値を設定します。

顕微鏡 IP:

顕微鏡の IP アドレスを表示/入力します。

[起動時自動検索] もしくは [ネットワーク上の顕微鏡を 検索]を使用しない場合は、使用する顕微鏡の IP アドレス を直接入力してください。

顕微鏡の固定 IP アドレスを入力する場合は、「3.2.5 顕 微鏡の固定IPアドレスについて」を参照してください。

起動時自動検索:

起動時に、自動でネットワーク上の顕微鏡の IP アドレス を検索して接続するかどうかを設定します。 (Enable で自動接続します。)

複数の顕微鏡が接続されている環境では、ネットワークに 接続されている顕微鏡のリストが表示されますので、使用 する顕微鏡の IP アドレスを選択してください。

ネットワーク上の顕微鏡を検索:

複数の顕微鏡が接続されている環境では、ここをタップするとネットワークに接続されている顕微鏡を検索しますので、使用する顕微鏡の IP アドレスを選択してください。

サブネットマスク:

顕微鏡のサブネットマスクを表示/入力します。

ゲートウェイ:

顕微鏡のデフォルトゲートウェイを表示/入力します。

🕑 注意

ご使用になる無線ルーター(Wi-Fi)、スマートデバイスによっては、アプリから顕微鏡やアシストカメラへの接続ができなく なる場合があります。

その場合はいったんアプリを終了し、以下の対処を行なってください。

- デバイスの[設定]-[Wi-Fi]をタップして Wi-Fiを OFF にし、再度 ON にして無線ルーターに接続する
- 顕微鏡システムを再起動する

上記を行った後に再度アプリを起動し、顕微鏡やカメラに接続できるか確認してください。

▼ LAN の保存



3.2.5 顕微鏡の固定 IP アドレスについて

顕微鏡の固定 IP アドレスを調べる方法について説明します。

🕑 注意

顕微鏡の固定アドレスは、Windows版の「Ti 2 Control」でのみ調べることができます。 本項の作業は Windows PC で行ってください。

1. Windows PC と Ti2-A 顕微鏡本体を USB コネクターで接 ▼ USB A コネクター 続します。



- 2. サブ項目の[LAN]欄で、[DHCP]を OFF(無効)にします。
- 3. [顕微鏡固定 IP]欄に表示された顕微鏡固定 IP をメモします。

Windows PC での作業は以上です。

メモした IP アドレスを、スマートデバイスに入力してくだ さい。(「3.2.4 LANの設定」参照)

▼ 顕微鏡の固定 IP アドレス

Connect		
全般	表示言語	
		日本語
接統		
	類微鏡	
光学素子	タイプ	USB (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)
任意光学素子	名前	
	アシストカメラ	00.06.00.31.00.09
	パスワード	
達動制即	登録番号	
コントローラー		<u>8</u> #
	LAN	
インジケーター	DHCP	ON
アシストカメラ	顕微鏡固定IP	192.168.0.20
設定該达·保存	サブネットマスク	255.255.255.0
	パートウェイ	192 168 0 5
送信		131.100.0

3.3 [システム] 顕微鏡構成の表示と手動登録

ここでは顕微鏡システムに装着されているアクセサリーの一覧が表示されます。

1. 設定項目選択エリアの[システム]を選択します。

▼ 顕微鏡構成の表示

顕微鏡システムに接続されているアクセサリーの一覧が表示されます。

 サブ項目の[装着アクセサリー]欄で、表示されている項目を 確認します。

全般	装着アウセリリー
<u> ୬</u> ステム	มสมมา-
	コンデンサー
16.25	フィルターターレット1
光学素子	フィルターターレットシャッター1
0.080 BZ	フィルターターレット2
11.3656-7-46-1	フィルターターレットシャッター2
移動動作	光路
連動制御	DIA照明
	C-LEDFI
コントローラー	中間変倍
インジケーター	鏡筒ペース観察ポート
アシストカメラ	LAPPメインプランデ1
	LAPPメインプランチ2
設定設込 保存	LAPPサブプランチ
送信	яя.

3.3.1 顕微鏡構成の手動登録

装着状態の情報を自動的に取得できないアクセサリーを登録する方法について説明します。

基本的な登録方法の手順は以下のとおりです。

ここではコンデンサーの登録を例に説明します。

▼ Ti2-A で透過照明にプリセンターランプハウス D-LH/LC (ハロゲン) または高演色 LED ランプハウス C-LL を使用する場合

Ti2-A顕微鏡でプリセンターランプハウス D-LH/LCまたは高演色LED ランプハウス C-LLを透過照明として使用する場合は、 以下の手順で手動登録してください。

- 1) 透過照明装置のケーブルを顕微鏡本体背面のコネクターボックスから外します。
- 2) Ti2 Control の顕微鏡構成の手動登録で、[透過照明]に[D-LH/LC プリセンターランプハウス CH] または[C-LL LED ラ ンプハウス]を選択します。
- 3) 設定項目選択エリアの[送信]をタップして、登録情報を送信します。
- 4) アプリを終了します。
- 5) 顕微鏡システムの電源を OFF にします。
- 6) 透過照明装置のケーブルを顕微鏡本体背面のコネクターボックスへ接続します。
- 7) 顕微鏡システムを起動します。

続けて登録を行う場合は、アプリを起動してください。

1. 設定エリアの[構成]をタップします。

顕微鏡構成設定画面が表示されます。

▼ 顕微鏡構成の手動登録

全般	芙蓉アウセリリー
<u> </u>	レポルパー
	コンデンサー
##	フィルターターレット1
光学素子	フィルターターレットシャッター1
任意考学表子	フィルターターレット2
12.20070-3-007-3	フィルターターレットシャッター2
移動動作	光路
連動制御	DIA照明
754.0.5.	¢-LEDFI
-1/1-1-2-	中間変倍
インジケーター	鏡筒ペース観察ポート
アシストカメラ	LAPPメインプランチ1
4444474 5745	LAPPメインプランチ2
設定設込-保存	LAPPサププランチ
送信	明成
- パーツエリア

エリアを選択してください

2. 装着状態の情報を登録するアクセサリー周辺のエリアをタッ プします。

各エリアの登録画面が表示されます。

🕑 補足

装着情報が未登録のアクセサリーがある場合には、パーツエリアの 左上に Į マークが表示されます。

3. パーツエリアもしくは左のパーツリストをタップします。

そのパーツに登録できる製品リストダイアログが表示されます。

🕑 補足

顕微鏡に装着された電動装置や状態検出アクセサリーは自動で検 出されるため、選択された状態で表示されます。

あらかじめ選択して登録済みであったとしても、顕微鏡に実際に 装着されているアクセサリーと異なる場合は、自動検出されたア クセサリーの情報で上書きされます。

ただし自動検出された場合でも、装置によっては類似の別製品が 選択されることがあります。この場合どちらが選択されていても 特に問題はありませんが、選択して登録し直すこともできます。



= パーツリスト

▼ 製品リストダイアログ

▼ 顕微鏡構成設定画面

▼ エリアごとの登録画面

← 構成 <u>
→</u> ^{全体図}

● 構成 ● プンデンサー(登録されていません) ● TableSite InterSysty - 3547 <li

▼ エリアごとの登録画面



4. 登録する製品名を選択します。

🕑 補足

未装着の状態で登録する場合は、[Unmount]を選択します。

🕑 補足

電動装置や状態検出アクセサリーを顕微鏡に装着している場合は、 製品リストダイアログには検出された製品のみ表示されます。

5. [OK]をタップします。

左のパーツリストの各項目の2段目に、選択した製品のプロ ダクトコードが表示されます。

 他のパーツエリアのアクセサリーを登録する場合は、[全体 図]をタップします。

顕微鏡構成設定画面に戻ります。

- 7. 登録するパーツごとに、手順 2.~5.を繰り返します。
- 8. 顕微鏡構成の手動登録を終了する場合は、[送信]をタップして登録情報を送信するか、[

登録情報を送信しない場合は、編集した情報は記憶されません。



落射照明を使用する場合

落射照明装置周辺のエリアをタップします。

落射照明装置の登録画面が表示されます。

ステージアップキットを使用している場合、落射照明装置は上 下二段構成で装着することができます。

上下二段構成の落射照明装置を設定する場合は、[ステージアップ]をタップします。

▼ 落射照明装置の登録





上下二段構成の場合、上段と下段の落射照明装置はパーツの配置を実際には逆に装着しますが、アプリ上は上下段とも同じ配置で表示されます。

アプリ上の落射照明装置を実際に装着されている配置と同じ配 置に変更する場合は、以下の手順で設定することができます。

配置が逆になっている落射照明装置を選択します。

[方向切替]をタップして、パーツの配置を左右反転させると、 アプリ上の表示が実際の落射照明装置と同じ配置になります。

◆ シンプル EPI-FL TI2-F-FLS 使用時

[ブランチ 1]にシンプル EPI-FL TI2-F-FLS を選択した場合、 落射照明装置は[落射光源 3]で設定してください。

▼ 落射照明装置の配置を反転



▼ 反転した配置図



3.4 [接続] 装置の接続先設定

ここでは、装置の装着先(接続先)を設定する方法について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[接続]を選択します。

接続設定画面が表示されます。

▼ 装置の接続設定

▼ カメラの設定



3.4.1 カメラの接続設定

別付けのカメラが装着されているポートを「Left(顕微鏡本体の左サイドポート)/Right(顕微鏡本体の右サイドポート)/Front(鏡筒ベースのサイドポート)/Aux(バックポート)」から選択し、設定します。

カメラの装着場所を設定すると、Home 画面の顕微鏡図にカメラが表示されます。

1. サブ項目の[カメラ]欄で、次の値を設定します。

カメラ 1:

カメラの装着場所を選択します。 カメラを装着していない場合は「---」を選択します。

カメラ 2:

2 台目のカメラの装着場所を選択します。 カメラの装着が1台のみの場合は「---」を選択します。



3.4.2 FL ターレットの接続設定

ステージアップしていて、FL ターレットを2台装着している場合に、各FL ターレットが上段(Upper)/下段(Lower)のどちらに装着されているのかを設定します。

1. サブ項目の[フィルター]欄で、次の値を設定します。

フィルター1:

FL ターレットの装着場所を選択します。 FL ターレットが未装着もしくは1台のみの場合、本機能 は設定できません。

フィルター2:

2 台目の FL ターレットの装着場所を選択します。 FL ターレットの装着が 1 台のみの場合、本機能は設定で きません。

▼ FL ターレットの設定



ブランチ(LAPP)の接続設定 3.4.3

ステージアップしていて、メインブランチを2台装着している場合に、落射照明装置の各メインブランチが上段(Upper) /下段(Lower)のどちらに装着されているのかを設定します。

1. サブ項目の[ブランチ(LAPP)]欄で、次の値を設定します。 ▼ ブランチ(LAPP)の設定

LAPP1:

メインブランチの装着場所を選択します。 メインブランチが未装着もしくは1台のみの場合、本機 能は設定できません。

LAPP2:

2 台目のメインブランチの装着場所を選択します。 メインブランチの装着が1台のみの場合、本機能は設定 できません。

全般	カメラ 2	
975G	71149-	
接続	フィルター1	Upper
	フィルター2	Lower
光学素子		
任意光学素子		
移动质件		
連動制御	プランチ(LAPP)	
	LAPP 1	Upper
3210-9-	LAPP 2	Lower
インジケーター	インキュペーター	
アシストカメラ	インキュベーター	Mount
落射光源	C-LEDFI	
	チャンネル	
送信	波長	455nm

インキュベーターの装着設定 3.4.4

ステージトップインキュベーター(株式会社東海ヒット製)の装着状態を設定します。

1. サブ項目の[インキュベーター]欄で、次の値を設定します。 ▼ インキュベーターの装着設定

インキュベーター:

インキュベーターの装着状況を、装着(Mount)/未装 着(Unmount)から選択します。

全般	カメラ 2	
927L	フィルター	
指統	フィルター1	Upper
× + + +	フィルター2	Lower
元子茶丁		
任意光学素子		
移動動作		
連動制御	プランチ(LAPP)	
2010 -	LAPP 1	Upper
1910-9-	LAPP 2	Lower
インジケーター	インキュペーター	
アシストカメラ	インキュベーター	Mount
落射光源	C-LEDFI	
	チャンネル	
送信	波長	455nm

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)の設定 3.4.5

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネルごとの LED の波長を設定します。

2. サブ項目の[C-LEDFI]欄で、次の値を設定します。

チャンネル:

LED のチャンネル番号を選択します。

波長:

[チャンネル]で選択した LED の波長を表示/入力しま す。

▼ C-LEDFI の設定

全般	カメラ 2	
977L	フィルター	
接続	フィルター1	Upper
光学素子	フィルター2	Lower
任意光学素子		
移動動作		
達動制制	ブランチ(LAPP)	
3280-9-	LAPP 1 LAPP 2	Upper Lower
インジケーター		
アシストカメラ	インキュベーター	Mount
落射光源	C-LEDFI	
送信	チャンネル 波長	1 2 3 4 455nm

3.5 [光学素子] 光学素子の設定

ここでは、対物レンズ、コンデンサーモジュール、蛍光フィルターキューブ、中間変倍、光路名の設定方法について説明 します。

1. 設定項目選択エリアの[光学素子]を選択します。

光学素子の設定画面が表示されます。

全般	レポルパー		
	1: 対物レンス	Plan Fluor/10x/0.3/Dry/Ph1/PFS/MRH10101	
接続	2 対抗ホンク	Plan Fluor/20x/0.5/Dev/N2/N1/PES/MRH00201	
音学妻子	2. 110000	Plan 1 100/ 200 0.3/ Dry/ N2/ N1/ P1 3/ Min 100201	
,,,,,,	DIC2518-		017
任意光学素子	3: 対物レンス	S Fluor/40x/1.3/0il/N2/Ph3/PFS/MRF01400	
	DICスライダー	- 40×11	
	4: 対物レンス	Plan App VC/60x/1.2/WI/N2/NR/Ph3/MRD07601	597
連動制御	0003578		burn
Thus	06,719-		
	5: 対物レンス	Plan Apo VC/60x/1.2/WI/N2/NR/Ph3/MRD07601	
	DICスライダー		
アシストカメラ	6: 対物レンス	Plan/100x/0.9/Dry/MRL03901	
請完請決·保友			
	コンデンサー		
32.02			
2010	1: 名利		

▼ 光学素子の設定

3.5.1 レボルバーの設定

レボルバーの各番地に、どの対物レンズが装着されているかを設定します。

1. サブ項目の[レボルバー]欄で、[対物レンズ]欄をタップしま ▼ レボルバーの設定

す。

対物レンズのリストが表示されます。

全般	レポルパー		
	1: 対物レンズ	Plan Fluor/10x/0.3/Dry/Ph1/PFS/MRH10101	017
接続	DICスライダー		007
	2: 対物レンズ	Plan Fluor/20x/0.5/Dry/N2/N1/PFS/MRH00201	
光学素子	DICスライダー		007
任意光学素子	3: 対物レンズ	S Fluor/40x/1.3/0il/N2/Ph3/PFS/MRF01400	
	DICスライダー	40×11	
30 Skduten	4: 対物レンズ	Plan Apo VC/60x/1.2/WI/N2/NR/Ph3/MRD07601	
12.2244190	DICスライダー		
コントローラー	5: 対物レンズ	Plan Apo VC/60x/1.2/WI/N2/NR/Ph3/MRD07601	
	DICスライダー		707
アシストカメラ	6: 対物レンズ	Plan/100x/0.9/Dry/MRL03901	
設定読込·保存			
	コンデンサー		
送信	1: 名称	NI	

2. 対物レンズを選択します。

対物レンズの検鏡法、シリーズ、倍率のいずれかを選択する と、それらの条件に一致するすべての対物レンズがリスト表 示されます。

検鏡法:

検鏡方法で対物レンズのリストを絞ります。 (一覧に該当の検鏡方法がない場合や、検鏡方法が不明の 場合は「---」を選択します。)

シリーズ:

シリーズ名で対物レンズのリストを絞ります。 (シリーズ名が不明の場合は「---」を選択します。)

倍率:

倍率で対物レンズのリストを絞ります。 (倍率が不明の場合は「---」を選択します。)

プロダクトコード:

対物レンズのプロダクトコードを入力します。

▼ 対物レンズのリスト



3. [OK]をタップします。

対物レンズ情報が登録され、[対物レンズ]欄に対物レンズの 情報が表示されます。

▼ 対物レンズのリスト

対物レンズ			
検鏡法 	קוא	Plan Apo/10x/0.45/Dry/N1/MRD00	2101
シリーズ		Plan Apo/20x/0.75/Dry/N2/N1/MF	RD00200
	クリア	O Plan Apo/20x/0.75/Dry/N2/N1/MF	1000201
倍率		Plan Apo/20x/0.75/Dry/Ph2/MRD3	80200
	クリア	Plan Apo/20x/0.75/Dry/Ph2/MRD3	90201
PFS		O Plan Apo/40x/0.95/Dry/N2/N1/MF	3D00400
		O Plan Apo/40x/1.0/0il/MRD01400	
	クリア	Plan Apo/40x/0.95/Dry/Ph2/MRD3	20400
		Plan Apo/40x/1.0/0il/Ph3/MRD314	400
		Plan Apo/60x/0.95/Dry/N2/NR/MF	3D00600
		Cancel	ок

4. DIC 観察対応の対物レンズの場合は、[DIC スライダー]欄を ▼ レボルバーの設定 タップして、リストから該当する対物レンズ側 DIC スライダ ーを選択して、[OK]をタップします。

対物レンズ側 DIC スライダーが登録され、[DIC スライダー] 欄に表示されます。

全般	レポルパー		
	1: 対物レンズ	Plan Fluor/10x/0.3/Dry/Ph1/PFS/MRH10101	
#49			
0.44	2: 対物レンズ	Plan Fluor/20x/0.5/Dry/N2/N1/PFS/MRH00201	
光学素子	DICスライダー		
任意光学素子	3: 対物レンズ	S Fluor/40x/1.3/0il/N2/Ph3/PFS/MRF01400	
	DICスライダー	40×II	
2016-0480	4: 対物レンズ	Plan Apo VC/60x/1.2/WI/N2/NR/Ph3/MRD07601	
20:30-0100	DICスライダー		597
コントローラー	5: 対物レンズ	Plan Apo VC/60x/1.2/WI/N2/NR/Ph3/MRD07601	717
	DICスライダー		
アシストカメラ	6: 対物レンズ	Plan/100x/0.9/Dry/MRL03901	
設定読込・保存			
	コンデンサー		
送信	1: 名称		
		-	

▼ DIC スライダーのリスト

DICスライダー	
•—	
○ 20x-C	
Cancel OK	

5. 登録するレボルバーのアドレス(番地)ごとに手順1.~4. を繰り返します。

コンデンサーモジュールの設定 3.5.2

コンデンサーターレットの各番地に、どのコンデンサーモジュールが装着されているかを設定します。

1. サブ項目の[コンデンサー]欄で、コンデンサーモジュール情 ▼ コンデンサーモジュールの設定 報を設定するコンデンサーターレットのアドレス(番地)ご とに、[名称]欄をタップします。

コンデンサーモジュールのリストが表示されます。

- 2. リストからコンデンサーモジュールを選択し、[OK]をタッ プします。
- 3. コンデンサーモジュール情報を設定するコンデンサーター レットのアドレス (番地) ごとに、手順 1.~2.を繰り返しま す。

全般 名称 N1 名称 N2 名称 Ph3 名称 Ph1 名称 NAMC40× 597 597 597 597 597 597 任意光学素子 名称 NAMC10× 名称 ND 逐渐中的 名称 OPEN 名称 C-FL-C DAPI (DAPI_1) 波長 EX361-3 名称 C-FL-C FITC (FITC_1) 設定該达·保存 名称 C-FL-C TRITC (TRITC_1)



名称	
○ N2	
O Ph4	
○ NAMC10×	
○ NAMC20×	
Cancel	ок

3.5.3 フィルターキューブの設定

FL ターレットの各番地に、どのフィルターキューブが装着されているかを設定します。

 サブ項目の[フィルター1]欄で、フィルターキューブ情報を 設定する FL ターレットのアドレス(番地)ごとに、[名称] 欄をタップします。

フィルターキューブのリストが表示されます。

リストからフィルターキューブを選択し、[OK]をタップします。

フィルターキューブ名を選択すると、波長欄は自動的に読み 込まれます。

3. フィルターキューブ情報を設定する FL ターレットのアドレス(番地)ごとに、手順 1.~2.を繰り返します。

▼ フィルターキューブの設定





▼ 2 台目の FL ターレットがある場合

全般	711点~2			
システム		名称	OPEN	クリア
		波長		
19.85		名称	C-FL-C DAPI-U HQ (DAPI-U_H1)	<i>0</i> 177
光学素子		波長		
任意光学素子		名称	С-FL-С FTTC HQ (FTTC_H1)	<i>b</i> 977
		波長		
2010-0-00		名称	C-FL-C Cy3 HQ (Cy3_H1)	<i>0</i> 977
22.35.4199		波長		
コントローラー		名称	C-FL-C mCherry HQ (mCherry_H1)	<i>b</i> 977
		波長		
アシストカメラ		名称		ስህም
設定該込・保存		波長	EX620/60:DM660:EM700/75	
送信				

✓ 補足

ステージアップキット使用時、FL ターレットは最大 2 台まで接続可能です。

2 台接続されている場合は、サブ項目の[フィルター2]も同様に 設定してください。

3.5.4 中間変倍の設定

中間変倍の設定をします。

1. サブ項目の[中間変倍]欄で、次の値を設定します。 ▼ 中間変倍の設定

レンジ:

装着されている中間変倍レンズ (第2対物レンズ)の種類 を選択します。

全殿	3 :	省孙	EMDUL-545	997
システム				
接続				
光学素子				
	中間変給			
计意光字素子		レンジ		
移動動作		ф		
運動制即				
TARA				
インジケーター	光路			
アシストカメラ		名称		
設定読込·保存		名称		
		名称		
送信		名称		

3.5.5 光路名の設定

光路のリモコンボタンやサブ画面に表示する光路名(出力ポート名)を設定します。

1. サブ項目の[光路]欄で、光路名を設定するポートのアドレス ▼ 光路名の設定 (番地)ごとに、[名称]欄をタップして光路名を入力します。

(半角英数 10 文字以内)

- 1: 接眼観察ポート
- 2: 右サイドポート
- 3: 左サイドポートへ80%と接眼観察ポートへ20% (Ti2-A E20L80 の場合)
- 4: 左サイドポート

全般	3:	名砂	LW040-040	997
5274				
接続				
光学素子				
	中間安倍			
任意光学素子				
移動動作				
運動制即				
マルローラー				
インジケーター	光路			
アシストカメラ		名称	E100	 .
設定読込·保存		名称	R100	
		名称		
送信		名称		

3.6 [任意光学素子] 光学素子の新規登録

ここでは、[光学素子]の設定でリストに表示されない光学素子(対物レンズ、コンデンサーモジュール、フィルターキュ ーブ)を新規に登録する方法について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[任意光学素子]を選択します。

任意光学素子設定画面が表示されます。

▼ 光学素子の新規登録

全般	任意対物レンズ	
システム	番号	
授統	名称	6 7 8 9 10
光学素子		—
任意光学素子	倍率	<u> </u>
	浸液タイプ	—
移動動作	NA	0.10
連動制御	用途	
	長作動距離タイプ	
コントローラー	PFS	
インジケーター	検鏡法	
アシストカメラ	補正環	
設定読込·保存	Ex. Ph.	
ii fe	DIC	
	DIC Slider	

3.6.1 対物レンズの新規登録

新しい対物レンズを、最大10個まで登録することができます。

ここで登録した対物レンズは、[光学素子]の[対物レンズ]で選択することができます。

1. サブ項目の[任意対物レンズ]欄で、次の値を設定します。

番号:

新規に対物レンズ情報を登録する番号を選択します。(最大10個まで)

名称:

任意の名前を入力します。

シリーズ:

対物レンズの種類を選択します。

倍率:

対物レンズの倍率を選択します。

浸液タイプ:

対物レンズの浸液タイプを選択します。

NA:

対物レンズの開口数を入力します。

用途:

対物レンズの用途を選択します。

長作動距離タイプ:

対物レンズの長作動距離タイプを選択します。

PFS:

(選択不要)

検鏡法:

検鏡方法を選択します。

▼ 対物レンズの新規登録



補正環:

補正環付き対物レンズの場合は、手動(Manual)を選択 します。

Ph:

位相差用対物レンズの場合は、Ph コードを選択します。

EX. Ph.:

(選択不要)

DIC:

微分干渉用対物レンズの場合は、対応するコンデンサーモ ジュールを選択します。

DIC Slider:

微分干渉用対物レンズの場合は、対応する対物レンズ側 DIC スライダーを選択します。

DIC HR/HC:

高解像度または高コントラスト対応のコンデンサーモジ ュールの種類を選択します。

DIC Slider HR/HC:

高解像度または高コントラスト対応の対物レンズ側 DIC スライダーを選択します。

DF:

暗視野観察用対物レンズの場合は、対応するコンデンサー モジュールを選択します。

NAMC:

NAMC 観察用対物レンズの場合は、対応するコンデンサーモジュールを選択します。

WID:

(選択不要)

2. 別の対物レンズを追加登録する場合は、[番号]で別の番号を 選択し、手順1.を繰り返します。

▼ 対物レンズの新規登録(続き)



3.6.2 コンデンサーモジュールの新規登録

新しいコンデンサーモジュールを最大 10 個まで登録することができます。

ここで登録したコンデンサーモジュールは、[光学素子]の[コンデンサー]で選択することができます。

1. サブ項目の[任意コンデンサー]欄で、次の値を設定します。 ▼ コンデンサーモジュールの新規登録

番号:

新規にコンデンサーモジュールを登録する番号を選択します。

名称:

任意の名前を入力します。

 別のコンデンサーモジュールを追加登録する場合は、[番号] で別の番号を選択し、手順1.を繰り返します。

全般	W	1D Disable
システム	任意コンデンサー	
接統	₽- -	号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
光学素子	名	称
任意光学素子	任意フィルター	
移動動作	*	号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
連動制御	名	称
コントローラー	E	×
ብンジケーター	E	3A
アシストカメラ		
設定読込·保存		5 1 2 3 4 5
送信		

3.6.3 フィルターキューブの新規登録

新しいフィルターキューブを最大10個まで登録することができます。

ここで登録したフィルターキューブは、[光学素子]の[フィルター1](または[フィルター2])で選択することができます。

1. サブ項目の[任意フィルター]欄で、次の値を設定します。

番号:

新規にフィルターキューブを登録する番号を選択します。

名称:

任意の名前を入力します。

EX:

励起フィルターの名前を入力します。

DM:

ダイクロイックミラーの名前を入力します。

BA:

BA フィルターの名前を入力します。

励起フィルターやダイクロイックミラーなどの名前 を入力する場合

励起フィルターの名前の場合、先頭2文字を"EX"とし、その後 に波長情報を入力します。 "EX450"、"EX450-490"(ハイフンで区切り)、"EX450/40" (スラッシュで区切り)のように中心波長と幅を区切ることもで きます。 同様に、BAフィルターの名前の場合は、先頭2文字を"BA"とし、

ダイクロイックミラーの名前の場合は、先頭2文字を"DM"と入 カします。

2. 別のフィルターキューブを追加登録する場合は、[番号]で別 の番号を選択し、手順 1.を繰り返します。 ▼ フィルターキューブの新規登録



3.7 [連動制御] 連動機能の設定

対物レンズ切替え時に、連動して透過 LED 照明の明るさを変更します。

1. 設定項目選択エリアの[連動制御]を選択します。

連動制御の設定画面が表示されます。

2. サブ項目の[DIA 照明]欄で、次の値を設定します。

アドレス:

連動制御する対物レンズが装着されたレボルバーのアド レス(番地)を選択します。

光量:

光量を入力します。 (入力範囲:0~100)

現在値ボタン:

現在の装置側の値を読み込みます。

42 1234 5373 7512 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1 123 1

▼ 透過照明の光量設定

[コントローラー] 制御可能な機能の設定 3.8

ここでは、Ti2-A 顕微鏡本体のファンクションボタンなどに、任意の機能を割り当てる方法について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[コントローラー]を選択します。

ファンクション設定画面が表示されます。

- ▼ 機能割当ての設定
- 全般 🌆 糖糖酸に保存 接続 DIA照明 Enable 任意光学素子 左側面パネル Enable 1-1374-4 設定読込·保存 送信

ファンクションボタンの設定 3.8.1

Ti2-A 顕微鏡本体の左側面操作パネルの FnL ボタン(ファンクシ ョンボタン) に任意の機能を割り当てます。



左側面操作パネル

1. 現在割り当てられている機能を変更したい場合は、サブ項目の ▼ ファンクションボタンの設定 [ファンクションボタン]欄をタップします。

割当て機能一覧のサブ画面が表示されます。

2. 割り当てたい機能を一覧から選択します。

3. [OK]をタップします。



▼ 割当て機能一覧のサブ画面

FnL : Front LED ON/OFF				
カテゴリー	カリア			
		C-LEDFI ON/OFF		
サブカテゴリー	קות	Intensilight Shutter Open/Close		
	5997	Front LED 0N/0FF		
		Camera Trigger 1(ON:Pulse Output)		
		Camera Trigger 2(0N/0FF:Hi/Low Toggle)		
		○ Camera Trigger 3(ON:Hi.OFF:Low)		
		Cancel OK		

Ti2-A 顕微鏡本体側ファンクションボタンの割当て機能一覧

Ti2-A 顕微鏡本体のファンクションボタンに割当て可能な機能は以下のとおりです。(√√:初期設定、√:設定可能)

No.	機能の表示名	機能概要	設定可否
1	(NULL)	設定なし	✓
2	C-LEDFI ON/OFF	蛍光 LED 光源の点灯<->消灯	\checkmark
3	Intensilight Shutter OPEN/CLOSE	HG プリセンターファイバー光源シャッター開<->閉	√
4	Front LED ON/OFF	顕微鏡本体前面の LED インジケーター類の点灯<->消灯	$\checkmark\checkmark$
5	Camera Trigger 1(ON:Pulse Output)	カメラトリガー出力1(パルス出力)	✓
6	Camera Trigger 2(ON/OFF:Hi/Low Toggle)	カメラトリガー出力2(Hi/Low トグル動作)	✓
7	Camera Trigger 3(ON:Hi, OFF:Low)	カメラトリガー出力3(Hi/Low モーメンタリー動作)	\checkmark

3.8.2 その他の制御可能な機能の設定

1. サブ項目の[DIA 照明]欄で、次の値を設定します。

DIA 照明:

透過照明の調光ノブ操作の有効/無効を選択します。

2. サブ項目の[ボタン・スイッチ]欄で、次の値を設定します。

左側面パネル:

顕微鏡本体左側操作パネルのボタン/スイッチによる操作の有効/無効を選択します。

▼ その他の設定



3.9 [インジケーター] インジケーターの設定

ここでは、Ti2-A 顕微鏡本体ご使用の場合の、各種インジケーターについて設定します。

3.9.1 顕微鏡側 FnL インジケーターの設定

Ti2-A 顕微鏡本体の前面操作パネルの FnL インジケーター(LED) に任意の機能の動作状態を割り当てます。

FnL インジケーターに初期設定で割り当てられている機能はないため、任意に設定しない場合は点灯しません。



前面操作パネル

1. サブ項目の[ファンクションインジケーター(LED)]欄で、次 ▼ LED インジケーターの設定 の値を設定します。

顕微鏡本体の前面操作パネルの LED インジケーター(FnL) に割り当てる動作状態(ステータス)の表示を選択します。
 28k
 3x905x0x000-u-cuto

 3x374
 FinL

 3x374
 600-u-cuto)

 600-u-cuto)
 600-u-cuto)

 700-u-cuto)
 600-u-cuto)

 700-u-cuto)
 70- 0N

 700-u-cuto)
 70- 0N

 700-u-cuto)
 70- 0N

 700-u-cuto)
 70- 0N

2. 選択した LED インジケーターに割り当てたい機能を一覧から ▼ 選択します。

3. [OK]をタップします。

▼ 割当て機能一覧のサブ画面



Ti2-A 顕微鏡本体 LED インジケーターの表示機能割当て一覧

Ti2-A 顕微鏡本体の FnL インジケーターに割当て可能な LED 表示は以下のとおりです。

No.	機能の表示名	機能の概要	設定時の状態
1		設定なし	何もしない
2	Main Branch 1 IN/OUT Status	メインブランチ1 状態	点灯:IN、消灯:OUT
3	Main Branch 2 IN/OUT Status	メインブランチ2 状態	点灯:IN、消灯:OUT
4	C-LEDFI ON/OFF Status	蛍光 LED 光源選択 LED ユニット状態	点灯:ON、消灯:OFF
5	Intensilight Shutter Open/Close Status	IntensiLight シャッター状態	点灯:OPEN、消灯:CLOSE
6	DIC Polarizer IN/OUT Status	DIC ポラライザー状態	点灯:IN、消灯:OUT
7	DIC Analyzer IN/OUT Status	アナライザースロット状態	点灯:IN、消灯:OUT
8	Inter Mag. 1.5x/1x Status	中間変倍状態	点灯:1.5x、消灯:1x

No.	機能の表示名	機能の概要	設定時の状態
9	Eyepiece Tubebase Camera Port	鏡筒ベースカメラポート状態	点灯:EYE(ポート鏡筒)、OPEN(ア シスト鏡筒)
	IN/OUT Status		消灯:DSC (ポート鏡筒)、CLOSE (ア シスト鏡筒)
10	Bertrand Lens IN/OUT Status	ベルトランレンズ状態	点灯:IN、消灯:OUT
11	Assist Camera ON/OFF Status	アシストカメラ電源状態	点灯:ON、消灯:OFF

LED インジケーターの制御 3.9.2

顕微鏡本体のインジケーターの制御について設定します。

1. サブ項目の[インジケーター(LED)]欄で、次の値を設定しま ▼ インジケーター(LED)の制御 す。

前面パネル LED:

顕微鏡本体前面パネルの LED の点灯 (ON) / 消灯 (OFF) を選択します。

DIC LED:

微分干渉検鏡の条件が満たされているか否かを判別する ための、顕微鏡本体前面操作パネルの DIC インジケータ ーの動作を選択します。

Always OFF :	常に消灯 (微分干渉検鏡の条件を満たしていても 点灯/点滅しない)
ON-OFF :	微分干渉検鏡の条件を満たしている場合 に点灯 (点滅なし)
Normal :	微分干渉検鏡の条件を満たしている場合 に点灯、一部のみ満たしている場合は点



その他の制御 3.9.3

その他の制御について設定します。

1. サブ項目の[その他]欄で、次の値を設定します。

滅

ブザー:

顕微鏡本体のブザーの有効(ON)/無効(OFF)を選択 します。



▼ その他の制御

3.10 [アシストカメラ] アシストカメラの設定

アシスト鏡筒ベース使用時のアシストカメラのフレームレート、アシストカメラの視野調整を設定します。

1. 設定項目選択エリアの[アシストカメラ]を選択します。

アシストカメラの設定画面が表示されます。

2. サブ項目の[アシストカメラ]欄で、次の値を設定します。

フレームレート:

アシストカメラのフレームレートを選択します。

調整:

タップすると調整画面を表示します。

調整画面では、アシストカメラの視野を双眼部の視野と同じ位置やサイズに調整することができます。

🕑 補足

アシストカメラの視野調整を行う際は、ベルトランレンズの挿脱 状態ごとに、それぞれ調整する必要があります。

手順は以下のとおりです。

- 1) 現在のベルトランレンズの挿脱状態でアシストカメラの視 野調整を行います。
- 2) 調整画面の[OK]をタップして確定します。
- 3) 顕微鏡本体のベルトランレンズ挿脱ダイヤルを回して、レンズを挿入もしくは脱出させます。 (Out→In または In→Out)
- 設定項目選択エリアの[アシストカメラ]を選択し、[調整] ボタンをタップして調整画面を表示します。
- 5) 現在のベルトランレンズの挿脱状態でアシストカメラの視 野調整を行います。
- 6) 調整画面の[OK]をタップして確定します。
- なお、調整画面を開いている状態でベルトランレンズの挿脱を行
- うと、エラーメッセージが表示されて調整画面が閉じます。

ホワイトバランス:

現在画面に表示されている画像に対して、自動的にホワイ トバランスを調整します。

▼ アシストカメラの設定





⊌¶ ⊒E		
Γ		 ○ 0FF ○ 960 × 720 ● 800 × 600 ホワイトパランス
	Cancel	ок

[設定読込・保存] 設定の読込みと保存 3.11

ここでは、設定の読込み/保存について説明します。

「Ti2 Control」アプリで設定した内容を設定ファイルとしてデバイス内に保存し、読み込むことができます。

設定ファイルは複数保存することができ、ユーザーごとに読み込む設定ファイルを使い分けることで、顕微鏡システムの 設定を変更することもできます。

1. 設定項目選択エリアの[設定読込・保存]を選択します。 ▼ 設定読込・保存の設定

全般	設定読込·保存	
927a		鉄込
拔統		保存
	政治転送	
光学素子		送信
任意光学素子		委信
移動動作	名称变更·削除	
		名格安更
逐動制制		利除
コントローラー		
インジケーター		
アシストカメラ		
BEBE 保存		
迷信		

3.11.1 設定の読込み

- 1. サブ項目の[設定読込・保存]欄の[読込]をタップします。 読込画面が表示されます。
- ▼ 設定の読込

全般	設定読込·保存	
		請込
1945		保存
10.44	酸淀粉液	
光学素子		送信
任意光学素子		受信
	名称变更·削除	
		名称变更
連動制御		消除
コントローラー		
アシストカメラ		
設定設达·保存		
送信		

- 2. 読み込む設定情報ファイルを選択します。
- 3. [OK]をタップします。

読込画面が表示されます。

▼ ファイル選択画面

	設定名	
	⊖ BF-FL-Ph-DIC	
	○ NSI-lab-PH	
G	NSI-lab SI-lab S	
	Cancel OK	

- 4. 読み込む設定情報の種類を選択します。
- 5. [OK]をタップします。

保存されている設定情報が読み込まれ、各設定画面に反映されます。

▼ 読込画面



3.11.2 設定の保存

- 1. サブ項目の[設定読込・保存]欄の[保存]をタップします。
- ▼ 設定の保存



- 2. [設定名]欄に、任意のファイル名を入力します。
- 3. [OK]をタップします。

設定情報が保存されます。

4. 保存完了画面が表示されたら、[OK]をタップします。









▼ 上書き確認



手順2.で入力したファイル名が既に存在する場合は、[保存]をタップ後、上書き保存するか確認するメッセージが表示されます。 そのまま上書き保存する場合は[Yes]、保存しない場合は [Cancel]をタップします。



設定転送 3.11.3

「Ti2 Control」アプリで保存した設定ファイルを別の端末に転送(送信と受信)することができます。

🖸 補足

送信側端末と受信側端末は、同一の無線ルーターに接続してください。

1. 送信側端末で、サブ項目の[設定転送]欄の[送信]をタップし ▼ 設定の送信(送信側端末の設定) ます。 全般

送信するファイルの選択画面が表示されます。



- 2. 送信するファイルを選択します。
- 3. [Send]をタップします。

転送の確認画面が表示されます。

▼ 送信ファイルの選択(送信側端末の設定)

4. 受信端末側で、サブ項目の[設定転送]欄の[受信]をタップし ▼ 設定の受信(受信端末側の設定) ます。

受信の待機画面が表示されます。



5. 受信待機画面に受信端末の IP アドレスが表示されるので、 ▼ 受信待機画面 メモします。

設定転送(受信)
2688年97月 21月1日 - 102 - 1020 1620 163 21月1日 - 102 - 1020 1630 163 21月1日 - 102 - 1020 163 163 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
Cancel

- 6. 送信側端末で、手順 5.で表示された転送先の IP アドレスを、 [受信 IP アドレス]欄に入力します。
- 7. [Send]をタップします。

転送が開始されます。

▼	転送の確認	(送信側端末の設定)

設定転送(送信)	
設定	
NSI-test	
受信IPアドレス	
xxxxxxxxxxx	
運転によったな思想すべきはすらならない。してつう 2000年のプログロントの日本のプログロントの日本の 2 Sand をうっつしてなどらい転送が開始されます。	##211111(22304) 1917年 - 王の藩主人力してください。

3.11.4 設定名の変更

サブ項目の[名称変更・削除]欄の[名称変更]をタップします。

名称変更するファイルの選択画面が表示されます。

▼ 設定名の変更



- 2. 名称を変更するファイルを選択します。
- [Rename]をタップします。
 名称変更画面が表示されます。

- 4. [設定名]欄に、任意のファイル名を入力します。
- 5. [OK]をタップします。

🕑 補足

手順4.で入力したファイル名が既に存在する場合は、[OK]をタップしても保存されません。 その場合は、他の設定名で手順1.からやりなおしてください。

▼ ファイルの選択

名称変更		
BF-FL-Ph-DIC		
NSI-test-A		
◯ NSI-test		
C Test-NSI-TC		
Cancel	Rename	

▼ 名称変更

名称変更				
設定名	NSI-test-A			
	Cancel		ок	

▼ 上書き確認



3.11.5 設定ファイルの削除

- サブ項目の[名称変更・削除]欄の[削除]をタップします。
 削除するファイルの選択画面が表示されます。
- ▼ 設定ファイルの削除



- 2. 削除するファイルを選択します。
- [Delete]をタップします。
 削除確認画面が表示されます。

4. 削除する場合は[OK]をタップします。

以上でセットアップは終了です。

設定した情報を顕微鏡へ送信する場合は、設定項目選択エリアの [送信]をタップします。

▼ ファイルの選択

削除	
⊖ BF-FL-Ph-DIC	
NSI-test-A	
◯ NSI-test	
◯ Test-NSI-TC	
Cancel	Delete

▼ 削除確認



▼ 顕微鏡へ送信

全殿	設定読込·保存	
システム		読込
		R T
技統	設定転送	
光学素子		送信
任意光学素子		委信
10.01.01.01	名称变更·削除	
43-983-98171		名称变更
連動制即		nitis:
コントローラー		
インジケーター		
アシストカメラ		
設定設込·保存		
送信		

3.12 [情報] バージョン情報

ここでは、アプリケーションや顕微鏡のバージョン情報について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[情報]を選択します。

▼ バージョン情報

アプリケーションや顕微鏡本体のバージョン情報が表示されます。

Ti2 シリーズのバージョン情報については、以下のとおりです。

バージョン:

Ti2 Control (本アプリケーション)のバージョンが表示 されます。

顕微鏡:

- モデル: 使用している顕微鏡の機種名が表示されます。
- FW:
 Ti2-A 顕微鏡本体のファームウェアバージョンが表示されます。

MAC アドレス: 顕微鏡本体の MAC アドレスが表示されます。

アシストカメラ:

- FW: アシスト鏡筒を使用している場合の、アシス トカメラのファームウェアバージョンが表 示されます。
- MAC アドレス: アシストカメラの MAC アドレスが表示 されます。





各装置の状態表示: Ti2-A編

本章では、アプリから Ti2-A 顕微鏡の状態を確認する方法について説明します。(LED 照明装置以外の操作はできません。)

4.1 Home 画面

Home 画面では、Ti2-A 顕微鏡本体の現在の顕微鏡の状態が表示されます。(LED 照明装置以外の操作はできません。)

1. [Home]をタップします。

Home 画面が表示されます。

▼ Home 画面



4.1.1 Home 画面の構成

■ 顕微鏡図

リモコンボタンをタップすると、顕微鏡図上の該当する場所に マークが表示されます。

顕微鏡図の上には、現在表示している顕微鏡システムの登録名 が表示されます。(「3.2.3 顕微鏡システムの登録」参照)

アシスト鏡筒ベースが装着されている場合、顕微鏡図の左上に は、アシストカメラの接続状態が表示されます。

■ リモコンボタンエリア

各ボタンは現在の装置の状態を表しています。

🕑 補足

光学素子が光路に正しく入っていない場合、ボタン上に「?」が 表示されます。

リモコンボタンエリアの上には、現在表示しているリモコンボタ ンの配置設定名が表示されます。

(「5.2.2 保存したリモコンボタン配置を呼出す」参照)

Check

指定された観察方法で正しく観察できる状態かどうかをチェッ クできます。(「5.1 Checkモード」参照)

Mode

各装置の状態をモードとして登録できます。 登録済みモードを選択すると、現在の顕微鏡の状態が、選択した モードに登録された状態と同じか確認できます。 (「5.3 Modeの登録と再現」参照)

Display

各リモコンボタンを自由に配置することができます。(「5.2 モコンボタンの配置」参照)

▼ Home 画面構成



▼ Home 画面構成



スマートフォンで「Ti2 Control」を操作する場合

スマートフォンを使用する場合、Home 画面に顕微鏡図は表示 されません。

また、各リモコン画面をタップして表示されるサブ画面もリストが表示されるのみで、ターレット図などは表示されません。

また、現在表示しているリモコンボタンの配置設定名も表示されません。

- ▼ スマートフォンの画面 Home XYZ Assist Guide Ø Check Mode Display DIA ÷.... CP FLI () DIC 🔿 EYE 💽 20x Dry U:Close Open OUT DIA FL1 🚱 GD ç Capture U:OPEN OFF ▼ スマートフォンを使用した場合のサブ画面
 - Home Check Check 1:(Achromat)/20x/0.4/Dry/Ph1/MRP20200 2:Plan Apo/40x/0.95/Dry/N2/N1/MRD00400 3:S Plan Fluor/20x/0.45/Dry/MRH68200 4:Plan/100x/0.85/Dry/N2/MRL65900 E:Dlan Apo/60w/0.0E/Dw/M2/MRL65900 E:Dlan Apo/60w/0.0E/Dw/M2/MRL65900 Close

4.1.2 リモコンボタン一覧

各リモコンボタンの機能概略と参照先は以下のとおりです。

ボタン	機能概略と参照先	ボタン	機能概略と参照先
CP 10x Dry	対物レンズの状態表示 (「4.1.3 対物レンズの状態表示」参照)		コンデンサーモジュールの状態表示 (「4.1.4 コンデンサーの状態表示」参照)
FLI	FLターレット1のフィルターキューブの状態表示 (「4.1.5 フィルターキューブの状態表示」参照)	FL2	FLターレット2のフィルターキューブの状態表示 (「4.1.5 フィルターキューブの状態表示」参照)
FLI O U:Close FLI O U:Open	FL ターレット 1 のシャッターの開閉状態表示 (「4.1.8 FLターレットのシャッターの開閉状 態表示」参照)	FL2 L:Close FL2 L:Open	FL ターレット 2 のシャッターの開閉状態表示 (「4.1.8 FLターレットのシャッターの開閉状 態表示」参照)
	透過照明の光量調整 (「4.1.7 透過照明装置(DIA)の操作」の「DIA の光量調整」参照)	EPI	落射照明(LED)の波長別調整 (「4.1.12 落射光源装置にLEDを使用する場合 の操作」の「使用するLEDの選択」参照)
OFF OFF OIA ON	透過照明の点灯/消灯切替え (「4.1.7 透過照明装置(DIA)の操作」の「DIA の点灯/消灯操作」参照)	EPI COFF EPI CON	落射照明(LED)の点灯/消灯切替え (「4.1.12 落射光源装置にLEDを使用する場合 の操作」の「LEDの点灯/消灯操作」参照)
EPI Close EPI Open	インテンシライトのシャッター開閉 (「4.1.13 落射光源装置にインテンシライトを 使用する場合の操作」の「インテンシライトのシ ャッターの開閉」参照)	EPI	インテンシライトの ND フィルターの切替え (「4.1.13 落射光源装置にインテンシライトを 使用する場合の操作」の「インテンシライトのND フィルターの切替え」参照)
LAPP1	落射照明 1 の光路の状態表示 (「4.1.11 落射照明の光路の状態表示」参照)	LAPP2	落射照明 2 の光路の状態表示 (「4.1.11 落射照明の光路の状態表示」参照)
CON EYE	光路の状態表示 (「4.1.6 光路の状態表示」参照)	м ф 1х	中間変倍の状態表示 (「4.1.10 その他のボタン」参照)
	対物レンズ側 DIC スライダー装着状態表示 (「4.1.10 その他のボタン」参照)	в от	ベルトランレンズの挿脱状態表示 (4.1.10 その他のボタン」参照)
	アナライザーの挿脱状態表示 (「4.1.10 その他のボタン」参照)	Capture	アシストカメラ画像のキャプチャー (4.1.9 アシストカメラ画像のキャプチャー(ア シスト鏡筒ベース使用時のみ)」参照)
	ポラライザーの挿脱状態表示 (「4.1.10 その他のボタン」参照)		

4.1.3 対物レンズの状態表示



状態検出が可能なレボルバーを使用している場 合は、現在光路に入っている対物レンズ名を表 示します。

- 1. タップすると対物レンズのサブ画面が表示されます。
- ▼ 対物レンズの状態表示



 対物レンズ名をロングタップすると、その対物レンズの詳細 ▼ 対物レンズのサブ画面 情報が表示されます。

🕑 補足

各対物レンズのボタンには、対物レンズ本体に倍率カラーコード が表示されています。

黒:1x、灰:2x、赤:4x、黄:10x、緑:20x、淡い緑:25x、 明るい青:40x、暗い青:60x、白:100x

3. [Close]をタップすると、対物レンズサブ画面を閉じます。



🕑 補足

表示された対物レンズの詳細情報は、各項目をタップして変更す ることもできます。

変更した情報は、画面下の[OK]をタップすることで、顕微鏡に 送信できます。

(対物レンズ情報の変更方法は、「3.5.1 レボルバーの設定」 を参照してください。)

▼ 対物レンズ詳細情報画面



4.1.4 コンデンサーの状態表示



状態検出が可能なコンデンサーターレットを使 用している場合は、現在光路に入っているコン デンサーモジュール名を表示します。

1. タップするとコンデンサーのサブ画面が表示されます。

- 2. コンデンサーモジュール名をロングタップすると、そのモジ ▼ コンデンサーモジュールのサブ画面 ユールの詳細情報が表示されます。
- 3. [Close]をタップすると、コンデンサーモジュールのサブ画 面を閉じます。

▼ コンデンサーモジュールの状態表示





ロングタップすると、そのコンデンサー
 モジュールの詳細情報を表示

▼ コンデンサーモジュール詳細情報画面



✔ 補足

表示されたコンデンサーモジュールの詳細情報は、各項目をタッ プして変更することもできます。

変更した情報は、画面下の[OK]をタップすることで、顕微鏡に 送信できます。

(コンデンサーモジュール情報の変更方法は、「3.5.2 コンデ ンサーモジュールの設定」を参照してください。)

フィルターキューブの状態表示 4.1.5



状態検出が可能な FL ターレットを使用してい る場合は、現在光路に入っているフィルターキ ューブ名を表示します。



(2 台目の FL ターレット用)

- 1. タップするとフィルターキューブのサブ画面が表示されま す。
- 2. フィルターキューブ名をロングタップすると、そのフィルタ ▼ フィルターキューブのサブ画面 ーキューブの詳細情報が表示されます。
- 3. [Close]をタップすると、フィルターキューブのサブ画面を 閉じます。

▼ フィルターキューブの状態表示



現在光路に入っているフィルター キューブ



ロングタップすると、そのフィルターキュー ブの詳細情報を表示

✓ 補足

表示されたフィルターキューブの詳細情報は、各項目をタップし て変更することもできます。 変更した情報は、画面下の[OK]をタップすることで、顕微鏡に 送信できます。 (フィルターキューブ情報の変更方法は、「3.5.3 フィルター

キューブの設定」を参照してください。)

▼ フィルターキューブ詳細情報画面



4.1.6 光路の状態表示



現在の光路の出力先名を表示します。

- 1. タップすると光路のサブ画面が表示されます。
- ▼ 光路の状態表示



✔ 補足

光路の出力先名は「3.5.5 光路名の設定」で設定した値が表示 されます。

1: 接眼観察ポート(初期表示: EYE)

鏡筒の双眼部を通して顕微鏡像を眼で観察するための光 学出カポートです。 (アシスト鏡筒ベース使用時にアシストカメラに出力する

場合は、出力先を[1]の接眼観察ポートに切り替えます。)

2: 右サイドポート(初期表示:R100)

顕微鏡の右側にある顕微鏡像の光学出カポートです。 (顕微鏡用カメラ、測光センサーなど)

3: AUX(初期表示:L80)

顕微鏡の左側にある顕微鏡像の光学出力ポートに 80%、 接眼観察ポートに 20%で分けて出力します。(Ti2-A E20L80 使用時)

4: 左サイドポート(初期表示:L100) 顕微鏡の左側にある顕微鏡像の光学出力ポートです。(顕 微鏡用カメラ、測光センサーなど)

2. [Close]をタップすると、光路のサブ画面を閉じます。



4.1.7 透過照明装置 (DIA) の操作

DIA の光量調整



現在の透過照明装置(DIA)の光量を表示します。

- 1. タップすると DIA 照明光量のサブ画面が表示されます。
- ▼ DIA 照明の光量調整



- ▼ DIA 照明光量調整サブ画面
- 光量を調整する場合は、中央のダイヤル上をタップするか、
 ダイヤル周辺をドラッグします。
- 3. [OK]をタップすると、DIA 照明光量調整サブ画面を閉じま す。

[Cancel]をタップすると、サブ画面を開く前の光量に戻して 画面を閉じます。



DIA の点灯/消灯操作

1. 下図のボタンをタップします。



点灯中。タップすると消灯します。

消灯中。タップすると点灯します。

▼ DIA の制御


4.1.8 FL ターレットのシャッターの開閉状態表示

状態検出が可能な FL ターレットを使用している場合は、FL ターレットのシャッターの開閉状態を表示します。



FL ターレットのシャッターが開いている状態で す。

FLI O U:Close

FL ターレットのシャッターが閉じている状態で す。

2 台目の FL ターレットがある場合



FL2 🔿

L:Close

2 台目の FL ターレットのシャッターが開いてい る状態です。

2 台目の FL ターレットのシャッターが閉じてい る状態です。





4.1.9 アシストカメラ画像のキャプチャー(アシスト鏡筒ベース使用時のみ)

1. 下図のボタンをタップします。



アシストカメラの画像がキャプチャーされま す。

光路が[EYE]に切替えられている場合は、アシス トカメラの画像がキャプチャーされ、スマート デバイス内のストレージに保存されます。

🗸 補足

キャプチャーした画像は、スマートデバイス内の[Pictures] -> [Ti2Control]フォルダーに保存されます。

保存した画像は、写真閲覧アプリで確認できます。

▼ アシスト画像のキャプチャー



その他のボタン 4.1.10

その他のボタンが表示している情報は以下のとおりです。

現在の中間倍率が表示されます。



対物レンズ側 DIC スライダーの挿脱状態を表示します。



未挿入状態

DIC アナライザースライダーの挿脱状態を表示します。



挿入状態

未挿入状態

DIC ポラライザーの挿脱状態を表示します。



挿入状態

未挿入状態

ベルトランレンズの挿脱状態を表示します。



ол

挿入状態

未挿入状態

🕑 補足

表示専用ボタンをタップすると、左側の顕微鏡図にそのモジュールの場所を表示します。

4.1.11 落射照明の光路の状態表示

1. 下図のボタンをタップします。



(ステージアップしている場合はこちらもタッ プ)

落射照明制御サブ画面が表示され、現在使われている光路が 表示されます。

2. [Close]をタップすると、落射照明制御サブ画面を閉じます。

▼ 落射照明の制御



▼ 落射照明制御サブ画面



顕微鏡本体側

4.1.12 落射光源装置に LED を使用する場合の操作

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)には励起波長ごとに LED が内蔵されており、各 LED の使用可否と調光を操作して好みの波 長の光で照明することができます。

使用する LED の選択

1. 下図のボタンをタップします。



すべての LED が OFF の状態

各 LED が ON の状態

C-LEDFI 制御サブ画面が表示され、各 LED の使用(ON)/ 不使用(OFF)、波長、および光量が表示されます。

- 2. 各 LED の[ON]または[OFF]をタップすると、それぞれの LED を使用するか否かを設定できます。
- 3. LED ごとに[<]/[>]をタップして光量を設定します。
- 4. [OK]をタップして、C-LEDFIの制御を確定します。

▼ C-LEDFI の制御



▼ C-LEDFI 制御サブ画面



LED の点灯/消灯操作

1. 下図のボタンをタップします。



点灯中。タップすると消灯します。

消灯中。タップすると点灯します。

前述の C-LEDFI 制御サブ画面で設定されている各 LED を点灯/消灯します。

▼ C-LEDFI の制御



4.1.13 落射光源装置にインテンシライトを使用する場合の操作

落射光源装置に電動インテンシライト(電動 HG プリセンターファイバー光源 C-HGFIE)を使用している場合は、シャッター開閉と、インテンシライトに装着した ND フィルターの切替えを操作することができます。

インテンシライトのシャッターの開閉

1. 下図のボタンをタップします。



インテンシライトのシャッターが開いた状態で す。タップすると閉じます。

インテンシライトのシャッターが閉じた状態で す。タップすると開きます。

▼ インテンシライトのシャッターの開閉



インテンシライトの ND フィルターの切替え

1. 下図のボタンをタップします。



ND フィルター切替えサブ画面が表示されます。

▼ ND フィルターの切替え



ND フィルターを切り替える場合は、[<]/[>]をタップし ▼ ND フィルター切替えサブ画面ます。

3. [OK]をタップして、ND フィルターの変更を確定します。



4.2 Live 画面

Ti2-A をご利用の場合、Live 画面にアシストカメラのライブ画像が表示されます。

✓ 注意

アシスト鏡筒ベースが装着されていても、ライブ画像表示エリアにアシストカメラの画像が表示されないことがあります。 画像の取得に失敗している場合、メッセージダイアログが表示されますので、メッセージにしたがって画像取得の再試行を 実行してください。

何度か再試行してもライブ画像が表示されない場合は、購入先までお問い合わせください。

4.2.1 Live 画面の構成

ここでは、Live 画面の基本的な構成について説明します。

■ リモコンボタンエリア

顕微鏡本体の各装置の状態を表示します。 各リモコンボタンの配置は、Display 画面で自由に変更するこ とができます。 詳しくは「5.2 リモコンボタンの配置」を参照してください。

■ リモコンボタンエリアのスワイプ

リモコンボタンエリアを上下にスワイプすると、エリアに表示 される項目がスクロールします。

■ ライブ画像表示エリア

アシストカメラのライブ画像を表示します。

Home Live Asist Guide Check Mode Direlay ディイブ画像表示エリア リモコンボタンエリアを

リモコンホタンエリアを — スワイプ

▼ 表示/非表示

■ : (表示切替え)

タップして表示されたサブメニューから、リモコンボタンエリ アの表示/非表示を切り替えます。

Hide:

リモコンボタンエリアを非表示にします。

Microscope Control:

リモコンボタンエリアを表示します。

Camera Control:

アシストカメラ画像の調整画面を表示します。

ホワイトバランスの調整や、アシストカメラの視野を双眼 部の視野と同じ位置やサイズに調整することができます。



▼ リモコンボタンエリア



高度な使い方: Ti2-A編

本章では、「Ti2 Control」から顕微鏡を操作する場合の、より高度な使用方法について説明します。

5.1 Check モード

指定した検鏡方法で正しく観察できる状態かどうかをチェックするモードです。

5.1.1 Check モードの使い方

Home 画面の[Check]をタップします。
 検鏡方法の選択リストが表示されます。

▼ Check モードの開始



2. リストからチェックする検鏡方法を選択して、[Start]をタ ップします。

Home 画面が Check モードに切り替わり、選択した検鏡方 法に適したボタン配列に変更されます。

🕑 補足

ここで表示される検鏡方法は、アクセサリーの装着状態により、 実行可能と判断された検鏡方法のみ選択可能になります。

Check モード中は、[Check]の文字が選択した検鏡方法名に 切り替わり、赤もしくは緑色で表示されます。

検鏡方法に適さないアクセサリーが光路にある、もしくは状態の場合、[検鏡方法名]の文字が赤で表示され、該当のアクセサリーのリモコンボタンに **()** マークが表示されます。

検鏡方法に適さない対物レンズが光路にある場合は、他のア クセサリーが検鏡方法に適さない状態であっても、対物レン ズのリモコンボタンにのみ ^{●●} マークが表示されます。 適正な対物レンズに切替え後、検鏡方法に適さないアクセサ リーに対して ^{●●} マークが表示されます。

▼ Check モード中の Home 画面

▼ チェックする検鏡方法の選択



検鏡方法に適した状態の場合、[検鏡方法名]の文字が緑色で 表示されます。 3. 🚺 マークが表示されたリモコンボタンをタップします。

サブ画面が表示されます。

▼ Check モード中の Home 画面



検鏡方法に適した項目が緑枠で表示されています。

顕微鏡本体側で、装置を検鏡に適した状態に切り替えます。





すべての装置が検鏡に適した状態になると、リモコンボタン に表示された マークがすべて消え、[検鏡方法名]の文字 が緑色で表示されます。

📀 補足

Check モードを解除する場合は、[検鏡方法名]をタップすると解除されます。



5.2 リモコンボタンの配置

各リモコンボタンを自由に配置し、リモコンボタンの配置設定として登録することができます。

5.2.1リモコンボタンの配置変更

1. Home画面もしくはLive画面の[Display]をタップします。 ▼ リモコンボタンの配置変更の開始

選択リスト画面が表示されます。

🕑 補足

リモコンボタンの配置設定は、Home 画面、Live 画面それぞれ 別に管理されます。

どちらの画面で[Display]をタップしたかによって、次に表示さ れる選択リスト画面が異なります。



2. 新規でリモコンボタンの配置設定を作成する場合は、[+]を ▼ 選択リスト画面-Display (Home) タップします。

リモコンボタンの配置変更画面が表示されます。

🕑 補足

現在使用中のリモコンボタンの配置設定名の横に(√)が表示さ れています。

✓ 補足

作成済みのリモコンボタンの配置設定を編集する場合は、該当の 設定を選択して[Edit]をタップします。

[Edit]を選択した場合、後から別名保存することはできませんの でご注意ください。



▼ 選択リスト画面-Display (Live)



3. 配置されているボタンを削除する場合は、そのボタンをタッ プします。

ボタンを選択すると、黄色い枠で表示されます。

4. []をタップします。

選択したボタンが削除されます。

(先に [〕]をタップしてから削除したいボタンをタップ しても、ボタンを削除することができます。)

▼ ボタンの削除



複数のボタンを一度に削除する場合は、一つ目のボタンをロ ングタップします。

一つ目のボタン左上に黄色いチェックマークが表示されて から、他のボタンを選択します。

チェックマークが表示されているボタンをタップすると、選 択が解除されます。

複数選択を解除する場合は、画面左上の[Back]で解除できま す。

[] をタップすると、選択したボタンが削除されます。

画面左の配置可能なボタン群から、配置するボタンを選択し 5. ます。

ボタン群は左右にスワイプすると、表示される項目がスクロ ールします。

ボタンを選択すると、黄色い枠で表示されます。

既に配置済みのボタンは、ボタン右上にチェックマーク付き で表示されます。

例) ∝云 (未配置) → 🐾云 (配置済)

🖸 補足

各リモコンボタンの機能概要については「4.1.2 リモコンボタ ン一覧」を参照してください。

6. 画面右側の配置画面で、ボタンを配置する位置をタップしま ▼ ボタンの配置 す。

タップした位置に選択したボタンが表示されます。

(先に配置したい位置をタップしてから下側のボタンをタッ プしてもボタンを配置することができます。)

▼ 複数ボタンの削除



▼ リモコンボタンの配置変更画面

- 配置するボタンを選択



配置可能なボタン群をスワイプ

ボタン	を配置	する位	置を選	択 ヿ			
Done All losens O C P R_2 C C		Assist Gui	de Home kons CP	63100	EPI	DIC 🕲	
Concer BAI	SHTR DLA Shutter	EPI Shutter	FLI @	(*	۲۳۳ ۱۳۳۰ بازی	DIC P	
€ Fu (€) FL1 BA2	OlA Lamp	O-LEDFI			LAPPI	MÔ	
FLI Image: Constraint of the second		C-HGFI		÷		* Ô	
R2 () FL2 □ □ □ () Ex. Ph.		C-HGFT		EYE 🌑	DIC	Ď	

7. 配置されたボタンを入れ替える場合は、入れ替えたいボタン ▼ ボタンの入替え をそれぞれタップします。

Done		Live	Assist Gu	ide				
All locas S Nosepiece	FL2 CO	⊘ EYE ♪ Eye Shutter	EPI SHTR O EPI Shutter	Home Icons	63#00	EPI	DIC 🔕	
CON Condenser	ва1 ВА1	DIA SHTR O DIA Shutter	O-LEDFI	FL1 🐼	ه ي)		DIC 🕑	
€1 FL1 FL1		OlA Lamp	O-LEDFI	Ri 🌑	OIA ث	LAPPI	MÔ	
SLI CO FL Shutter 1	⊘ © £ Optical Path	OIA Lamp	C-HGFI	EYE 🌑	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		° 🖒	
R.2	Edfi C Ø Ex. Ph.		EPI C-HGFI	â		DIC		
								Î

8. すべてのボタンを配置し終えたら、[Done]をタップします。 ▼ リモコンボタンの配置変更の設定保存

保存画面が表示されます。



9. カスタムしたリモコンボタンの配置をリモコンボタンの配 置設定として保存する場合は、[名前]欄に保存名を入力し て、[Save]をタップします。

保存名は、半角英数 20 文字以内で入力します。

設定したボタン配置がリモコンボタンの配置設定の一つと して登録されます。

✓ 補足

登録したリモコンボタンの配置設定を削除する場合は、選択リス ト画面で、該当の設定名をロングタップします。 削除の確認メッセージが表示されたら、[OK]をタップして削除 します。

▼ Save Display 画面

Save Dis	olay (Home)			
名前	itandard setting			
	Cancel		Save	

▼ 選択リスト画面



保存したリモコンボタン配置を呼出す 5.2.2

1. Home画面もしくはLive画面の[Display]をタップします。 ▼ ボタン配置の呼出し

選択リスト画面が表示されます。



▼ リモコンボタンの配置設定の選択

Display (Home)

Close

2. リストから表示したいリモコンボタン配置のリモコンボタ ンの配置設定名を選択して、[Apply]をタップします。

✓ 補足

[All]を選択して[Apply]をタップした場合、表示可能なすべての リモコンボタンが表示されます。

リモコンボタンの配置設定に登録されているボタン配列に 変更されます。

リモコンボタンエリアの上に、呼び出したリモコンボタンの 配置設定名が表示されます。

Home		Live	Assist Guide	¢
Check	Mode	Display	90000000000	
→	NSI TI2-7	v001	TI2-A Stage up 01	
			Ce) 🖙 🎲 🐨	
	agent.		20x Dry NI ON OUT	
			FLI 🚱 FLI 🌑 🎄 📶 DIC 🕲	
			U.OPEN U.Open IN	
-	_ &	ð 👘		
			L:FITC_1 L:Open OFF 1x	
	ni			
			EYE Open 24 OUT	
	1 ·	· 8		
	HO O		Canature FPI-FI TIRE	

5.3 Mode の登録と再現

各装置の状態をモードとして登録でき、現在の顕微鏡の状態が登録済みモードと同じ状態か確認できます。

Mode の保存 5.3.1

- モード機能に観察状態を複数保存できます。
- 1. Home 画面の[Mode]をタップします。

モード画面が表示されます。

▼ モードの設定

Home	Live	Assist Guide	¢
Check	Mode Display		
¢Ω	NSI TI2-A001	Standard withing 20x. Chry NI ON OUT	
1	1	Ru €OLA Q Luipn⊒i MÔ U-Open OFF EPI-FL 1x	
	•	EVE CO Open 24 OUT	
		Capture Dic	

[顕微鏡]タブを選択時に登録したいモード番号の[Edit]をタ ▼ モード画面(顕微鏡側に保存) ップすると、顕微鏡側にモードを保存します。

Mode					
₽	na	Ŕ		タブレット	
	1	(Unset)			Edit
	(Diose			

[タブレット]タブを選択時に[Add]をタップすると、タブレ ▼ モードの保存先(タブレット側に保存) ット側にモードを保存します。



顕微鏡に保存する場合と、タブレットに保存する場合で設定 項目が異なります。

以降は、保存先ごとに説明します。

登録する装置と状態の設定(顕微鏡に保存)

1. [顕微鏡]タブを選択し、登録したいモード番号の[Edit]をタ ▼ モード画面 ップします。

モード設定のサブ画面が表示されます。



2. 次の値を設定します。

現在値:

状態検出が可能な装置が接続されていた場合、現在の装置 状態を読み込みます。

全てクリア:

表示されている値をすべてクリアします。

名称:

登録モードの表示名を入力します。 (半角英数で最大 14 文字まで入力できます)

レボルバー:

レボルバーの番地を選択します。

コンデンサー:

コンデンサーターレットの番地を選択します。

フィルター1:

使用するフィルターキューブが入っている FL ターレット 1の番地を選択します。

フィルター2:

ステージアップで、2 台目の FL ターレットがある場合は、 使用するフィルターキューブが入っている FL ターレット 2 の番地を選択します。

FL シャッター1:

FL ターレット1のシャッターの開閉状態を選択します。

FL シャッター2:

ステージアップで、2 台目の FL ターレットがある場合は、 FL ターレット 2 のシャッターの開閉状態を選択します。

光路:

光路を選択します。

第238に保存(1)
 第46億 全でグリア
 第46億 全でグリア
 1001
 20プラプレー
 20プラプレー
 20プラプレー
 20プラプレー
 20プレー
 20プレー

Cance

▼ モードの設定(顕微鏡に保存)

DIA 照明:

透過照明の動作(ON/OFF)を選択します。

光量:

透過照明の光量を入力します。 (入力範囲は 0~100。)

LAPP メインブランチ 1:

落射照明装置のメインブランチ1の光路を選択します。

LAPP メインブランチ 2:

ステージアップで、落射照明装置の構成が上下 2 段組み になっている場合は、メインブランチ 2 の光路を選択し ます。

LAPP サブブランチ:

落射照明装置のサブブランチの光路を選択します。

中間変倍:

中間変倍の倍率を選択します。

DIC スライダー:

DIC スライダーの挿脱状態を選択します。

DIC ポラライザー:

DIC ポラライザーの挿脱状態を選択します。

アナライザースロット:

アナライザースライダーの挿脱状態を選択します。

ベルトランレンズ:

ベルトランレンズの挿脱状態を選択します。

3. [Save]をタップして保存します。

▼ モードの設定(顕微鏡に保存)(続き)



登録する装置と状態の設定(タブレットに保存)

1. [タブレット]タブを選択し、[Add]をタップします。

モード設定のサブ画面が表示されます。

▼ モード画面



2. 次の値を設定します。

現在値:

状態検出が可能な装置が接続されていた場合、現在の装置 状態を読み込みます。

全てクリア:

表示されている値をすべてクリアします。

名称:

登録モードの表示名を入力します。 (半角英数で最大 14 文字まで入力できます)

レボルバー:

使用する対物レンズを選択します。

コンデンサー:

使用するコンデンサーを選択します。

フィルター1:

使用するフィルターキューブを選択します。

フィルター2:

ステージアップで、2 台目の FL ターレットがある場合は、 使用するフィルターキューブを選択します。

FL シャッター1:

FL ターレット1のシャッターの開閉状態を選択します。

FL シャッター2:

ステージアップで、2 台目の FL ターレットがある場合は、 FL ターレット 2 のシャッターの開閉状態を選択します。

光路:

光路を選択します。

DIA 照明:

透過照明の動作(ON/OFF)を選択します。

光量:

透過照明の光量を入力します。 (入力範囲は0~100)
 現在値
 全たりア

 現在値
 全たりア

 現本値
 全たりア

 レポルレー
 2月an Apo/20x/075/Dry/Pk2/AMED30200

 コケラケー
 1.NI

 コケルケー
 1.DAP11

 コケルケー
 2000

 ドレホシット2
 2000

 日本
 000

 日本
 000

 日本
 100

 <tr/t>

 <tr/tr>

 日本

▼ モードの設定(タブレットに保存)

C-HGFI:

インテンシライトの動作(ON/OFF)を選択します。

C-LEDFI Ch:1:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネル1の動作(ON/OFF)を選択します。

光量:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネル1の光量を選択します。

Ch:2:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネル2の動作 (ON/OFF)を選択します。

光量:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネル2の光量を選択します。

Ch:3:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネル3の動作(ON/OFF)を選択します。

光量:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネル 3 の光量を選択 します。

Ch:4:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネル4の動作(ON/OFF)を選択します。

光量:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネル4の光量を選択します。

観察ポート:

ポート鏡筒ベースを使用している場合に表示されます。 鏡筒ベースの光学出力先(観察ポート)を選択します。

接眼部シャッター:

アシスト鏡筒ベースを使用している場合に表示されます。 双眼部への光路にあるシャッターの開閉状態を選択しま す。

LAPP メインブランチ 1:

落射照明装置のメインブランチ1の光路を選択します。

LAPP メインブランチ 2:

ステージアップで、落射照明装置の構成が上下2段組み になっている場合は、メインブランチ2の光路を選択し ます。

LAPP サブブランチ:

落射照明装置のサブブランチの光路を選択します。

▼ モードの設定(タブレットに保存)(続き)



中間変倍:

中間変倍の倍率を選択します。

DIC スライダー:

DIC スライダーの挿脱状態を選択します。

DIC ポラライザー:

DIC ポラライザーの挿脱状態を選択します。

アナライザースロット:

アナライザースライダーの挿脱状態を選択します。

ベルトランレンズ:

ベルトランレンズの挿脱状態を選択します。

3. [Save]をタップして保存します。

▼ モードの設定(タブレットに保存)(続き)



5.3.2 登録済み Mode の呼出し

呼び出したいモードをタップすると各装置の状態が表示され、登録された状態と異なる状態の装置の右側に、 🚺 マーク が表示されます。

1. Home 画面の[Mode]をタップします。

モード画面が表示されます。

▼ モードの呼出し



2. 表示されたリストから呼び出したいモード名をタップしま す。

登録済みモードが読み込まれます。

▼ モード呼出し画面

Mode					
4	觀察		. 9:	プレット	
_	1	MD1.			Edit
FnL	2	MD2.			Edit
	3	MD3.			Edit
		Close			

モード中は、[Mode]の文字が赤色もしくは緑色で表示されます。

登録済みモードに適さないアクセサリーが光路にある、もし くは状態の場合、該当のリモコンボタンに 🚺 マークが表 示され、[Mode]の文字が赤色で表示されます。

▼ モード中の Home 画面



- 3. 🚺 マークが表示されたリモコンボタンをタップします。 サブ画面が表示されます。
- ▼ モード中の Home 画面



モードに登録した項目が緑枠で表示されています。

顕微鏡本体側で、装置を検鏡に適した状態に切り替えます。





すべての装置が登録済みモードに適した状態になると、リモ ▼ モード中の Home 画面 の文字が緑色で表示されます。

🕑 補足

モードを解除する場合は、もう一度[Mode]をタップすると解除 されます。



5.3.3 登録済み Mode の編集

登録済みの Mode を編集する方法について説明します。

1. Home 画面の[Mode]をタップします。

モード画面が表示されます。

▼ モードの編集



2. 編集したいモード番号の[Edit]をタップします。

[顕微鏡]タブを選択時に、編集したいモード番号の[Edit]を タップすると、顕微鏡側のモードを編集する画面を表示しま す。

以降の編集方法は新規に登録する場合と同じです。 「5.3.1 Modeの保存」の「登録する装置と状態の設定(顕 微鏡に保存)」を参照してください。 ▼ モード画面(顕微鏡側に保存)



[タブレット]タブを選択時に、編集したいモード番号の [Edit]をタップすると、タブレット側のモードを編集する画 面を表示します。

以降の編集方法は新規に登録する場合と同じです。 「5.3.1 Modeの保存」の「登録する装置と状態の設定(タ ブレットに保存)」を参照してください。

▼ モードの保存先(タブレット側に保存)





アプリの機能構成: Ti2-E編

この章では、Ti2-E 顕微鏡を使用した場合の「Ti2 Control」アプリの機能構成について説明します。

6.1 アプリの機能構成

本アプリは、以下の4つの画面で構成されています。



落射光源

送信

顕微鏡IP 192.168.11.2 起動時自動検索 Enable



セットアップ: Ti2-E編

この章では、「Ti2 Control」 アプリを初めて使用するときに、顕微鏡システムの設定を新規に登録する方法について説明します。

セットアップでは、顕微鏡システムの設定を変更した場合に、その部分のみ顕微鏡システムの情報を変更することもできます。

✔ 注意

複数の顕微鏡システムが1台の無線ルーターに接続されている場合は、セットアップを行う際に、無線ルーターに接続する顕 微鏡システムを1台のみに変更してからセットアップを行ってください。

7.1 セットアップの基本操作と画面について

7.1.1 セットアップの開始

Home 画面、または XYZ 画面から、[①]をタップするとセット ▼ アップ画面が表示されます。

▼ セットアップの開始



▼ セットアップ画面

Home	XYZ	Assist Guide	
全般	表示言語		1
システム	y:	モコン 日本語	
1945	アシストラ	ガイド 日本語	
20.401	Home		
光学素子	NIS-EZ	タイル ON	
任意完学素子	顧微鏡		
移動動作		マイプ Ethernet (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)	
		名前	
建制制制	アシスト	カメラ 00.06.00.31.00.09	
コントローラー	パスワ	7- ド セット	
インジケーター	登録	業番号 1	
		光線	
アシストカメラ	LAN		
落射光源	顕	文鏡IP 192.168.11.2	
-11/2	起動時自	b枝索 Enable	
2518		ネットワーク上の顕微鏡を検索	

7.1.2 セットアップ画面の構成

■ 設定項目選択エリア

各ボタンをタップすることで、設定項目を変更できます。

■ 設定エリア

設定項目選択エリアのボタンをタップすることで表示項目が切り替わり、設定を変更することができます。

▼ セットアップ画面構成

Home	XYZ As:	sist Guide		
全般	表示言語			
システム	リモコン	日本語		
	アシストガイド	日本語		
200	Home			
光学素子	NIS-Eスタイル			
任意完学素子	明然鏡			
移動動作	タイプ	Ethernet (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)		
	名前			
迷動制制	アシストカメラ	00.06.00.31.00.09		
コントローラー	パスワード			
インジケーター	登録番号			
マシフトキメラ		登録		
	LAN			
落射光源	顕微鏡IP	192.168.11.2		
-164	起動時自動検索	Enable		
		ネットワーク上の最強調を検索		
	- <u>v </u>			
┣ 設	▶ 設定項目選択エリア ▶ 設定エリア			

7.1.3 設定項目

セットアップ機能は、以下の13の設定画面と1つのボタンで構成されています。

🕑 補足

ウィンドウサイズによっては、一部の項目が隠れて一度にすべて表示されません。 [全般]もしくは[情報]の設定項目選択する場合は、設定項目欄上を上下にスクロールしてください。

- [全般]…顕微鏡とアプリの基本設定
- [システム]…顕微鏡構成の表示と手動登録
- [接続]…装置の接続先設定
- [光学素子]…光学素子の設定
- [任意光学素子]…光学素子の新規登録
- [移動動作]…移動動作の設定
- [連動制御]…連動制御の設定
- [コントローラー]…電動装置の電動操作部の設定
- [インジケーター]…インジケーターの設定
- [アシストカメラ]…アシストカメラの設定
- [落射光源]…D-LEDIの設定
- [設定読込・保存]…設定の読込みと保存
- [情報]…バージョン情報の表示
- [送信]…顕微鏡システムへの設定情報の反映

▼ 設定項目
全般
システム
接続
光学素子
任意光学素子
移動動作
連動制御
コントローラー
<i>ተ</i> ጋジケ <i>ー</i> ター
アシストカメラ
落射光源
設定読込·保存
情報
送信

7.1.4 顕微鏡システム情報の送信

■ 顕微鏡システムに情報を送信

設定項目選択エリアの[送信]をタップすると、確認画面が表示 されます。

[OK]をタップすると、アプリ側で設定した情報を顕微鏡システムに送信します。

▼ セットアップ画面

Home	XYZ	Assist Guide
全般	表示言語	
システム	リモコ	ン 日本語
接続	アシストガイ	ド日本語
光学素子	Home NTS=F7内4	
以音出学表 了		77 ON
11.6.707-007	単改領	7 Ethemet (Ti2,FTi2,F/BTi2,A)
移動動作	- 8	が (12-2, 12-2) B, 12-34)
建動制制	アシストカメ	∋ 00.06.00.31.00.09
コントローラー	パスワー	
インジケーター	登録番	号 1
アシストカメラ		土泉
落射光源	LAN	100 100 11 0
		IP 192.100.11.2
251	起動時目動快	余 Enable ネットワーク上の原動語を検索

7.2 [全般] 顕微鏡とアプリの基本設定

ここでは、顕微鏡とアプリケーション全般の基本設定を行います。

1. 設定項目選択エリアの[全般]を選択します。

▼ 全般の設定



7.2.1 表示言語の設定

本アプリケーションの表示言語を設定します。

1. サブ項目の[表示言語]欄で、次の値を設定します。

リモコン:

設定画面の表示言語を選択します。

アシストガイド:

アシストガイドの表示言語を選択します。

▼ 表示言語の設定

Home	XYZ A	ssist Guide
全般	表示言語	
システム	リモコン	日本語
接続	アシストガイド	日本語
### 7	Home	
Ju ra T	NIS-Eスタイノ	ON
任意光学素子	明教校	
移動動作	タイフ	Ethernet (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)
3455-0101	名前	i
3E810703	アシストカメラ	00.06.00.31.00.09
コントローラー	パスワード	セット
インジケーター	登録番号	1
		登録
79217029	LAN	
落射充蓄	顕微鏡IP	192.168.11.2
39748	起動時自動検索	Enable
2318		ネットワーク上の顕微鏡を検索

7.2.2 Home 画面の表示設定(タブレットのみ)

Home 画面の表示方法を設定します。

1. サブ項目の[Home]欄で、次の値を設定します。

NIS-E スタイル:

ON にすると、Home 画面の表示方法を NIS-Elements のスタイルに切り替えます。

🕑 注意

スマートフォンをご使用の場合、本機能は表示されません。

▼ Home 画面の表示設定

Home	XYZ As	sist Guide
全般	表示言語	
システム	リモコン	日本語
按約	アシストガイド	日本語
光学素子	NIS-Eスタイル	ON
任意光学素子	順教統	
移動動作	タイプ	Ethernet (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)
建動制即	名前 アシストカメラ	00.06.00.31.00.09
コントローラー	パスワード	セット
インジケーター	登録番号	1
アシストカメラ	IAN	豐粱
落射光源	顕微鏡IP	192.168.11.2
	起動時自動検索	Enable
2518		ネットワーク上の顕微鏡を検索

▼ Home 画面(NIS-E スタイル)

Home	· >	KYZ Assist Guide	ţ.
Check	Mode		
Condenser		Nosepiece Filter	
		10x 20x 20x 40x 60x 100x Upper 🔲 🛄 🔲 🛄 🔲 OPET	N
Lamp			_1
PFS	DM	TubeBase Assist BA	
PFS	11		N
хүz Z: 1000.00	Escape	E100	15-485
X: 6396.2 Y: 2193.0		L100 R100 Shutters	
		AUX	
DIC		ertrant Zoom:	
Polarizer:	IN		
DIC Slider:	10x	LAPPs EPI LED	
Analyzer Slider:	OUT	Upper: EPI-FL Lower: EPI-FLL	

項目によっては、タップするとサブ画面が表示されます。

7.2.3 顕微鏡システムの登録

顕微鏡の登録、パスワードの登録、およびアシストカメラの登録方法について説明します。

1. サブ項目の[顕微鏡]欄で、次の値を設定します。

タイプ:

接続する顕微鏡を選択します。

名前:

顕微鏡システムの登録名(任意)を入力します。

アシストカメラ:

タップするとアシストカメラの MAC アドレス一覧が表示 されます。

接続する MAC アドレスをタップしてから[OK]をタップすると、アシストカメラの登録が完了します。

注意

アシスト鏡筒ベースを使用している場合は、顕微鏡本体背面の [LAN (CAM)]にも、LAN ケーブルを装着し、無線ルーターに接 続します。

♥ 新規に顕微鏡システムを設定する場合

新規に顕微鏡システムを設定する場合は、アシストカメラの登録を 必ず行ってください。 その際に無線ルーターを使用する場合は、接続する顕微鏡システム は1台のみにすることを推奨します。

パスワード:

顕微鏡への未登録デバイスからのアクセスと、[10]をタッ プした際にパスワードを要求するよう設定できます。 パスワードは、任意の文字を入力します。(設定しない場合 は、何も入力しないでください。)

なお、デバイス側で顕微鏡システムの登録済みであれば、 アクセス時にパスワードは要求されません。

登録番号:

デバイスに登録する顕微鏡番号を選択します。 最大で 20 台まで登録できます。

登録済みの番号欄には、顕微鏡システムの登録名(もしくは MAC アドレス)が表示されます。

登録ボタン:

タップすると、接続している顕微鏡を「信頼された顕微鏡」 として、登録番号で指定した番号に登録し、デバイスに記 憶します。

ここで登録した顕微鏡に接続した場合は、パスワードを入 力しなくても接続できます。

注意

新規に顕微鏡システムを設定する場合は、顕微鏡システムの登録を 必ず行ってください。

▼ 顕微鏡システムの登録



7.2.4 LAN の設定

1. サブ項目の[LAN]欄で、次の値を設定します。

顕微鏡 IP:

顕微鏡の IP アドレスを表示/入力します。

[起動時自動検索] もしくは [ネットワーク上の顕微鏡を 検索]を使用しない場合は、使用する顕微鏡の IP アドレス を直接入力してください。

顕微鏡の固定 IP アドレスを入力する場合は、「7.2.5 顕 微鏡の固定IPアドレスについて」を参照してください。

起動時自動検索:

起動時に、自動でネットワーク上の顕微鏡の IP アドレス を検索して接続するかどうかを設定します。 (Enable で自動接続します。)

複数の顕微鏡が接続されている環境では、ネットワークに 接続されている顕微鏡のリストが表示されますので、使用 する顕微鏡の IP アドレスを選択してください。

ネットワーク上の顕微鏡を検索:

複数の顕微鏡が接続されている環境では、ここをタップするとネットワークに接続されている顕微鏡を検索しますので、使用する顕微鏡の IP アドレスを選択してください。

サブネットマスク:

顕微鏡のサブネットマスクを表示/入力します。

ゲートウェイ:

顕微鏡のデフォルトゲートウェイを表示/入力します。

🕑 注意

ご使用になる無線ルーター(Wi-Fi)、スマートデバイスによっては、アプリから顕微鏡やアシストカメラへの接続ができなく なる場合があります。

その場合はいったんアプリを終了し、以下の対処を行なってください。

- デバイスの[設定]-[Wi-Fi]をタップして Wi-Fiを OFF にし、再度 ON にして無線ルーターに接続する
- 顕微鏡システムを再起動する

上記を行った後に再度アプリを起動し、顕微鏡やカメラに接続できるか確認してください。

▼ LAN の保存



7.2.5 顕微鏡の固定 IP アドレスについて

顕微鏡の固定 IP アドレスを調べる方法について説明します。

✔ 注意

顕微鏡の固定アドレスは、Windows版の「Ti 2 Control」でのみ調べることができます。 本項の作業は Windows PC で行ってください。

1. Windows PC と TI2 コントローラーTI2-CTRE を USB コ ▼ USB A コネクター ネクターで接続します。



- 2. サブ項目の[LAN]欄で、[DHCP]を OFF(無効)にします。
- 3. [顕微鏡固定 IP]欄に表示された顕微鏡固定 IP をメモします。

Windows PC での作業は以上です。

メモした IP アドレスを、スマートデバイスに入力してください。(「7.2.4 LANの設定」参照)

▼ 顕微鏡の固定 IP アドレス

Connect		
全般	表示言語	
		日本語
***		English
16 M	劉微鏡	
光学素子	タイプ	USB (Ti2-E,Ti2-E/B,Ti2-A)
任意光学素子	名前	
155567	アシストカメラ	00.00.00.00.00
(2 WHUTP	パスワード	セット
達動制御	登録番号	1
コントローラー		Ω 38
aste h.	LAN	
	DHCP	OFF
アシストカメラ	顕微鏡固定IP	127.0.0.1
落射光源	サプネットマスク	0.0.0.0
	ゲートウェイ	0.0.0
这话		

7.3 [システム] 顕微鏡構成の表示と手動登録

ここでは顕微鏡システムに装着されているアクセサリーの一覧が表示されます。

1. 設定項目選択エリアの[システム]を選択します。

▼ 顕微鏡構成の表示

顕微鏡システムに接続されているアクセサリーの一覧が表示されます。

 サブ項目の[装着アクセサリー]欄で、表示されている項目を 確認します。

全般	芸芸アウセサリー
\$27£	ヹステージ
10.0 4	XYZF-9
臣权	レボルバー
充学素子	コンデンサー
10 m h m H 7	フィルターターレット1
IL S.L. F.S.T	フィルターターレットシャッター1
移動動作	フィルターターレット2
運動制即	フィルターターレットシャッター2
	パリアフィルター1
コントローラー	パリアフィルター2
	光路
アシストカメラ	DIA照明
	C-LEDFI
落射光源	EPID 1995-

送信	構成

7.3.1 顕微鏡構成の手動登録

装着状態の情報を自動的に取得できないアクセサリーを登録する方法について説明します。

基本的な登録方法の手順は以下のとおりです。

▼ Ti2-Eで透過照明にプリセンターランプハウス D-LH/LC(ハロゲン)または高演色 LED ランプハウス C-LL を使用する場合

Ti2-E顕微鏡でプリセンターランプハウス D-LH/LCまたは高演色LED ランプハウス C-LLを透過照明として使用する場合は、 以下の手順で手動登録してください。

- 1) 透過照明装置のケーブルを顕微鏡本体背面のコネクターボックスから外します。
- 2) Ti2 Control の顕微鏡構成の手動登録で、[透過照明]に[D-LH/LC プリセンターランプハウス CH] または[C-LL LED ラ ンプハウス]を選択します。
- 3) 設定項目選択エリアの[送信]をタップして、登録情報を送信します。
- 4) アプリを終了します。
- 5) 顕微鏡システムの電源を OFF にします。
- 6) 透過照明装置のケーブルを顕微鏡本体背面のコネクターボックスへ接続します。
- 7) 顕微鏡システムを起動します。

続けて登録を行う場合は、アプリを起動してください。

1. 設定エリアの[構成]をタップします。

顕微鏡構成設定画面が表示されます。

▼ 顕微鏡構成の手動登録

全般	装着アウセリリー
システム	Zステージ
	XYステージ
控戦	レボルバー
光学素子	コンデンサー
任意光学素子	フィルターターレット1
12.0000 1 000 1	フィルターターレットシャッター1
移動動作	フィルターターレット2
逐動制御	フィルターターレットシャッター2
	パリアフィルター1
コントローラー	パリアフィルター2
インジケーター	光路
アシストカメラ	DIA照明
	C-LEDFI
落射光源	EPID/wyg-
送信	Ulsk

2. 装着状態の情報を登録するアクセサリー周辺のエリアをタッ プします。

各エリアの登録画面が表示されます。

🕑 補足

装着情報が未登録のアクセサリーがある場合には、パーツエリアの 左上に 🚺 マークが表示されます。

✓ ステージアップしている場合

顕微鏡の構成をステージアップキットで2段にしている場合は、 [ステージアップ]をタップすると、アプリの構成もステージアップ キット使用時の構成に切り替わります。

♥ BA ホイール SU を装着している場合

ステージアップキットを使用して FL ターレットと E-BA ホイー ル SU (TI2-P-FWBS-E) を上下 2 段構えで装着している場合は、 [ステージアップ]をタップし、下の段に E-BA ホイール SU を手 動登録する必要があります。

3. パーツエリアもしくは左のパーツリストをタップします。

そのパーツに登録できる製品リストダイアログが表示され ます。

🕑 補足

顕微鏡に装着された電動装置や状態検出アクセサリーは自動で検 出されるため、選択された状態で表示されます。

あらかじめ選択して登録済みであったとしても、顕微鏡に実際に 装着されているアクセサリーと異なる場合は、自動検出されたア クセサリーの情報で上書きされます。

ただし自動検出された場合でも、装置によっては類似の別製品が 選択されることがあります。この場合どちらが選択されていても 特に問題はありませんが、選択して登録し直すこともできます。

4. 登録する製品名を選択します。

🕑 補足

未装着の状態で登録する場合は、[Unmount]を選択します。



電動装置や状態検出アクセサリーを顕微鏡に装着している場合は、 製品リストダイアログには検出された製品のみ表示されます。

5. [OK]をタップします。

▼ 顕微鏡構成設定画面



▼ エリアごとの登録画面



▼ 製品リストダイアログ



左のパーツリストの各項目の2段目に、選択した製品のプロ ▼ エリアごとの登録画面 ダクトコードが表示されます。

6. 他のパーツエリアのアクセサリーを登録する場合は、[全体 図]をタップします。

顕微鏡構成設定画面に戻ります。

- 7. 登録するパーツごとに、手順 2.~5.を繰り返します。
- 8. 顕微鏡構成の手動登録を終了する場合は、[送信]をタップし

登録情報を送信しない場合は、編集した情報は記憶されませ ん。




落射照明を使用する場合

落射照明装置周辺のエリアをタップします。

落射照明装置の登録画面が表示されます。

ステージアップキットを使用している場合、落射照明装 置は上下二段構成で装着することができます。

上下二段構成の落射照明装置を設定する場合は、[ステ ージアップ]をタップします。





上下二段構成の場合、上段と下段の落射照明装置はパー ツの配置を実際には逆に装着しますが、アプリ上は上下 段とも同じ配置で表示されます。

アプリ上の落射照明装置を実際に装着されている配置 と同じ配置に変更する場合は、以下の手順で設定するこ とができます。

配置が逆になっている落射照明装置を選択します。

[方向切替]をタップして、パーツの配置を左右反転させると、アプリ上の表示が実際の落射照明装置と同じ配置になります。



▼ 落射照明装置の配置を反転

▼ 落射照明装置の登録

構成

金体図



▼ 反転した配置図



7.4 [接続] 装置の接続先設定

ここでは、装置の装着先(接続先)を設定する方法について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[接続]を選択します。

接続設定画面が表示されます。

▼ 装置の接続設定



7.4.1 電動シャッターの接続設定

電動シャッター(NI-SH-E)を装着している場合に、装着先を「落射照明(EPI)/透過照明(DIA)/外部(AUX)」から選択し、設定します。

1. サブ項目の[シャッター]欄で、次の値を設定します。

シャッター1:

電動シャッターの装着先を選択します。 電動シャッターを装着していない場合は「---」を選択し ます。

シャッター2:

2 台目の電動シャッターの装着先を選択します。電動シャッターの装着が1 台のみの場合は「---」を選択します。

🕑 補足

[シャッター1]と[シャッター2]に同じ値を設定することはできません。

▼ 電動シャッターの設定

全般	5499-	
システム	シャッター1	EPI
1745	シャッター2	DIA
192445	כאל	
光学奏子	カメラ 1	
任意光学素子	カメラ 2	<u> </u>
移動動作	74.1决~	
14.0 800	フィルター1	Upper
76 60 64 (SI	フィルター2	Lower
コントローラー	パリアフィルター	
	パリアフィルター1	Loft
	パリアフィルター2	
アシストカメラ	15).3() 400)	
落射光源	-))) ((((((((((((((((
	LAPP 1	Upper
送信	LAPP 2	Lower

カメラの接続設定 7.4.2

別付けのカメラが装着されているポートを「Left(顕微鏡本体の左サイドポート)/Right(顕微鏡本体の右サイドポー ト) / Front (鏡筒ベースのサイドポート) / Aux (バックポート: Ti2-E のみ有効、もしくはボトムポート: Ti2-E/B のみ有効)」から選択し、設定します。

カメラの装着場所を設定すると、Home 画面の顕微鏡図にカメラが表示されます。

1. サブ項目の[カメラ]欄で、次の値を設定します。

カメラ 1:

カメラの装着場所を選択します。 カメラを装着していない場合は「---」を選択します。

カメラ 2:

2 台目のカメラの装着場所を選択します。 カメラの装着が1台のみの場合は「---」を選択します。

全般	9 49 9-	1
システム	シャッター1	EPI
接続	シャッター2	DIA
	カメラ	
光学奏子	カメラ 1	—
任意光学素子	カメラ 2	<u> </u>
移動動作	74.1皮~	
10.00	フィルター1	Upper
28,6064/80	フィルター2	Lower
コントローラー	パリアフィルター	
インジケーター	バリアフィルター1	Loft
アシストカメラ	バリアフィルター2	<u> </u>
/ / / / / /	プランチ(LAPP)	
落射光源	LAPP 1	Upper
Ne	LAPP 2	Lower
2513		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

FL ターレットの接続設定 7.4.3

ステージアップしていて、FL ターレットを2 台装着している場合に、各 FL ターレットが上段 (Upper) / 下段 (Lower) のどちらに装着されているのかを設定します。

1. サブ項目の[フィルター]欄で、次の値を設定します。

フィルター1:

FL ターレットの装着場所を選択します。 FL ターレットが未装着もしくは1台のみの場合、本機能 は設定できません。

フィルター2:

2 台目の FL ターレットの装着場所を選択します。 FL ターレットの装着が1台のみの場合、本機能は設定で きません。

▼ FL ターレットの設定

▼ カメラの設定



BA フィルターホイールの接続設定 7.4.4

BA フィルターホイールが、どこに装着されているのか「左サイドポート(Left)/右サイドポート(Right)/ステージ アップキットの下段(Center)」から選択し、設定します。

1. サブ項目の[バリアフィルター]欄で、次の値を設定します。 ▼ BA フィルターホイールの設定

バリアフィルター1:

BA フィルターホイールの装着場所を選択します。 BA フィルターホイールを装着していない場合は [---」を 選択します。

バリアフィルター2:

2 台目の BA フィルターホイールの装着場所を選択しま す。

BA フィルターホイールの装着が1台のみの場合、本機能 は設定できません。

全統	S499-	
	シャッター1	EPI
带经	シャッター2	AID
	カメラ	
光学奏子	カメラ 1	—
任意光学素子	カメラ 2	
移動動作	74.岐~	
	フィルター1	Upper
迷動制御	フィルター2	Lower
コントローラー	- פֿֿערדכתוא	
	バリアフィルター1	Loft
アシストカメラ	パリアフィルター2	<u> </u>
	プランチ(LAPP)	
落射光源	LAPP 1	Upper
¥a	LAPP 2	Lower

7.4.5 ブランチ(LAPP)の接続設定

ステージアップしていて、メインブランチを2台装着している場合に、落射照明装置の各メインブランチが上段(Upper) /下段(Lower)のどちらに装着されているのかを設定します。

1. サブ項目の[ブランチ(LAPP)]欄で、次の値を設定します。 ▼ ブランチ(LAPP)の設定

LAPP1:

メインブランチの装着場所を選択します。 メインブランチが未装着もしくは1台のみの場合、本機 能は設定できません。

LAPP2:

2 台目のメインブランチの装着場所を選択します。 メインブランチの装着が1台のみの場合、本機能は設定 できません。

全殿	カメラ 2	
	74143-	
接続	フィルター1	Upper
光学奏子	77//9-2	Lower
任意光学素子	パリアフィルター1	Loft
移動動作	バリアフィルター2	—
迷動詞詞	プランチ(LAPP)	
	LAPP 1 LAPP 2	Upper Lower
	1/2421-3-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
アシストカメラ	インキュペーター	Mount
落射光源	C-LEDFI	
送信	チャンネル 波長	1 2 3 4 Onm

7.4.6 インキュベーターの装着設定

ステージトップインキュベーター(株式会社東海ヒット製)の装着状態を設定します。

1. サブ項目の[インキュベーター]欄で、次の値を設定します。 ▼ インキュベーターの装着設定

インキュベーター:

インキュベーターの装着状況を、装着(Mount)/未装 着(Unmount)から選択します。

全般	カメラ 2	
システム	74JA-	
接続	フィルター1	Upper
光学素子	フィルター2	Lower
任会主学来子	パリアフィルター	
11.670 1 10 1	パリアフィルター1	Loft
移動動作	パリアフィルター2	
注由初期	プランチ(LAPP)	
	LAPP 1	Upper
3240-5-	LAPP 2	Lower
インジケーター	1)+21-3-	
アシストカメラ	インキュペーター	Mount
落射光源	C-LEDFI	
	チャンネル	
送信	波長	0nm

7.4.7 蛍光 LED 光源(C-LEDFI)の設定

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)のチャンネルごとの LED の波長を設定します。

1. サブ項目の[C-LEDFI]欄で、次の値を設定します。

チャンネル:

LED のチャンネル番号を選択します。

波長:

[チャンネル]で選択した LED の波長を表示/入力します。

▼ C-LEDFI の設定

全般	カメラ 2	
システム	J4JØ=	
接続	フィルター1	Upper
光学素子	フィルター2	Lower
K++++++	159774769-	
11.87.17-4.1	パリアフィルター1	Loft
移動動作	パリアフィルター2	
迷動制御	プランチ(LAPP)	
T 40-5-	LAPP 1	Upper
	LAPP 2	Lower
インジケーター	1)421-9-	
アシストカメラ	インキュペーター	Mount
落射光源	C-LEDFI	
	チャンネル	1 2 3 4
送信	波長	Onm

7.5 [光学素子] 光学素子の設定

ここでは、対物レンズ、コンデンサーモジュール、蛍光フィルターキューブ、吸収フィルター(BA フィルター)、中間 変倍、外部位相差、光路名の設定方法について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[光学素子]を選択します。

光学素子の設定画面が表示されます。

全般	レボルバー			
システム	1: 対	豽レンズ	Plan Apo/10x/0.45/Dry/N1/MRD00100	
	DICA	ライダー		
接蚊	2: 対	物レンズ	Plan Apo/20x/0.75/Dry/Ph2/MRD30200	
光学素子	DICZ			
任意光学素子	3: 対	豽レンズ	S Plan Fluor/20x/0.45/Dry/NI/PFS/ELWD/MRH08230	
移動動作	DICA	ライダー	20×II	
301644480	4: 対	豽レンズ	S Plan Fluor/40x/0.6/Dry/MRH68400	
コントローラー	5: 対	物レンズ	Plan Fluor/60x/1.25/0il/N2/NR/Ph3/MRH02600	
	DICA	ライダー	60xll-R	
アシストカメラ	6: 対	豽レンズ	Plan/100x/0.85/Dry/N2/MRL65900	
落射光麗	DICA	ライダー	100×III	
	コンデンサー			
送信	1:	名称	NI	カリア

7.5.1 レボルバーの設定

レボルバーの各番地に、どの対物レンズが装着されているかを設定します。

1. サブ項目の[レボルバー]欄で、[対物レンズ]欄をタップしま ▼ レボルバーの設定

す。

対物レンズのリストが表示されます。

全般	レボルバー		
	1: 対物レンズ	Plan Apo/10x/0.45/Dry/N1/MRD00100	<i>0</i> 97
10.12	DICスライダー	10x	カリア
10.84	2: 対物レンズ	Plan Apo/20x/0.75/Dry/Ph2/MRD30200	597
光学素子			
任意光学素子	3: 対物レンズ	S Plan Fluor/20x/0.45/Dry/N1/PFS/ELWD/MRH08230	
移動動作	DICスライダー	20×II	
30 Khdulan	4: 対物レンズ	S Plan Fluor/40x/0.6/Dry/MRH68400	
コントローラー	5: 対物レンズ	Plan Fluor/60x/1.25/0il/N2/NR/Ph3/MRH02600	
	DICスライダー	60xII-R	
アシストカメラ	6: 対物レンズ	Plan/100x/0.85/Dry/N2/MRL65900	
冻射光源	DICスライダー	100×III	
	コンデンサー		
送信	1: 名称		

2. 対物レンズを選択します。

対物レンズの検鏡法、シリーズ、倍率のいずれかを選択する と、それらの条件に一致するすべての対物レンズがリスト表 示されます。

検鏡法:

検鏡方法で対物レンズのリストを絞ります。 (一覧に該当の検鏡方法がない場合や、検鏡方法が不明の 場合は「---」を選択します。)

シリーズ:

シリーズ名で対物レンズのリストを絞ります。 (シリーズ名が不明の場合は「---」を選択します。)

倍率:

倍率で対物レンズのリストを絞ります。 (倍率が不明の場合は「---」を選択します。)

PFS:

PFS をサポートしているもので対物レンズのリストを絞 ります。

プロダクトコード:

対物レンズのプロダクトコードを入力します。

▼ 対物レンズのリスト



第7章 セットアップ: Ti2-E編

3. [OK]をタップします。

対物レンズ情報が登録され、[対物レンズ]欄に対物レンズの 情報が表示されます。

▼ 対物レンズのリスト



4. DIC 観察対応の対物レンズの場合は、[DIC スライダー]欄を ▼ レボルバーの設定 タップして、リストから該当する対物レンズ側 DIC スライダ ーを選択して、[OK]をタップします。

対物レンズ側 DIC スライダーが登録され、[DIC スライダー] 欄に表示されます。

全般	レポルパー			
		対物レンズ	Plan Apo/10x/0.45/Dry/N1/MRD00100	
接続		DICスライダー		
		対物レンズ	Plan Apo/20x/0.75/Dry/Ph2/MRD30200	
光学素子				
任意光学素子		対物レンズ	S Plan Fluor/20x/0.45/Dry/N1/PFS/ELWD/MRH08230	
移動動作		DICスライダー	20×11	
30.654/80		対物レンズ	S Plan Fluor/40x/0.6/Dry/MRH68400	
72230414P				
コントローラー		対物レンズ	Plan Fluor/60x/1.25/0il/N2/NR/Ph3/MRH02600	
		DICスライダー	60xII-R	797
アシストカメラ		対物レンズ	Plan/100x/0.85/Dry/N2/MRL65900	707
落射光源		DICスライダー	100×III	
	コンデンサー			
送信		名称		

▼ DIC スライダーのリスト

DICスライダー	
o—	
○ 60×II	
● 60×II-R	
Cancel	ок

5. 登録するレボルバーのアドレス(番地)ごとに手順1.~4. を繰り返します。

コンデンサーモジュールの設定 7.5.2

コンデンサーターレットの各番地に、どのコンデンサーモジュールが装着されているかを設定します。

1. サブ項目の[コンデンサー]欄で、コンデンサーモジュール情 ▼ コンデンサーモジュールの設定 報を設定するコンデンサーターレットのアドレス(番地)ご とに、[名称]欄をタップします。

コンデンサーモジュールのリストが表示されます。

- 2. リストからコンデンサーモジュールを選択し、[OK]をタッ プします。
- 3. コンデンサーモジュール情報を設定するコンデンサーター レットのアドレス(番地)ごとに、手順1.~2.を繰り返しま す。

全般	コンデンサー			
2776		名称	NI	
		名称	N2	
接続		名称	Ph3	<i>0</i> 97
光学素子		名称	Ph1	<i>0</i> 97
在市米学表 之		名称	NAMC40x	<i>0</i> 97
11.00/07/00 1		名称	NAMC10x	<i>0</i> 97
移動動作		名称	ND	
連動制即	77JB3~1			
7/0-5-		名称	C-FL-C DAPI (DAPI_1)	
		波長		
インジケーター		名称	C-FL-C FITC (FITC 1)	
アシストカメラ		波長	EX465-495:DM505:EM512-558	
活射光源		名称	C-FL-C TRITC (TRITC_1)	
		波長	EX527-553:DM565:EM577-633	
送信	4 :	名称	OPEN	カリア



名称	
© NI	
○ N2	
O Ph4	
○ NAMC10×	
○ NAMC20×	
Cancel	ок

7.5.3 フィルターキューブの設定

FL ターレットの各番地に、どのフィルターキューブが装着されているかを設定します。

 サブ項目の[フィルター1]欄で、フィルターキューブ情報を 設定する FL ターレットのアドレス(番地)ごとに、[名称] 欄をタップします。

フィルターキューブのリストが表示されます。

リストからフィルターキューブを選択し、[OK]をタップします。

フィルターキューブ名を選択すると、波長欄は自動的に読み 込まれます。

3. フィルターキューブ情報を設定する FL ターレットのアドレ ▼ フィルターキューブのリスト ス(番地)ごとに、手順 1.~2.を繰り返します。

▼ フィルターキューブの設定



名称	
O C-FL-C DAPI (DAPL1)	
○ C-FL-C FПC (FПC_1)	
C-FL-C TxRed (TexasRed_1)	
C-FL-C GFP-B (GFP-B_1)	
C-FL-C UV-2A (UV-2A_1)	
○ C-FL-C V-2A (V-2A_1)	
C-FL-C BV-2A (BV-2A_1)	
O C-FL-C B-2A (B-2A_1)	
Cancel	ок

▼ 2 台目の FL ターレットがある場合

全般	71319-2			
2.771		名称	C-FL-C DAPI (DAPL1)	
<i>,,,,</i> ,		波長		
授続		名称	C-FL-C FITC (FITC_1)	
光学素子		波長	EX465-495;DM505;EM512-558	
任意光学素子		名称	C-FL-C TRITC (TRITC_1)	
移動動作		波長	EX527-553:DM565:EM577-633	
		名称	OPEN	カリア
連動制即		波長	Empty	
コントローラー		名称		007
インジケーター		波長	EX540/25.DM565	
アシストカメラ		名称	—	
28 ma str 205		波長	EX540-580:DM595:EM600-660	
201171.64	バリアフィルター1			
送信		名称	OPEN	

✓ 補足

ステージアップキット使用時、FL ターレットは最大 2 台まで接続可能です。 2 台接続されている場合は、サブ項目の[フィルター2]も同様に

2 日接続されている場合は、シン境日の[ショルシー2]の内核に設定してください。

7.5.4 BA フィルターの設定

BA フィルターホイールの各番地に、どの BA フィルター(吸収フィルター)が装着されているかを設定します。

サブ項目の[バリアフィルター1]欄で、BA フィルター情報を
 設定する BA フィルターホイールのアドレス (番地) ごとに、
 [名称]欄をタップします。

BA フィルターのリストが表示されます。

- 2. リストから BA フィルターを選択し、[OK]をタップします。
- 3. BA フィルター情報を設定する BA フィルターホイールのア ドレス(番地)ごとに、手順 1.~2.を繰り返します。

7	バリ	リア	フィ	ルタ	-1	の設定
---	----	----	----	----	----	-----

全般	7597777149-1			
		名称	OPEN	
システム		名称	EM400	
接続		名称	EM450	
光学素子		名称	EM460-510	
		名称	EM520-560	
任意光学素子		名称	EM600-660	
移動動作		名称		
連動制御	バリアフィルター2			
		名称		
コントローラー		名称		
インジケーター		名称		097
アシストカメラ		名称		カリア
		名称		クリア
落射光源		名称		<i>0</i> 972
77 CB		名称		
	-1500 MCAN			



名称	
● EM400	
O EM420	
C EM435	
<u> </u>	
С ЕМ470	1
O ЕМ510	
C EM520	
C EM590	
О Ем610	
C EM435-485	
Cancel	ок

▼ 2 台目の BA フィルターホイールがある場合

全般	バリアフィルター1			
		名称	OPEN	
システム		名称	EM400	
接続		名称	EM450	
光学素子		名称	EM460-510	
		名称	EM520-560	
任意光学素子		名称	EM600-660	
移動動作		名称		
速動制御	パリアフィルター2			
		名称		
コントローラー		名称		
		名称		<i>0</i> 977
アシストカメラ		名称		カリア
		名称		クリア
落射光源		名称		<i>0</i> 97
97-00		名称	EM700/75	



BA フィルターホイールは最大2台まで接続可能です。 2台接続されている場合は、サブ項目の[バリアフィルター2]も 同様に設定してください。

中間変倍の設定 7.5.5

中間変倍の設定をします。

1. サブ項目の「中間変倍]欄で、次の値を設定します。

レンジ:

装着されている中間変倍レンズ (第2対物レンズ)の種類 を選択します。

▼ 中間変倍の設定



7.5.6 外部位相リングの設定

外部位相差用電動鏡筒ベースを使用している場合に、位相リングのターレットの各番地に、どの位相リングが装着されて いるかを設定します。

1. サブ項目の[鏡筒ベースターレット]欄で、外部位相リングの ▼ 外部位相リングの設定 情報を設定するターレットのアドレス(番地)ごとに、[名 称]欄をタップします。

外部位相リングのリストが表示されます。

- 2. リストから位相リングを選択し、[OK]をタップします。
- 3. 位相リング情報を設定するターレットのアドレス(番地)ご とに、手順1.~2.を繰り返します。

全般		名砂		997
		名称		
システム		名称		
接続		名称		
光学素子		名称	EM700/75	
	中間変給			
任意光学素子				
移動動作	鏡筒ペースターレッ			_
速動制即		名称	OPEN	ינויל
Thereis		名称	60x Ph3	29.7
		名称	100x Ph4	ידעיל
インジケーター	光路			-
アシストカメラ		名称		
落射光源		名称	R100	
		名称		
送信		名称		

▼ 位相リングのリスト

名称
OPEN
○ 40× Ph3
● 60× Ph3
0 60x Ph4
○ 100x Ph3
○ 100x Ph4
Cancel OK

7.5.7 光路名の設定

光路のリモコンボタンやサブ画面に表示する光路名(出力ポート名)を設定します。

 サブ項目の[光路]欄で、光路名を設定するポートのアドレス ▼ 光路名の設定 (番地)ごとに、[名称]欄をタップして光路名を入力します。

(半角英数 10 文字以内)

- 1: 接眼観察ポート
- 2: 右サイドポート
- 5: 左サイドポートへ80%と接眼観察ポートへ20%(光路分割プリズム使用時) ボトムポート(Ti2-E/Bの場合)
- 4: 左サイドポート

全殿		名砂		<i>998</i>
		名称		
システム		名称		
接続		名称		
老学素子		名称		
	中間変給			
任意光学素子				
移動動作	鏡筒ペースターレッ	۴		
運動制即		名称	OPEN	
min a.		名称	60× Ph3	
-17-11-7-		名称	100x Ph4	
	光路			
アシストカメラ		名称	EYE	٦.
花射光源		名称	R100	
		名称		
送信		名称		

109

7.6 [任意光学素子] 光学素子の新規登録

ここでは、[光学素子]の設定でリストに表示されない光学素子(対物レンズ、コンデンサーモジュール、フィルターキューブ、BA フィルター)を新規に登録する方法について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[任意光学素子]を選択します。

任意光学素子設定画面が表示されます。

▼ 光学素子の新規登録

全般	任意対物レンズ	
システム	番号	
授統	名称	6 7 8 9 10
光学素子		
任意光学表子	倍率	<u> </u>
12,000 1 20 3	浸液タイプ	[]
移動動作	NA	0.10
連動制御	用途	
	長作動距離タイプ	
	PFS	
インジケーター	検鏡法	
アシストカメラ	補正環	
落射光源	Ex. Ph.	
3247	DIC	
	DIC Slider	

7.6.1 対物レンズの新規登録

新しい対物レンズを、最大10個まで登録することができます。

ここで登録した対物レンズは、[光学素子]の[対物レンズ]で選択することができます。

1. サブ項目の[任意対物レンズ]欄で、次の値を設定します。

番号:

新規に対物レンズ情報を登録する番号を選択します。(最大10個まで)

名称:

任意の名前を入力します。

シリーズ:

対物レンズの種類を選択します。

倍率:

対物レンズの倍率を選択します。

浸液タイプ:

対物レンズの浸液タイプを選択します。

NA:

対物レンズの開口数を入力します。

用途:

対物レンズの用途を選択します。

長作動距離タイプ:

対物レンズの長作動距離タイプを選択します。

PFS:

PFS に対応した対物レンズか否かを選択します。

検鏡法:

検鏡方法を選択します。

▼ 対物レンズの新規登録



補正環:

補正環付き対物レンズの場合は、手動/電動を選択しま す。

Ph:

位相差用対物レンズの場合は、Ph コードを選択します。

EX. Ph.:

外部位相差用対物レンズの場合は、対物レンズの倍率を選択します。

DIC:

微分干渉用対物レンズの場合は、対応するコンデンサーモ ジュールを選択します。

DIC Slider:

微分干渉用対物レンズの場合は、対応する対物レンズ側 DIC スライダーを選択します。

DIC HR/HC:

高解像度または高コントラスト対応のコンデンサーモジ ュールの種類を選択します。

DIC Slider HR/HC:

高解像度または高コントラスト対応の対物レンズ側 DIC スライダーを選択します。

DF:

暗視野観察用対物レンズの場合は、対応するコンデンサー モジュールを選択します。

NAMC:

NAMC 観察用対物レンズの場合は、対応するコンデンサーモジュールを選択します。

WID:

水供給システム対応の対物レンズか否かを選択します。

2. 別の対物レンズを追加登録する場合は、[番号]で別の番号を 選択し、手順 1.を繰り返します。

▼ 対物レンズの新規登録(続き)



7.6.2 コンデンサーモジュールの新規登録

新しいコンデンサーモジュールを最大 10 個まで登録することができます。

ここで登録したコンデンサーモジュールは、[光学素子]の[コンデンサー]で選択することができます。

1. サブ項目の[任意コンデンサー]欄で、次の値を設定します。 ▼ コンデンサーモジュールの新規登録

番号:

新規にコンデンサーモジュールを登録する番号を選択します。

名称:

任意の名前を入力します。

 別のコンデンサーモジュールを追加登録する場合は、[番号] で別の番号を選択し、手順1.を繰り返します。

全般	~ ~ ~	1D Disable
システム	任意コンデンサー	
接統	番	号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
光学素子	名	*
任意光学素子	任意フィルター	
移動動作	番	号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
連動制御	名	称
コントローラー		
インジケーター	L I	3A
アシストカメラ	任意パリアフィルター	
落射光霹	*	号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
送信	名	*

7.6.3 フィルターキューブの新規登録

新しいフィルターキューブを最大10個まで登録することができます。

ここで登録したフィルターキューブは、[光学素子]の[フィルター1](または[フィルター2])で選択することができます。

1. サブ項目の[任意フィルター]欄で、次の値を設定します。

番号:

新規にフィルターキューブを登録する番号を選択します。

名称:

任意の名前を入力します。

EX:

励起フィルターの名前を入力します。

DM:

ダイクロイックミラーの名前を入力します。

BA:

BA フィルターの名前を入力します。

励起フィルターやダイクロイックミラーなどの名前 を入力する場合

励起フィルターの名前の場合、先頭2文字を"EX"とし、その後 に波長情報を入力します。 "EX450"、"EX450-490"(ハイフンで区切り)、"EX450/40" (スラッシュで区切り)のように中心波長と幅を区切ることもで きます。 同様に、BAフィルターの名前の場合は、先頭2文字を"BA"とし、

ダイクロイックミラーの名前の場合は、先頭 2 文字を"DM"と入力します。

2. 別のフィルターキューブを追加登録する場合は、[番号]で別 の番号を選択し、手順 1.を繰り返します。 ▼ フィルターキューブの新規登録



7.6.4 BA フィルターの新規登録

新しい BA フィルター(吸収フィルター)を最大 10 個まで登録することができます。

ここで登録した BA フィルターは、[光学素子]の[バリアフィルター1](または[バリアフィルター2])で選択することができます。

1. サブ項目の[任意バリアフィルター]欄で、次の値を設定しま ▼ BA フィルターの新規登録

す。

番号:

新規に BA フィルターを登録する番号を選択します。

名称:

任意の名前を入力します。

2. 別の BA フィルターを追加登録する場合は、[番号]で別の番 号を選択し、手順 1.を繰り返します。

全般		WID	Disable
<u> ୬</u> ステム	任意コンデンサー		
接続		番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
光学素子		名称	
任意光学素子	任意フィルター		
移動動作		番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
逐動制即		名称	
コントローラー			
		DM	
1235-32-		BA	
アシストカメラ	任意パリアフィルター		
落射光源		番号	
送信		名称	

7.7 [移動動作] 移動動作の設定

各電動装置の移動動作に関する設定について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[移動動作]を選択します。

移動動作の設定画面が表示されます。

▼ 移動動作の設定



7.7.1 電動レボルバーの設定

電動レボルバーの動作について設定します。

1. サブ項目の[レボルバー]欄で、[トグル]を設定します。

[トグル]を使用すると、顕微鏡本体の対物レンズ切替えスイ ッチで対物レンズを操作する場合に、登録した2本のみを交 互に切り替えます。

 [トグル]を使用する場合は、トグル番号([トグル 1]か[トグ ル 2])を選択します。

通常通り、レボルバーを回転させる場合は、[OFF]を選択します。

- 3. 左側の番号欄で、1つ目の対物レンズが装着されたレボルバ ーの番地を選択します。
- 4. 右側の番号欄で、2つ目の対物レンズが装着されたレボルバ ーの番地を選択します。
- 5. 電動レボルバーの回転動作を設定します。

回転:

レボルバーの回転の可否を選択します。

回転タイプ:

- レボルバーの動作パターンを選択します。
- Normal: 通常の動作パターンです。
- Shuttle:
 アドレス番号1->6もしくは6->1への移動の際、遠回りして移動します。
- ACC Type: 電動補正環タイプの電動レボルバーを使用 している際は、自動的に選択されます。

▼ トグルの設定

全般	レポルパー	
システム	トグル	
接続		►0001 1 ⇒ 2 ►0002 1 ⇔ 3
充学素子	回転	Enable
任意光学素子	回転タイプ	Normal
移動動作	Z退避	1 2 3 4 5 σ ΟΝ
逐動制即		
コントローラー	ディッシュタイプ	Glass
インジケーター		
asakhu5	退避量	+500um
7721-023	初期化位置	+500um
落射光源	制御方式	Closed-loop
送信	木設定番地スキップ	
	Latit R-	0.FF

▼ 電動レボルバーの回転動作設定



Z 退避:

レボルバーが回転する際、対物レンズを退避させるかどう かを、レボルバーのアドレス(番地)ごとに設定できます。

設定したい対物レンズが装着されているレボルバーのア ドレス(番地)を選択します。

選択された番地を通過する前に、対物レンズが退避するか どうかを選択します。 (ON で退避します。)

7.7.2 PFS の設定

PFS を使って観察するディッシュのタイプを設定できます。

1. サブ項目の[PFS]欄で、次の値を設定します。

ディッシュタイプ:

ディッシュのタイプを、「ガラス(Glass)/プラスチック(Plastic)」から選択します。

全般	レボルバー	
システム	トグル	O OFF
接続		► 𝔅𝑘𝑘 1 ⇔ 2 ○ ► 𝔅𝑘𝑘𝔅 1 ⇔ 3
光学素子	回転	Enable
任意光学素子	回転タイプ	Normal
移動動作	Z退避	1 2 3 4 5 6 ON
連動制即		
コントローラー	ディッシュタイプ	Glass
インジケーター		
アシストカメラ	退避重	+500um
	初期化位置	+500um
浩射光源	制御方式	Closed-loop
送信	木設定番地スキップ	
	12460675-	0FF

▼ PFS の設定

全般	L-#J#1-	
システム	トグル	O OFF
授統		► 5% 1 1 ⇔ 2 ○ ► 5% 2 1 ⇔ 3
光学素子	⊡‡⊼	Enable
任意光学素子	回転タイプ	Normal
移動動作	Z退避	1 2 3 4 5 6 ON
連続制御		
コントローラー	ディッシュタイプ	Glass
インジケーター		
アシストカメラ	退避量	+500um
	初期化位置	+500um
落射光源	制御方式	Closed-loop
送信	未設定番地スキップ	
	17470-75-	0.FF

7.7.3 焦準装置(Z ステージ)の設定

焦準装置(Zステージ)の動作を設定できます。

1. サブ項目の[Zステージ]欄で、次の値を設定します。

退避量:

試料を交換するときに、対物レンズを退避させる距離を設 定します。

初期化位置:

顕微鏡システムを初期化したときに、対物レンズがどの位置で停止するのかを設定します。

制御方式:

焦準装置の制御方法を、オープンループ/クローズドループから選択します。 (TI2-E コントローラーの電源を再投入すると、切替え設

(112-ヒコントローラーの電源を再投入すると、切省ス設定が有効になります。)

▼ 焦準装置の設定



未設定番地スキップ機能の設定 7.7.4

電動装置が回転する際、光学素子情報が未登録の番地があった場合に、その番地をスキップして回転するかどうかを設定 します。

1. サブ項目の[未設定番地スキップ]欄で、次の値を設定しま ▼ 未設定番地スキップ機能の設定

す。

レボルバー:

対物レンズ情報が未登録の番地がある場合の、レボルバー の動作を選択します。 (ON にすると未設定番地をスキップします。)

フィルター1:

フィルターキューブ情報が未登録の番地がある場合の、 FL ターレット1の動作を選択します。 (ON にすると未設定番地をスキップします)

フィルター2:

(2 台目の FL ターレットがある場合のみ)

フィルターキューブ情報が未登録の番地がある場合の、 FL ターレット2の動作を選択します。 (ON にすると未設定番地をスキップします。)

コンデンサー:

コンデンサーモジュール情報が未登録の番地がある場合 の、コンデンサーターレットの動作を選択します。 (ON にすると未設定番地をスキップします。)

FL ターレットの駆動速度設定 7.7.5

FL ターレットの駆動速度を設定できます。

1. サブ項目の[FL ターレット駆動速度]欄で、次の値を設定しま ▼ FL ターレットの駆動速度設定 す。

フィルター1:

FL ターレット1の駆動速度を、「普通(Normal)/遅い (Slow)」から選択します。

フィルター2:

(2 台目の FL ターレットがある場合のみ)

FL ターレット2の駆動速度を、「普通(Normal)/ 遅い (Slow)」から選択します。

全般	ディッシュタイプ	Glass
システム		
技統	退避量	+500um
光学素子	初期化位置	+500um
	制御方式	Closed-loop
任意光学素子	木設定番地スキップ	
88660fF	レボルバー	0FF
連動制御	フィルター1	0FF
	フィルター2	0FF
コントローラー	コンデンサー	0FF
インジケーター	FLターレット駆動速度	
アシストカメラ	フィルター1	Normal
花田林園	フィルター2	Normal
70-31)L#4	フィルターシャッター	
送信	初期化位置	Close

全般	7 100 m b / 1	Glass
927L		
接続	退避量	+500um
光学素子	初期化位置	+500um
	制御方式	Closed-loop
任意光学素子	未設定番地スキップ	1
移動動作	レポルバー	OFF
連動制御	フィルター1	OFF
	フィルター2	OFF
コントローラー	コンデンサー	OFF
インジケーター	FLターレット駆動速度	
アシストカメラ	フィルター1	Normal
在射光源	フィルター2	Normal
10017000	フィルターシャッター	
送信	初期化位置	Close

7.7.6 フィルターシャッターの設定

顕微鏡システムを起動したときの、FL ターレットシャッターの状態を設定できます。

1. サブ項目の[フィルターシャッター]欄で、次の値を設定しま ▼ フィルターシャッターの設定 す。

初期化位置:

顕微鏡システムを起動したときのFLターレットのシャッターの状態を、「閉(Close)/開(Open)」から選択します。

全般	ディッシュタイプ	Glass
接統	退避量	+500um
音学表子	初期化位置	+500um
	制御方式	Closed-loop
任意光学素子	木設定番地スキップ	
នេសសាក	レポルパー	OFF
連動制御	フィルター1	0FF
	フィルター2	0FF
コントローラー	コンデンサー	OFF
	FLターレット駆動速度	
アシストカメラ	フィルター1	Normal
75.01.04.00	フィルター2	Normal
70-317 Late	フィルターシャッター	
送信	初期化位置	Close

7.7.7 光路の設定

顕微鏡システムを起動したときの、光路の位置を設定できます。

1. サブ項目の[光路]欄で、次の値を設定します。

初期化位置:

顕微鏡システムを起動したときの光路の位置を、以下から 選択します。

- 1:EYE: 接眼観察ポート
- 2:R100: 右サイドポート
- 3:L80: AUX (Ti2-E の場合)
- 3:B100: ボトムポート (Ti2-E/B の場合)
- 4:L100: 左サイドポート

🕑 補足

光路の出力先名は「7.5.7 光路名の設定」で設定した値が表示 されます。

▼ 光路の設定

全般	未設定番地スキップ	
	レポルバー	
授統	フィルター1	
	フィルター2	
光学素子	コンデンサー	
任意光学素子	FLターレット駆動速度	
移動動作	フィルター1	Normal
	フィルター2	Normal
逐動動物	Track Same	
コントローラー	54365-54955-	
	初期化位置	Close
	光譜	
アシストカメラ	初期化位置	1:EYE
落射光源	初期化位置(LAPP)	
	LAPP1	3 : E-TIRF2
送信	LAPP2	1 : DMD

初期化位置(LAPP)の設定 7.7.8

顕微鏡システムを起動したときの、ブランチ(LAPP)の光路の初期化位置を設定できます。

1. サブ項目の[初期化位置(LAPP)]欄で、[LAPP1]欄をタップ ▼ 初期化位置(LAPP)の設定 します。

落射照明装置のメインブランチ1の光路切替えサブ画面が 表示されます。

2. 起動時の光路を切り替える場合は、出力先名をタップしま す。

黄色い矢印は現在の光路を示しています。 起動時の光路は、出力先名のボタンが黄色で囲われていま す。

[OK]をタップすると、光路切替えサブ画面を閉じます。 3.



- LAPP1 設定した起動 時の光路 3 : E-TIRF2 ■ 現在の光路
- 4. ステージアップで、落射照明装置の構成が上下2段組みにな っている場合は、[LAPP2]欄で手順 1.~3.を繰り返します。

▼ 初期化位置(LAPP)の設定

▼ 光路切替えサブ画面

全般 未設定番地スキップ レポルパー OFF フィルター1 OFF 光学素子 コンデンサー OFF 原称注度 フィルター1 Normal 移動動作 連動制御 初期化位置 Close 初期化位置 1:EYE (比位置(LAPP) 落射光源 LAPP1 3 : E-TIRF2 LAPP2 1 : DMD

7.8 [連動制御] 連動機能の設定

ここでは、対物レンズを切り替えた際に、別の電動装置を連動させるかどうか設定する方法について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[連動制御]を選択します。

連動制御の設定画面が表示されます。

▼ 連動制御の設定



7.8.1 対物レンズ切替え時の連動設定

対物レンズ切り替え後、顕微鏡本体のシャトルスイッチを押し込んだときに、各装置を連動制御するかどうかを設定します。

1. サブ項目の[レボルバー]欄で、次の値を設定します。

自動実行:

対物レンズ切替え直後に自動で連動制御するかどうかを 設定します。

本設定は、顕微鏡本体またはジョイスティックから対物レ ンズを切り替えたときに有効です。

🕑 補足

顕微鏡本体のファームウェアのバージョンが Ver.2.10 より前の 場合は OFF 固定になります。

アドレス:

連動制御する対物レンズが装着されたレボルバーのアド レス(番地)を選択します。

コンデンサー:

対物レンズ切替え時に、連動させるコンデンサーモジュー ルを選択します。

フィルター1:

対物レンズ切替え時に、連動させる FL ターレット1のフィルターキューブを選択します。

フィルター2:

(2 台目の FL ターレットがある場合のみ)

対物レンズ切替え時に、連動させる FL ターレット 2 のフィルターキューブを選択します。

FL シャッター1:

対物レンズ切替え時に、連動させる FL ターレット1のシャッターの状態を選択します。

▼ 対物レンズ切替え時の連動設定



FL シャッター2:

(2 台目の FL ターレットがある場合のみ)

対物レンズ切替え時に、連動させる FL ターレット 2 のシ ヤッターの状態を選択します。

バリアフィルター1:

対物レンズ切替え時に、連動させる BA フィルターホイー ル1のBAフィルターを選択します。

バリアフィルター2:

(2 台目の BA フィルターホイールがある場合のみ)

対物レンズ切替え時に、連動させる BA フィルターホイー ル2のBAフィルターを選択します。

2. 連動制御する対物レンズが他にもある場合は、手順1.の設定 対象のアドレスを選択して設定を繰り返します。

7.8.2 シャッターの連動設定

FL ターレットが回転するときに FL ターレット内のシャッターの開閉を連動させるかどうかを設定します。

1. サブ項目の[フィルターシャッター]欄で、次の値を設定しま ▼ シャッターの設定 す。

シャッター連動:

対物レンズ切替え時にシャッターを連動させる場合は、 [ON]を選択します。

全般	レボルバー	
システム	自動実行	
	アドレス	
推設	コンデンサー	
光学素子	フィルター1	
任意光学素子	フィルター2	
	FLシャッター1	
移動動作	FLシャッター2	
達動制御	パリアフィルター1	
7250-3-	バリアフィルター2	
	フィルターシャッター	
インジケーター	シャッター連動	OFF
アシストカメラ	DIAE9	
落射光源	アドレス	1 2 3 4 5 6
	光量	0 現在値
送信	同焦点袖正	

透過照明(DIA)の光量設定 7.8.3

対物レンズ切替え時に、連動して透過 LED 照明の明るさを変更します。

1. サブ項目の[DIA 照明]欄で、次の値を設定します。 ▼ 透過照明の光量設定

アドレス:

連動制御する対物レンズが装着されたレボルバーのアド レス(番地)を選択します。

光量:

光量を入力します。 (入力範囲:0~100)

現在値ボタン:

現在の装置側の値を読み込みます。

全般	レボルバー	
システム	自動実行	
	アドレス	
10.4K	コンデンサー	
光学素子	フィルター1	
任意光学素子	フィルター2	
	FLシャッター1	
移動動作	FLシャッター2	
連動制御	パリアフィルター1	
Thurse	パリアフィルター2	
	フィルターシャッター	
インジケーター	シャッター連動	
アシストカメラ	DIA照明	
落射光源	アドレス	
	光量	0 現在舖
送信	同焦点轴正	

▼ 対物レンズ切替え時の連動設定

全般	L/RJW1−		
システム	自動実行	0FF	
	アドレス		
推成	コンデンサー	OFF	
充学素子	フィルター1		
任意光学素子	フィルター2		
	FLシャッター1	OFF	
移動動作	FLシャッター2	OFF	
達動制御	パリアフィルター1	0FF	
7250-3-	バリアフィルター2		
4914 9	フィルターシャッター		
インジケーター	シャッター連動		
アシストカメラ	DIAE9		
落射光源	アドレス	1 2 3 4 5 6	
	光量		現在値
送信	同族点補正		

现在保

同焦点補正の設定 7.8.4

対物レンズを切り替える際に焦点位置のずれが発生する場合は、本設定で補正します。

1. サブ項目の「同焦点補正]欄で、次の値を設定/確認します。

アドレス:

現在光路に入っている対物レンズが装着されているレボ ルバーのアドレス(番地)を表示します。

状態:

対物レンズの補正が設定されているかどうかを表示しま す。

- 2. 顕微鏡本体側で最高倍率の対物レンズに切り替えます。
- 3. 顕微鏡本体側でピントを合わせます。
- 4. [セット]をタップします。
- 5. 手順 1.~4. を繰り返して、すべてのアドレスの対物レンズ の焦点位置を設定します。
- 6. [同焦点補正]をタップして、同焦点補正の有効(ON) / 無 ▼ 同焦点補正の設定 効(OFF)を選択します。

全般	2012 200	
	DIA照明 アドレス	
接統	光量	25 现在的
光学素子	同焦点袖正	
任意光学素子	同焦点補正	OFF
移動動作	アドレス 状態	1 2 3 4 5 6 Correction not set
連動制御		世ット
コントローラー		ሃይታኑ
	同軸補正同軸補正	OFF
アシストカメラ	アドレス	
落射光源	状態	Corrected X.0.0um, Y.0.0um
送信		tyr Yeyr

▼ 同焦点補正の設定

DIAME

EXHIBIT OF

アドレス 💶 💈

7۴レス 💶 2 3 4 5

セッ

**

同焦点補正

状痕

同轴補正 OFF

状態 Com

全般

任意光学素子

នសា

建动制制

落射光源

7.8.5 同軸補正の設定

対物レンズを切り替える際に中心位置のずれが発生する場合は、本設定で補正します。

1. サブ項目の[同軸補正]欄で、次の値を設定/確認します。

アドレス:

現在光路に入っている対物レンズが装着されているレボ ルバーのアドレス(番地)を表示します。

状態:

対物レンズの補正が設定されているかどうかを表示しま す。

- 2. 顕微鏡本体側で最高倍率の対物レンズに切り替えます。
- わかりやすいマークになるものが視野の中心に来るよう、XY ステージを移動します。

他のアドレスの対物レンズを補正する際の目印にします。

- 4. [セット]をタップします。
- 5. 手順 1.~4. を繰り返して、すべてのアドレスの対物レンズ の中心位置を設定します。
- サブ項目の[同軸補正]をタップして、同軸補正の有効(ON) /無効(OFF)を選択します。

▼ 同軸補正の設定



▼ 同軸補正の設定



[コントローラー] ファンクションの機能割当て 7.9

ここでは、Ti2-E 顕微鏡本体のファンクションボタンやハンドル、ジョイスティックのファンクションボタン、タブレッ トのリモコンエリアのファンクションボタンなどに、任意の機能を割り当てる方法について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[コントローラー]を選択します。

ファンクション設定画面が表示されます。

▼ 機能割	当ての設)	定
全般	ファンクションボタン	🎒 類形彼に保存
システム	FnL	I/010UT TRIG
	FnR	DISP LED
接続	Fn1	MODE1 MEM-RECALL
光学素子	Fn2	MODE2 MEM-RECALL
任意发生要子	Fn3	COND SHIFT
12.0056.7 40 2	Fn4	COND SHUTTER MOVE
移動動作	Fn5	FL1st SHIFT
連動制御	Fn6	FL1SH OPEN-CLOSE
.⊐2/h0=-5-	カスタムファンりションボタン	タルットE保存
Crith-h-	ページ	
アシストカメラ		
落射光源		
送信		

7.9.1 顕微鏡本体とジョイスティックのファンクションボタンの設定

Ti2-E 顕微鏡本体の左/右側面操作パネルのファンクションボタン(FnL、FnR)、もしくはジョイスティックのファンク ションボタン(Fn1~Fn6)に任意の機能を割り当てます。







左側面操作パネル

右側面操作パネル

ジョイスティック

1. 現在割り当てられている機能を変更する場合は、サブ項目の[フ ▼ ファンクションボタンの設定 アンクションボタン]欄で、該当のファンクションボタンの機 能欄をタップします。

割当て機能一覧のサブ画面が表示されます。

全般	ファンクションボタン		
システム	FnL	1/010UT TRIG.	
	FnR	DISP LED	
接続	Fn1	MODE1 MEM-RECALL	
光学素子	Fn2	MODE2 MEM-RECALL	
C.5%***Z	Fn3	COND SHIFT	
11.35767-361	Fn4	COND SHUTTER MOVE	
移動動作	Fn5	FL1st SHIFT	
連動制御	Fn6	FL1SH OPEN-CLOSE	
コントローラー	カスタムファンりションボタン		
		2 3	
インジケーター			
アシストカメラ			
75.01.04.06			
2817.64	04		
送信			
,			

2. 画面左側の[カテゴリー]と[サブカテゴリー]で表示する項 目を絞り、割り当てたい機能を右側の一覧から選択します。

割当て可能な機能については「11.1 ファンクションボタン の割当て機能一覧」を参照してください。

3. [OK]をタップします。

▼ 割当て機能一覧のサブ画面

FnL		
カテゴリー Linke Dath カリア	◯ Light Path EYE <-> RIGHT	
	◯ Light Path EYE <-> LEFT	
サブカテゴリー	◯ Light Path EYE <-> AUX	
10ggee 997	\bigcirc Light Path RIGHT $\langle \rightarrow$ LEFT	
	\bigcirc Light Path RIGHT \leftrightarrow AUX	
	\bigcirc Light Path LEFT $\langle \rightarrow AUX$	
	Cancel	ок

4. 登録するファンクションボタンごとに、 手順 1.~3.を繰り返 ▼ ファンクションボタンの設定 します。 全般

✓ 補足

顕微鏡本体とジョイスティックのファンクションボタンの設定 情報は、顕微鏡本体側に保存されます。



設定したファンクションボタンは、Home 画面のリモコンボ ▼ Home 画面のリモコンボタンエリア タンエリアにも表示されます。

表示されない場合は、リモコンボタンの配置設定で表示を変 更してください。

詳しくは「9.2.1 リモコンボタンの配置変更」を参照して ください。

Home		XYZ	Assist Guide				¢
Check	Mode	Display					
	NSI Ti2-I	E 001	Ti2-E Stand	ard set			
≓ D			DIC 🔍	⊢ ≜©		01	06
		•	OUT	1.0x		PFS ON OFF	BA#1 PI
			dic 🕑 IN	FnL 101 OUT	FnR INDICATOR ON OFF	02 PFS-OFST ORG	07 MBRANCHUI IN OUT
		3 	в 🙆 олт	Fn1 MODEI LOAD:SAVE	Fn4 COND-SHTR OP*CL	03 PFS-OFST SPD	08 SERANCH IN OUT
			LAPP1	Fn2 MODE2 LOAD:SAVE	Fn5 FLift Jett/Prs	04 NSPC INC	09 PATH EYE AUK
<u>ii</u>	-6	0-1	ыс — 100жШ	Fn3 COND Jetl/Prs	Fn6 FLH-SHTR OPTCL	05 SHTRM OPTCL	10 COR-COL Zotl/Prs

カスタムファンクションボタンの設定 7.9.2

Ti2 ControlのHome 画面右側のリモコンボタンエリアに表示するカスタムファンクションボタンを設定します。 カスタムファンクションボタンは最大 30 個まで設定可能です。

1. サブ項目の[カスタムファンクションボタン]欄で、01~10 のカスタムファンクションボタンの機能欄をタップします。

割当て機能一覧のサブ画面が表示されます。

▼ カスタムファンクションボタンの設定

全般	カスタムファンクションボタン		タブレットに保存
システム		1 2 3	
接続	01		
光学素子			
任意光学素子			
移動動作	05		
10 61 21 20			
7560-5-			'
-12111 2			
インジケーター			
アシストカメラ	シャトルスイッチ		
落射光源	上段	FL2	
	下投	FLI	
送信	Zハンドル		



画面左側の[カテゴリー]と[サブカテゴリー]で一覧に表示す る項目を絞ります。

割当て可能な機能については「11.1 ファンクションボタン の割当て機能一覧」を参照してください。

- 3. [OK]をタップします。
- 4. 登録するカスタムファンクションボタンごとに、手順 1.~3. ▼ カスタムファンクションボタンの設定 を繰り返します。
- 5. 11~30のカスタムファンクションボタンを登録する場合は、 [ページ]ボタンをタップしてページを切り替えて設定しま す。



全般	カスタムファンクションボタン	
システム		
	01	PFS 0N OFF
接統		PFS-0FST 0RG
光学素子		PFS-OFST SPD
		NSPC INC
任意光学素子		SHTR#1 0P*CL
88畝酚作		BA#1 P1
連動制御		MBRANCH#1 IN*OUT
		SBRANCH IN*OUT
コントローラー		PATH EYE*AUX
インジケーター		COR-COL Zctl/Prs
アシストカメラ	シャトルスイッチ	
	上段	FL2
落射光源	下段	E 2
	1.42	
送信	DIA服明	

▼ Home 画面のリモコンボタンエリア



設定したカスタムファンクションボタンが、Home 画面のリ モコンボタンエリアに表示されない場合は、リモコンボタン の配置設定で表示を変更してください。

詳しくは「9.2.1 リモコンボタンの配置変更」を参照して ください。

✔ 補足

カスタムファンクションの設定情報は、タブレット側に保存され ます。

シャトルスイッチの設定 7.9.3

Ti2-E 顕微鏡本体のシャトルスイッチ1と2それぞれに、他の操 ▼ 右側面操作パネル 作機能を割り当てることができます。

(初期設定はフィルターキューブ切替えスイッチです)



1. サブ項目の[シャトルスイッチ]欄で、次の値を設定します。 ▼ シャトルスイッチの設定

上段:

顕微鏡本体のシャトルスイッチ2に、他の操作機能を割 り当てます。

下段:

顕微鏡本体のシャトルスイッチ1に、他の操作機能を割 り当てます。

全殿	カスタムファンクションボタン	し タブレット ご保存
\$776		1 2 3
		PFS ON*OFF
接続		PFS-OFST ORG
光学素子		PFS-OFST SPD
×****		NSPC INC
比思元子恭于		SHTR#1 OP*CL
移動動作		BA#1 P1
速動制御		MBRANCH#1 IN*OUT
		SBRANCH IN*OUT
コントローラー		PATH EYE*AUX
インジケーター		
アシストカメラ	シャトルスィ ッ チ	
花融光道	上段	FL2
78417694	下段	
送信	口环照明	

シャトルスイッチの割当て機能一覧

顕微鏡本体のシャトルスイッチに割当て可能な機能は以下のとおりです。

機能の表示名	機能概要
FL1	1 台目の電動 FL ターレットの回転、シャッター開閉
FL2	2 台目の電動 FL ターレットの回転、シャッター開閉
BA1	1 台目の BA1 ホイールの回転
BA2	2 台目の BA2 ホイールの回転
Ex.Ph.	外部位相差用電動鏡筒ベースのターレットの回転
IntensiLight	インテンシライトの ND フィルターの切替え、シャッター開閉
	※ Ver.1.2.0 以降のファームウェアの場合に対応
	1 台目の電動 FL ターレットの回転、シャッター開のみ
FL1 <shutter only="" opens=""></shutter>	※ 一度シャッターを開くと、このスイッチではシャッターは閉じません。
FL2 < Chutter only onenes	2 台目の電動 FL ターレットの回転、シャッター開のみ
ruz <shutter only="" opens=""></shutter>	※ 一度シャッターを開くと、このスイッチではシャッターは閉じません。

DIA 照明の設定 7.9.4

透過照明の調光ノブの制御について設定します。

1. サブ項目の[DIA 照明]欄で、次の値を設定します。

DIA 照明:

透過照明の調光ノブ操作の有効/無効を選択します。

▼ DIA 照明の設定

全般	DIA照明	
システム	DIA照明	Enable
横續	Zハンドル	
		Both Enable
光学素子	Z回転方向	Both Invert
任意光学素子	Zスピード	2-State Press
移動動作	メイジョイスティック	
		Enable
連動制即	X移動方向	Joystick Normal
コントローラー		Enable
	Y移動方向	Joystick Normal
1235-3-	XYスピード	2-State Press
アシストカメラ	XY徵動速度	Normal
落射光源	ポタン・スイ ッ チ	
	前面パネル	Enable
送信	左側面パネル	Enable

7.9.5 Z ハンドルの設定

顕微鏡本体およびジョイスティックのZハンドルの制御について設定します。

1. サブ項目の[Zハンドル]欄で、次の値を設定します。

Z:

顕微鏡本体およびジョイスティックのフォーカスハンド ルによる、焦準装置(Zステージ)制御の有効/無効を選 択します。

Both Disable :	両方無効
Ti2 Enable :	顕微鏡本体のみ有効
Joystick Enable :	ジョイスティックのみ有効
Both Enable :	両方有効

Z 回転方向:

顕微鏡本体およびジョイスティックのフォーカスハンド ルの回転方向と、焦準装置(Zステージ)の移動方向を選 択します。

Both Invert: 両方反転

Ti2 Normal/Joystick Invert: 顕微鏡本体は正転、ジョイスティックは 反転

Ti2 Invert/Joystick Normal : 顕微鏡本体は反転、ジョイスティックは 正転

Both Normal: 両方正転

Z スピード:

顕微鏡本体およびジョイスティックの Z 粗動ボタン使用 時の所作を選択します。

- 2-State Press: Z 粗動ボタンを押している間だけ粗 動
- 2-State Toggle: Z 粗動ボタンを一度押すと粗動/微 動を切替え
- 3-State: Z 粗動ボタンを押すたびに、粗動/微 動/極微動を切替え

🕑 補足

2-State Press/2-State Toggle の場合、フォーカスハンドルに よる焦準装置(Z ステージ)の移動速度は、対物レンズの NA に 応じた速度になります。

▼ Z ハンドルの設定



7.9.6 XY ジョイスティックの設定

ジョイスティックのステージ駆動レバーによる XY 制御について設定します。

ご使用の顕微鏡本体のファームウェアバージョンによって、表示される項目が異なります。

ファームウェアのバージョンが Ver.1.2.0 以降の場合

1. サブ項目の[XY ジョイスティック]欄で、次の値を設定しま

す。

X:

ジョイスティックのステージ駆動レバーによる、ステージのX軸方向制御の有効/無効を選択します。

X 移動方向:

ジョイスティックのステージ駆動レバーによる、ステージのX軸方向の移動方向を選択します。

Joystick Normal: ジョイスティックを倒した方向に 移動

Joystick Invert: ジョイスティックを倒した方向と 逆方向に移動

Y:

ジョイスティックのステージ駆動レバーによる、ステージ のY軸方向制御の有効/無効を選択します。

Y 移動方向:

ジョイスティックのステージ駆動レバーによる、ステージのY軸方向の移動方向を選択します。

Joystick Normal: ジョイスティックを倒した方向に 移動

Joystick Invert: ジョイスティックを倒した方向と 逆方向に移動

XY スピード:

ジョイスティックの XY 粗動ボタン使用時の所作を選択 します。

- 2-State Press: XY 粗動ボタンを押している間だけ粗 動
- 2-State Toggle: XY 粗動ボタンを一度押すと粗動/微 動を切替え
- 3-State:
 XY 粗動ボタンを押すたびに、粗動/微動/

XY 微動速度:

Normal を選択すると通常の微動、Low を選択すると、 Normal よりさらに微動で XY ステージが移動します。

▼ XY ジョイスティックの設定(FW Ver.1.2.0 以 降の場合)

全般	メイジョイスティック	
\$776		Enable
	X移動方向	Joystick Normal
接続		Enable
光学素子	Y移動方向	Joystick Normal
0.0×***Z	XYスピード	2-State Press
11.3676-7-36-1	XY微動速度	Normal
移動動作	ポタン・スイッチ	
連動制即	前面パネル	Enable
コントローラー	左側面パネル	Enable
	右側面パネル	Enable
インジケーター	Z粗動ボタン	Enable
アシストカメラ	ジョイスティック	Enable
落射光源	PFSオフセットダイヤル	
	ダイヤル	Disable
送信	回転方向	Normal

ファームウェアのバージョンが Ver.1.1.1 以前の場合

ファームウェアのアップデートについては購入先までご連絡ください。

1. サブ項目の[XY ジョイスティック]欄で、次の値を設定しま す。

Х:

ジョイスティックのステージ駆動レバーによる、ステージのX軸方向制御の有効/無効を選択します。

Y:

ジョイスティックのステージ駆動レバーによる、ステージ のY軸方向制御の有効/無効を選択します。

XY スピード:

ジョイスティックの XY 粗動ボタン使用時の所作を選択 します。

Pressing Coarse: 押している間だけ粗動

Toggle: 一度押すと粗動と微動を切替え

XY 対物倍率連動:

対物レンズの倍率に応じて XY ステージの速度を変更するかどうかを選択します。

XY 微動速度:

Normal を選択すると通常の微動、Low を選択すると、 Normal よりさらに微動で XY ステージが移動します。 ▼ XY ジョイスティックの設定(FW Ver.1.1.1 以前の場合)

全般	XYジョイスティック	
システム	×	Enable
	X移動方向	Joystick Normal
接続	Ŷ	Enable
光学素子	Y移動方向	Joystick Normal
任意光学表子	XYスピード	Pressing Coarse
	XY对物倍率連動	Disable
移動動作	XY徵動速度	Normal
連動制御	ສቋン∙ スイ ッ ቻ	
	若西パクル	(man and
コントローラー	町山バイル	Enable
-17-0-7	前面パネル 左側面パネル	Enable Enable
コントローラー インジケーター	前面パネル 左側面パネル 右側面パネル	Enable Enable Enable
コントローラー インジケーター アシストカメラ	前面パネル 左側面パネル 右側面パネル 乙粗動ポタン	Enable Enable Enable Enable
コントローラー インジケーター アシストカメラ 落射光嚢	前回ンペル 左側面パネル 右側面パネル Z粗動ポタン ジョイスティック	Enable Enable Enable Enable Enable
コントローラー インジケーター アシストカメラ 落射光源	前回レントウル 左側面パネル 右側面パネル ジョイスティック PFSオフセットダイヤル	Enable Foable Enable Enable Enable

7.9.7 ボタン・スイッチの制御

顕微鏡本体もしくはジョイスティックの各ボタン(スイッチ)の制御について設定します。

1. サブ項目の[ボタン・スイッチ]欄で、次の値を設定します。

前面パネル:

顕微鏡本体正面操作パネルのボタン/スイッチによる操作の有効/無効を選択します。

左側面パネル:

顕微鏡本体左側操作パネルのボタン/スイッチによる操作の有効/無効を選択します。

右側面パネル:

顕微鏡本体右側操作パネルのボタン/スイッチによる操作の有効/無効を選択します。

Z 粗動ボタン:

顕微鏡本体左右のフォーカスハンドルの Z 粗動ボタンによる操作の有効/無効を選択します。

ジョイスティック:

ジョイスティックの各ボタンによる操作の有効/無効を 選択します。

7.9.8 PFS オフセットダイヤルの制御

PFS のオフセットダイヤルが装着されている場合の制御について設定します。

1. サブ項目の[PFS オフセットダイヤル]欄で、次の値を設定し ▼ PFS オフセットダイヤルの設定 ます。 × Field

ダイヤル:

オフセットダイヤルによる制御の有効/無効を選択しま す。

回転方向:

オフセットダイヤルの回転方向を選択します。

モード:

オフセットダイヤルの Z 粗動ボタン使用時の所作を選択 します。

Pressing Coarse: 押している間だけ粗動

Toggle: 一度押すと粗動と微動を切替え



X Enable X移動方向 Joystick Normal

Y移動方向 Joystick Normal

接続

▼ ボタン・スイッチの制御



[インジケーター] インジケーターの設定 7.10

ここでは、Ti2-E 顕微鏡本体ご使用の場合の、各種インジケーターについて設定します。

- 1. 設定項目選択エリアの[インジケーター]を選択します。
- ▼ インジケーターの設定

電動装置の設定画面が表示されます。



7.10.1 顕微鏡側 FnL/FnR インジケーターの設定

Ti2-E 顕微鏡本体の前面操作パネルの FnL/FnR インジケーター (LED) に任意の機能の動作状態を割り当てます。

FnL/FnR インジケーターに初期設定で割り当てられている機能 はないため、任意に設定しない場合は点灯しません。



前面操作パネル

1. サブ項目の[ファンクションインジケーター(LED)]欄で、次 ▼ LED インジケーターの設定 の値を設定します。

顕微鏡本体の前面操作パネルの LED インジケーター(FnL、 FnR)それぞれに割り当てる動作状態(ステータス)の表示 を選択します。



2. 選択した LED インジケーターに割り当てたい機能を一覧から 選択します。

割当て可能な表示機能については「11.2 Ti2-E顕微鏡本体 LEDインジケーターの表示機能割当て一覧」を参照してくだ さい。

3. [OK]をタップします。





ジョイスティックの LCD 表示画面の設定 7.10.2

ジョイスティックの LCD 画面の各ページに表示する機能を設定します。

1. サブ項目の[ジョイスティック LCD]欄で、次の値を設定しま ▼ ジョイスティックの LCD 表示モードの設定 す。

表示モード:

ジョイスティックの液晶ディスプレイ表示画面の表示モ ードを選択します。

Detail view: 詳細表示モード カテゴリーごとに詳細な情報を表示する モードです。

Simple view: シンプル表示モード 顕微鏡の主要な情報をまとめて表示する モードです。

✓ 補足

顕微鏡本体のファームウェアのバージョンが Ver.1.80 以降の場 合に設定できます。 ファームウェアのバージョンが Ver.1.80 より前の場合は、詳細

表示モード固定です。

2. サブ項目の「ジョイスティック LCD (Detail view)]欄で、 次の値を設定します。

ここで設定した内容は、表示モードが[Detail view]の場合に 有効になります。

最大ページ:

切替えるページ数を設定します。

ページ番号:

設定するページ番号を選択します。

2 行目~4 行目:

各行に割り当てる機能を選択します。

3. 選択した表示欄に割り当てたい機能を一覧から選択します。

割当て可能な機能については「11.3 ジョイスティックの LCD画面の割り当て機能」を参照してください。

4. [OK]をタップします。

3行目 前面パネルLED ON DIC LED Norma

▼ 割当て機能一覧のサブ画面



授統	ファンクションインジケーター(LED)	
光学素子	FnL	
任意光学素子	FnR	
移動動作	ッヨイスティックLCD 表示モード	Simple view
連動制御	ジョイスティックLCD(Detail view	a and a second se
コントローラー	最大ページ	4
インジケーター	ページ番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
アシストカメラ	2行日	
落射光源	3行目 4行目	
設定読込·保存	インジケーター(LED)	
情報	前面パネルLED	ON
	DIC LED	Normal
送信	その絶	

▼ ジョイスティックの LCD 詳細表示の設定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

ァンクションインジケーター(LED)

ウLCD(Detail vie 最大ページ 4 ページ番号

ジョイスティックレロロ

授続 光学素子

任意光学素子

速动制即

落射光源

設定読込·保存

情報

送信

LED インジケーターの制御 7.10.3

顕微鏡本体もしくはジョイスティックのインジケーター(LED)の制御について設定します。

1. サブ項目の[インジケーター(LED)]欄で、次の値を設定しま ▼ インジケーター(LED)の制御 す。

前面パネル LED:

顕微鏡本体前面パネルの LED の点灯 (ON) / 消灯 (OFF) を選択します。

DIC LED:

微分干渉検鏡の条件が満たされているか否かを判別する ための、顕微鏡本体前面操作パネルの DIC インジケータ ーの動作を選択します。

Always OFF :	常に消灯
	(微分干渉検鏡の条件を満たしていても
	点灯/点滅しない)

- ON-OFF: 微分干渉検鏡の条件を満たしている場合 に点灯 (点滅なし)
- 微分干渉検鏡の条件を満たしている場合 Normal : に点灯、一部のみ満たしている場合は点 滅

授統		
	FnR	
光学素子	ジョイスティックLOD	
任意光学素子	表示モード	Simple view
移動動作	ジョイスティックLCD(Detail view	a
ter als duriters	最大ページ	4
25.30.47169	ページ番号	
コントローラー		6 7 8 9 10
Contrat-	2行目	—
	3行目	
アシストカメラ	4行日	
落射光源	インジケーター(LED)	
(6c)83.87	前面パネルLED	ON
BOLENCE INTO		Normal
情報		
	その他	
送信	ブザー	AILON

その他の制御 7.10.4

その他の制御について設定します。

1. サブ項目の[その他]欄で、次の値を設定します。

ブザー:

顕微鏡本体のブザーの動作を選択します。 All OFF: すべてのブザーが無効 PFS OFF: PFS のブザーのみ無効 All ON: すべてのブザーが有効

▼ その他の制御

授終		
	FnR	
光学素子	ジョイスティックLOD	
任意光学素子	表示モード	Simple view
移動動作	ジョイスティックLOD(Detail view	۵
逐動制即	最大ページ	4
	ページ番号	1 2 3 4 5
コントローラー		6 7 8 9 10
インジケーター	2行目	
	3行目	—
アシストカメラ	4行日	—
落射光源	インジケーター(LED)	
18:218-3-622	前面パネルLED	ON
	DIC LED	Normal
情報		
	その他	
送信	ブザー	All ON

7.11 [アシストカメラ] アシストカメラの設定

アシスト鏡筒ベース使用時のアシストカメラのフレームレート、アシストカメラの視野調整を設定します。

1. 設定項目選択エリアの[アシストカメラ]を選択します。

アシストカメラの設定画面が表示されます。

2. サブ項目の[アシストカメラ]欄で、次の値を設定します。

フレームレート:

アシストカメラのフレームレートを選択します。

調整:

タップすると調整画面を表示します。

調整画面では、アシストカメラの視野を双眼部の視野と同じ位置やサイズに調整することができます。

✔ 補足

アシストカメラの視野調整を行う際は、ベルトランレンズの挿脱 状態ごとに、それぞれ調整する必要があります。

手順は以下のとおりです。

- 1) 現在のベルトランレンズの挿脱状態でアシストカメラの視 野調整を行います。
- 2) 調整画面の[OK]をタップして確定します。
- 3) 顕微鏡本体のベルトランレンズ挿脱ダイヤルを回して、レンズを挿入もしくは脱出させます。 (Out→In または In→Out)
- 4) 設定項目選択エリアの[アシストカメラ]を選択し、[調整] ボタンをタップして調整画面を表示します。
- 5) 現在のベルトランレンズの挿脱状態でアシストカメラの視 野調整を行います。
- 6) 調整画面の[OK]をタップして確定します。
- なお、調整画面を開いている状態でベルトランレンズの挿脱を行
- うと、エラーメッセージが表示されて調整画面が閉じます。

ホワイトバランス:

現在画面に表示されている画像に対して、自動的にホワイ トバランスを調整します。

▼ アシストカメラの設定






7.12 [落射照明] D-LEDI の設定

落射照明 D-LEDI 使用時のモードとトリガーを設定します。

1. 設定項目選択エリアの[落射照明]を選択します。

落射照明の設定画面が表示されます。

2. サブ項目の[D-LEDI]欄で、次の値を設定します。

モード:

モードを選択します。

Sync モード: 4種類の LED をすべて同調させます。

Async モード: 波長の異なる 4 種類の LED を個別にオ ン/オフや調整します。

トリガー:

トリガーの有効/無効を選択します。

▼ D-LEDI の設定



[設定読込・保存] 設定の読込みと保存 7.13

ここでは、設定の読込み/保存について説明します。

「Ti2 Control」アプリで設定した内容を設定ファイルとしてデバイス内に保存し、読み込むことができます。

設定ファイルは複数保存することができ、ユーザーごとに読み込む設定ファイルを使い分けることで、顕微鏡システムの 設定を変更することもできます。

1. 設定項目選択エリアの[設定読込・保存]を選択します。 ▼ 設定読込・保存の設定

接続	設定読込·保存	
光学素子		故込
任意光学素子		成存
移動動作	Riettest	送信
進動制即		受信
コントローラー	名格変更·削除	
インジケーター		名称变更
		îMR.
アシストカメラ		
落射光源		
設定読込·保存		
th tig		
送信		

7.13.1 設定の読込み

- 1. サブ項目の[設定読込・保存]欄の[読込]をタップします。 読込画面が表示されます。
- ▼ 設定の読込

授続	設定読込·保存	
光学素子		裁込
仟息光学素子		除存
	設定転送	
移動動作		送信
連動制即		受信
コントローラー	名格变更·谢翰	
		名称変更
インジケーター		nus
アシストカメラ		
落射光源		
設定設込·保存		
th te		
送信		

- 2. 読み込む設定情報ファイルを選択します。
- 3. [OK]をタップします。

読込画面が表示されます。

▼ ファイル選択画面

設定名	
BF-FL-Ph-DIC	
NSI-test-A	
NSI-test	
◯ Test-NSI-TC	
Cancel	Send

- 4. 読み込む設定情報の種類を選択します。
- 5. [OK]をタップします。

保存されている設定情報が読み込まれ、各設定画面に反映されます。

▼ 読込画面



7.13.2 設定の保存

- 1. サブ項目の[設定読込・保存]欄の[保存]をタップします。
- ▼ 設定の保存



- 2. [設定名]欄に、任意のファイル名を入力します。
- 3. [OK]をタップします。

設定情報が保存されます。

4. 保存完了画面が表示されたら、[OK]をタップします。



保存			
設定名	XXX		
	Cancel	ок	

▼ 保存完了

Ti2 Control			
保存完	7[XXX]		
	6	-	

▼ 上書き確認

Ti2 Control	
上書きしてもよろしいですか?	
Cancel	Yes

✓ 補足

手順2.で入力したファイル名が既に存在する場合は、[保存]をタップ後、上書き保存するか確認するメッセージが表示されます。 そのまま上書き保存する場合は[Yes]、保存しない場合は [Cancel]をタップします。

設定転送 7.13.3

「Ti2 Control」アプリで保存した設定ファイルを別の端末に転送(送信と受信)することができます。

🖸 補足

送信側端末と受信側端末は、同一の無線ルーターに接続してください。

1. 送信側端末で、サブ項目の[設定転送]欄の[送信]をタップし ▼ 設定の送信(送信側端末の設定) ます。 後続

送信するファイルの選択画面が表示されます。



- 2. 送信するファイルを選択します。
- 3. [Send]をタップします。

転送の確認画面が表示されます。

▼ 送信ファイルの選択(送信側端末の設定)

設定名			
BE-FL-Ph-DIC			
◯ NSI-test-A			
◯ NSI-test			
Test-NSI-TC			
Cancel	Se	nd	

4. 受信端末側で、サブ項目の[設定転送]欄の[受信]をタップし ▼ 設定の受信(受信端末側の設定) ます。

受信の待機画面が表示されます。



5. 受信待機画面に受信端末の IP アドレスが表示されるので、 ▼ 受信待機画面 メモします。

設定転送(受信)
2688年97月 21月1日 - 102 - 1020 1620 163 21月1日 - 102 - 1020 1630 163 21月1日 - 102 - 1020 163 163 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
Cancel

- 6. 送信側端末で、手順 5.で表示された転送先の IP アドレスを、 [受信 IP アドレス]欄に入力します。
- 7. [Send]をタップします。

転送が開始されます。

▼	転送の確認	(送信側端末の設定)

設定転送(送信)	
設定	
NSI-test	
受信IPアドレス	
xxxxxxxxxxxx	
選択した設定を使端末へ送信するためには、以下の刊 1.受信端末で"受信"を与ップした後に表示されたIP3 2."Send"を与ップしてください。転送が開始されます。	「順を実行してください。 - ドレスを、上の欄に入力してください。

7.13.4 設定名の変更

サブ項目の[名称変更・削除]欄の[名称変更]をタップします。

名称変更するファイルの選択画面が表示されます。

▼ 設定名の変更



- 2. 名称を変更するファイルを選択します。
- [Rename]をタップします。
 名称変更画面が表示されます。

- 4. [設定名]欄に、任意のファイル名を入力します。
- 5. [OK]をタップします。

🕑 補足

手順 4.で入力したファイル名が既に存在する場合は、[OK]をタップしても保存されません。 その場合は、他の設定名で手順 1.からやりなおしてください。

▼ ファイルの選択

名称変更		
BF-FL-Ph-DIC		
NSI-test-A		
◯ NSI-test		
◯ Test-NSI-TC		
Cancel	Rename	

▼ 名称変更

名称変更			
設定名	NSI-test-A		
	Cancel	ок	

▼ 上書き確認



7.13.5 設定ファイルの削除

- サブ項目の[名称変更・削除]欄の[削除]をタップします。
 削除するファイルの選択画面が表示されます。
- ▼ 設定ファイルの削除



- 2. 削除するファイルを選択します。
- [Delete]をタップします。
 削除確認画面が表示されます。

4. 削除する場合は[OK]をタップします。

以上でセットアップは終了です。

設定した情報を顕微鏡へ送信する場合は、設定項目選択エリアの [送信]をタップします。

▼ ファイルの選択

削除		
BF-FL-Ph-DIC		
O NSI-test-A		
◯ NSI-test		
◯ Test-NSI-TC		
Cancel	Delete	

▼ 削除確認



▼ 顕微鏡へ送信

授統	設定読込·保存	
光学素子		読込
10+***		保存
E S.L+MT	設定転送	
移動動作		送信
速動制即		受信
コントローラー	名称变更·削除	
A Struke		名称变更
1,557 \$		ñdlê.
アシストカメラ		
落射光源		
設定読込·保存		
th the		
送信		

7.14 [情報] バージョン情報

ここでは、アプリケーションや顕微鏡のコントローラーのバージョン情報について説明します。

1. 設定項目選択エリアの[情報]を選択します。

アプリケーションや顕微鏡本体、コントローラーのバージョ ン情報が表示されます。

Ti2 シリーズのバージョン情報については、以下のとおりです。

バージョン:

Ti2 Control (本アプリケーション)のバージョンが表示 されます。

顕微鏡:

- モデル: 使用している顕微鏡の機種名が表示されます。
- 本機 FPGA: 顕微鏡本体の FPGA バージョンが表示 されます。
- CTRE FW :
 TI2-E コントローラーのファームウェ

 アバージョンが表示されます。
- CTRE FPGA: TI2-E コントローラーの FPGA バージョ ンが表示されます。
- MAC アドレス: 顕微鏡本体の MAC アドレスが表示され ます。
- D-LEDI FW: D-LEDI を使用している場合、D-LEDI のファームウェアバージョンが表示されます。
- PFS DB: PFS のバージョンが表示されます。

アシストカメラ:

- FW: アシスト鏡筒を使用している場合、アシ ストカメラのファームウェアバージョ ンが表示されます。
- MAC アドレス: アシストカメラの MAC アドレスが表示 されます。

▼ バージョン情報

推設	パージョン	•••••	:
光学素子	Ti2 Control	Ver XX.X.X.XX	
任意光学素子	要商技		
	モデル	Ti2–E	
移動動作	本機FPGA	хххх	
連動制御	CTRE FW	VXXX	
TAD-5-	CTRE FPGA	хххх	
2010 9	MACアドレス	00.00.00.00.00.00	
インジケーター	PFS DB	VXXX	
アシストカメラ	アシストカメラ		
落射洗源	FW		
設定読込・保存	MACアドレス		
精報			
送信	,		



各装置の制御と表示: Ti2-E編

本章では、アプリから Ti2-E 顕微鏡を操作する方法について説明します。

8.1 Home 画面

Home 画面では、Ti2-E 顕微鏡本体を操作することができます。

1. [Home]をタップします。

Home 画面が表示されます。

画面左側にある顕微鏡図に、操作対象の場所が表示されます。



8.1.1 Home 画面の構成

■ 顕微鏡図

リモコンボタンをタップすると、顕微鏡図上の該当する操作対象の場所にマークが表示されます。

顕微鏡図の上には、現在表示している顕微鏡システムの登録名 が表示されます。

(「7.2.3 顕微鏡システムの登録」参照)

アシスト鏡筒ベースが装着されている場合、顕微鏡図の左上に は、アシストカメラの接続状態が表示されます。

■ リモコンボタンエリア

各ボタンは現在の装置の状態を表しています。 各ボタンをタップすると、顕微鏡本体の各装置を操作できます。

🕑 補足

光学素子が光路に正しく入っていない場合、ボタン上に「?」が 表示されます。

🕑 補足

各ボタンをロングタップした場合は、顕微鏡図上の該当する操作 対象の場所にマークが表示されますが、操作はされません。

リモコンボタンエリアの上には、現在表示しているリモコンボタンの配置設定名が表示されます。

(「9.2.2 保存したリモコンボタン配置を呼出す」参照)

▼ Home 画面構成



Check

指定された観察方法で正しく観察できる状態かどうかをチェックできます。 (「9.1 Checkモード」参照)

Mode

各電動装置の状態を登録し、モード選択だけで登録済み状態に 制御することができます。

(9.3 Mode連動の登録と再現」参照)

Display

各リモコンボタンを自由に配置することができます。(「9.2 リモコンボタンの配置」参照)

▼ Home 画面構成

/ Check 画面に切替え							
Mode	/ Mode 画面に切替え						
/ / Display 画面に切替え							
Horpe XYZ Assist Gui Chec. Moue Disputy	de				¢		
NSI TI2-E 001	Ti2-E Standard						
∆ ≑	() 100x Dry	Capture		dic 🔗	MÔ 1.0x		
	FLI 🏠	сон Со н	• •	DIC P IN	FnL tot our		
	Ri 💽 L:Open		ER ON	B 🙆	Fn1 MODEI LOAD:SAVE		
		EYE O Close	₽8 	LAPPI	Fn2 MODE2 LOAD:SAVE		
	() EYE		SHTR O Close	DIC 😑	Fn3 COND Jct1/Prs		

スマートフォンで「Ti2 Control」を操作する場合

スマートフォンを使用する場合、Home 画面に顕微鏡図 は表示されません。

また、各リモコン画面をタップして表示されるサブ画面 もリストが表示されるのみで、ターレット図などは表示 されません。

また、現在表示しているリモコンボタンの配置設定名も 表示されません。

Home XYZ Assist Guide Check Mode Display DIA CP ·•• fli () EYE 💽 20x Dry U:Close Open OUT FL1 🕝 Ŷ GD U:OPEN E100 OFF OUT Capture

▼ スマートフォンの画面





8.1.2 リモコンボタン一覧

各リモコンボタンの機能概略と参照先は以下のとおりです。

ボタン	機能概略と参照先	ボタン	機能概略と参照先
CP 10x Dry	対物レンズの切替え (「8.1.3 対物レンズの操作」参照)	ESC A ESC ESC Refocus	対物レンズの退避/復帰切替え (「8.1.14 対物レンズの退避と復帰」参照)
FL1 () U:DAPI_1	FL ターレット 1 のフィルターキューブの切替え (8.1.5 フィルターキューブの操作」参照)	FL2	FL ターレット 2 のフィルターキューブの切替え (8.1.5 フィルターキューブの操作」参照)
FLI O U:Close FLI O U:Open	FL ターレット 1 のシャッター開閉 (「8.1.10 FLターレットのシャッターの開閉」 参照)	FL2 O L:Close FL2 Open	FL ターレット 2 のシャッター開閉 (「8.1.10 FLターレットのシャッターの開閉」 参照)
ва1 ДО ЕМ510	BA フィルターホイール 1 の吸収フィルターの切 替え (「8.1.6 BAフィルターの操作」参照)	BA2	BA フィルターホイール 2 の吸収フィルターの切 替え (「8.1.6 BAフィルターの操作」参照)
DIA SHTRO Close DIA SHTRO Open	透過照明用電動シャッターの開閉の切替え (8.1.12 透過照明用電動シャッターの開閉」参 照)	EPI SHTR Close EPI SHTR Open	落射照明用電動シャッターの開閉の切替え (「8.1.11 落射照明用電動シャッターの開閉」 参照)
	透過照明の光量調整 (「8.1.9 透過照明装置(DIA)の操作」の「DIA の光量調整」参照)	EPI EPI EPI	落射照明 (LED) の波長別調整(8.1.17 落射光源装置にC-LEDFIを使用する場合の操作」の「使用するLEDの選択」参照)(8.1.18 落射光源装置にD-LEDIを使用する場合の操作」の「Asyncモードの場合:使用するLEDの選択と制御」参照)
OFF OFF DIA ON	透過照明の点灯/消灯切替え (「8.1.9 透過照明装置(DIA)の操作」の「DIA の点灯/消灯操作」参照)	EPI OFF EPI	落射照明(LED)の点灯/消灯切替え (8.1.17 落射光源装置にC-LEDFIを使用する 場合の操作」の「LEDの点灯/消灯操作」参照) (8.1.18 落射光源装置にD-LEDIを使用する 場合の操作」の「LEDの点灯/消灯操作」参照)
EPI Close EPI Open	インテンシライトのシャッター開閉 (「8.1.19 落射光源装置にインテンシライトを 使用する場合の操作」の「インテンシライトのシ ャッターの開閉」参照)	EPI	インテンシライトの ND フィルターの切替え (8.1.19 落射光源装置にインテンシライトを 使用する場合の操作」の「インテンシライトのND フィルターの切替え」参照)
LAPP1	落射照明1の光路切替え (「8.1.16 落射照明の光路切替え」参照)	LAPP2	落射照明 2 の光路切替え (8.1.16 落射照明の光路切替え」参照)
CON CO	コンデンサーモジュールの切替え (「8.1.4 コンデンサーの操作」参照)	ExPh C (1) 100x Ph3	外部位相リングの切替え (「8.1.8 外部位相リングの操作」参照)

ボタン	機能概略と参照先	ボタン	機能概略と参照先
Car EYE	光路の切替え (8.1.7 光路の切替え」参照)	м Ф 1х	中間変倍の状態表示 (「8.1.15 表示専用ボタン」 参照)
© Close	鏡筒ベースのシャッター開閉状態表示 (「8.1.15 表示専用ボタン」参照)	в ф ол	ベルトランレンズの挿脱状態表示 (「8.1.15 表示専用ボタン」参照)
	対物レンズ側 DIC スライダー装着状態表示 (「8.1.15 表示専用ボタン」 参照)	Capture	アシストカメラ画像のキャプチャー (「8.1.13 アシストカメラ画像のキャプチャー (アシスト鏡筒ベース使用時のみ)」参照)
	アナライザーの挿脱状態表示 (「8.1.15 表示専用ボタン」参照)		ポラライザーの挿脱状態表示 (「8.1.15 表示専用ボタン」参照)
FnL	顕微鏡本体左側面のファンクションボタン (「8.1.20 アプリ側のファンクションボタンに よる操作」参照)	FnR	顕微鏡本体右側面のファンクションボタン (「8.1.20 アプリ側のファンクションボタンに よる操作」参照)
Fn1 : Fn6	ジョイスティックのファンクションボタン (「8.1.20 アプリ側のファンクションボタンに よる操作」参照)	01 30	カスタムファンクションボタン (「8.1.21 カスタムファンクションボタンによ る操作」参照)

8.1.3 対物レンズの操作

1. 下図のボタンをタップします。



対物レンズ切替えサブ画面が表示されます。

2. 対物レンズを切り替える場合は、使用する対物レンズ名をタ ▼ 対物レンズ切替えサブ画面 ップします。

🕑 補足

各対物レンズのボタンには、対物レンズ本体に倍率カラーコード が表示されています。 黒:1x、灰:2x、赤:4x、黄:10x、緑:20x、淡い緑:25x、

明るい青:40x、暗い青:60x、白:100x

- 3. 対物レンズ名をロングタップすると、その対物レンズの詳細 情報が表示されます。
- 4. [連動]チェックボックスを ON にすると、連動制御機能を有効にします。

連動制御機能については、「7.8 [連動制御] 連動機能の設定」を参照してください。

- 5. [Close]をタップすると、対物レンズ切替えサブ画面を閉じ ます。
- その対物レン 細情報を表示 ▼ 対物レンズ詳細情報画面 ^{対物レンズ} ^{アドレス} ^{アドレス} S Plan Fluer/20x/0 45/Dry/All /FFS/ELW0/ ウJ/ア DIO Silider 20-11 ______

ок

Cancel

▼ 対物レンズの切替え





🕑 補足

表示された対物レンズの詳細情報は、各項目をタップして変更す ることもできます。 変更した情報は、画面下の[OK]をタップすることで、顕微鏡に

送信できます。

(対物レンズ情報の変更方法は、「7.5.1 レボルバーの設定」 を参照してください。)

コンデンサーの操作 8.1.4

1. 下図のボタンをタップします。



コンデンサーモジュール切替えサブ画面が表示されます。

- 2. コンデンサーモジュールを切り替える場合は、使用するモジ ▼ コンデンサーモジュール切替えサブ画面 ュール名をタップします。
- 3. コンデンサーモジュール名をロングタップすると、そのモジ ュールの詳細情報が表示されます。
- 4. [Close]をタップすると、コンデンサーモジュール切替えサ ブ画面を閉じます。

▼ コンデンサーモジュールの切替え





ロングタップすると、そのコンデンサ ーモジュールの詳細情報を表示

✓ 補足

表示されたコンデンサーモジュールの詳細情報は、各項目をタッ プして変更することもできます。

変更した情報は、画面下の[OK]をタップすることで、顕微鏡に 送信できます。

(コンデンサーモジュール情報の変更方法は、「7.5.2 コンデ ンサーモジュールの設定」を参照してください。)

▼ コンデンサーモジュール詳細情報画面



8.1.5 フィルターキューブの操作

1. 下図のボタンをタップします。



(2台目のFLターレットを操作する場合はこち らをタップ)

フィルターキューブ切替えサブ画面が表示されます。

- フィルターキューブを切り替える場合は、使用するフィルタ ▼ フィルターキューブ切替えサブ画面 ーキューブ名をタップします。
 現在光路に入って
- 3. フィルターキューブ名をロングタップすると、そのフィルタ ーキューブの詳細情報が表示されます。
- 4. [Close]をタップすると、フィルターキューブ切替えサブ画 面を閉じます。

V	フィルタ	ーキュー:	ブの切替え

Home	>	٩٢Z	Assist Gu	ide				¢
Check	Mode	Display						
	NSI TI2-E	001		Ti2-E Standard	l set			
≠ 0				() 100x Dry	Capture	∾ 0	ыс 🔗 алт	м (Ô) 1.0x
				FLI 🏠		۵۸ •	DIC (P) IN	FnL 101 OUT
		2		FLI COpen		epi 	B O OUT	Fn1 MODE1 LOAD:SAVE
0	0				EYE O Close	÷	LAPP1	Fn2 MODE2 LOAD:SAVE
Æ				(°°) ™	SHTR O Close	SHTRO Close	DIC 💼 100xd-R	Fn3 COND Jatl/Prs



キューブの詳細情報を表示

🛇 補足

表示されたフィルターキューブの詳細情報は、各項目をタップし て変更することもできます。 変更した情報は、画面下の[OK]をタップすることで、顕微鏡に 送信できます。 (フィルターキューブ情報の変更方法は、「7.5.3 フィルター キューブの設定」を参照してください。)

▼ フィルターキューブ詳細情報画面



BA フィルターの操作 8.1.6

下図のボタンをタップします。 1.



(2 台目の BA フィルターターレットを操作す る場合はこちらをタップ)

BA フィルター切替えサブ画面が表示されます。

- 2. BA フィルターを切り替える場合は、使用する BA フィルタ ▼ BA フィルター切替えサブ画面 一名をタップします。
- 3. BA フィルター名をロングタップすると、その BA フィルタ 一の詳細情報が表示されます。
- 4. [Close]をタップすると、BA フィルター切替えサブ画面を 閉じます。

▼ BA フィルターの切替え





フィルターの詳細情報を表示

✓ 補足

表示された BA フィルターの詳細情報は、各項目をタップして変 更することもできます。

変更した情報は、画面下の[OK]をタップすることで、顕微鏡に 送信できます。

(BA フィルター情報の変更方法は、「7.5.4 BAフィルターの 設」を参照してください。)

▼ BA フィルター詳細情報画面



8.1.7 光路の切替え

1. 下図のボタンをタップします。



光路切替えサブ画面が表示されます。

- 2. 光路を切り替える場合は、出力先をタップします。
 - 🕑 補足

光路の出力先名は「7.5.7 光路名の設定」で設定した値が表示 されます。

1: 接眼観察ポート(初期表示: EYE)

鏡筒の双眼部を通して顕微鏡像を眼で観察するための光 学出カポートです。 (アシスト鏡筒ベース使用時にアシストカメラに出力する 場合は、出力先を[1]の接眼観察ポートに切り替えます。)

- 2: 右サイドポート(初期表示:R100) 顕微鏡の右側にある顕微鏡像の光学出力ポートです。 (顕微鏡用カメラ、BAフィルターホイール、コンフォー カルヘッド、測光センサーなど)
- 3: AUX (初期表示:L80) (Ti2-E の場合) 顕微鏡の左側にある顕微鏡像の光学出カポートに80%、 接眼観察ポートに20%で分けて出力します。
- ボトムポート(初期表示:B100)
 (Ti2-E/Bの場合)
 顕微鏡の底面にある顕微鏡像の光学出カポートです。
- 4: 左サイドポート(初期表示:L100) 顕微鏡の左側にある顕微鏡像の光学出カポートです。(顕 微鏡用カメラ、BA フィルターホイール、コンフォーカル ヘッド、測光センサーなど)
- 3. [Close]をタップすると、光路切替えサブ画面を閉じます。



▼ 光路切替えサブ画面



外部位相リングの操作 8.1.8

下図のボタンをタップします。 1.



外部位相リング切替えサブ画面が表示されます。

- 外部位相リングを切り替える場合は、使用する外部位相リン ▼ 外部位相リング切替えサブ画面 2. グ名をタップします。
- 3. 外部位相リング名をロングタップすると、その外部位相リン グの詳細情報が表示されます。
- 4. [Close]をタップすると、外部位相リングサブ画面を閉じま す。

nii Ti2-E Standa NSI TI2-E 001 Exth CO ø ыс 🙈

▼ 外部位相リングの切替え



tôt

MÔ



✓ 補足

表示された外部位相リングの詳細情報は、各項目をタップして変 更することもできます。

変更した情報は、画面下の[OK]をタップすることで、顕微鏡に 送信できます。

(外部位相リング情報の変更方法は、「7.5.6 外部位相リング の設定」を参照してください。)

▼ 外部位相リング詳細情報画面



8.1.9 透過照明装置 (DIA) の操作

DIA の光量調整

1. 下図のボタンをタップします。



DIA 照明光量調整サブ画面が表示されます。

▼ DIA 照明の光量調整



- 光量を調整する場合は、中央のダイヤル上をタップするか、 ダイヤル周辺をドラッグします。
- 3. [OK]をタップすると、DIA 照明光量調整サブ画面を閉じま す。

[Cancel]をタップすると、サブ画面を開く前の光量に戻して 画面を閉じます。 ▼ DIA 照明光量調整サブ画面



DIA の点灯/消灯操作

1. 下図のボタンをタップします。



点灯中。タップすると消灯します。



消灯中。タップすると点灯します。

▼ DIA の制御



8.1.10 FL ターレットのシャッターの開閉

電動 FL ターレットを使用している場合は、FL ターレットのシャッターの開閉をアプリ側から行うことができます。

1. 下図のボタンをタップします。



FL ターレットのシャッターが開いている状態 です。タップすると閉じます。



FL ターレットのシャッターが閉じている状態 です。タップすると開きます。

2 台目の FL ターレットを操作する場合



FL2O

L:Clos

FL ターレットのシャッターが開いている状態 です。タップすると閉じます。

FL ターレットのシャッターが閉じている状態 です。タップすると開きます。

▼ FL ターレットのシャッターの開閉



8.1.11 落射照明用電動シャッターの開閉

落射照明用電動シャッターを使用している場合は、落射照明 (EPI) シャッターの開閉をアプリ側から行うことができます。

1. 下図のボタンをタップします。



落射照明用電動シャッターが開いている状態で す。タップすると閉じます。

落射照明用電動シャッターが閉じている状態で す。タップすると開きます。 ▼ 落射照明用電動シャッターの開閉



8.1.12 透過照明用電動シャッターの開閉

透過照明用電動シャッターを使用している場合は、透過照明シャッター (DIA)の開閉をアプリ側から行うことができます。

1. 下図のボタンをタップします。



Close

透過照明シャッターが開いている状態です。タ ップすると閉じます。

透過照明シャッターが閉じている状態です。タ ップすると開きます。 ▼ 透過照明シャッターの開閉



8.1.13 アシストカメラ画像のキャプチャー(アシスト鏡筒ベース使用時のみ)

1. 下図のボタンをタップします。

Capture

アシストカメラの画像がキャプチャーされま す。

光路が[EYE]に切替えられている場合は、アシス トカメラの画像がキャプチャーされ、スマート デバイス内のストレージに保存されます。

🕑 補足

キャプチャーした画像は、スマートデバイス内の[Pictures] -> [Ti2Control]フォルダーに保存されます。キャプチャーした画像 は、スマートデバイス内の[カメラロール]に保存されます。 保存した画像は、写真閲覧アプリで確認できます。

▼ アシスト画像のキャプチャー



8.1.14 対物レンズの退避と復帰

1. 下図のボタンをタップします。



Refocus

対物レンズを一時的に退避位置まで下げます。

退避させた対物レンズを元の位置に戻します。

🕑 補足

退避中は、フォーカスハンドルを回しても焦準装置が駆動しません。

退避中に 🖾 をタップすると、"退避前の Z 位置に移動します か?" と表示されます。

[Move]をタップすると退避前のZ位置に移動します。

[No]をタップすると退避前の Z 位置には戻らずに、フォーカス ハンドルでの操作ができるようになります。 この場合、新たにフォーカスハンドルを止めた位置が新たなピン

ト位置として記憶されます。

▼ 対物レンズの退避と復帰



8.1.15 表示専用ボタン

表示専用ボタンは以下のとおりです。

現在の中間倍率が表示されます。



対物レンズ側 DIC スライダーの挿脱状態を表示します。



未挿入状態

DIC アナライザースライダーの挿脱状態を表示します。

dic 🔕 IN	挿ノ
dic 🔗 Out	未搏

入状態

币入状態

DIC ポラライザーの挿脱状態を表示します。



挿入状態

未挿入状態

ベルトランレンズの挿脱状態を表示します。



挿入状態

未挿入状態

✓ 補足

表示専用ボタンをタップすると、左側の顕微鏡図にそのモジュールの場所を表示します。

8.1.16 落射照明の光路切替え

1. 下図のボタンをタップします。



(ステージアップしている場合はこちらもタッ プ)

落射照明制御サブ画面が表示され、現在使われている光路が 表示されます。

2. サブ画面内に表示された FL モジュールのボタンをタップします。

光路が切り替わります。

3. [Close]をタップすると、落射照明制御サブ画面を閉じます。

▼ 落射照明の制御



▼ 落射照明制御サブ画面



顕微鏡本体側

8.1.17 落射光源装置に C-LEDFI を使用する場合の操作

蛍光 LED 光源(C-LEDFI)には励起波長ごとに LED が内蔵されており、各 LED の使用可否と調光を操作して好みの波 長の光で照明することができます。

使用する LED の選択

1. 下図のボタンをタップします。



すべての LED が OFF の状態

各 LED が ON の状態

C-LEDFI 制御サブ画面が表示され、各 LED の使用(ON) / 不使用(OFF)、波長、および光量が表示されます。

- 2. 各 LED の[ON]または[OFF]をタップすると、それぞれの LED を使用するか否かを設定できます。
- 3. LED ごとに[<]/[>]をタップして光量を設定します。
- 4. [OK]をタップして、C-LEDFIの制御を確定します。

▼ C-LEDFI の制御



▼ C-LEDFI 制御サブ画面



LED の点灯/消灯操作

1. 下図のボタンをタップします。



点灯中。タップすると消灯します。

消灯中。タップすると点灯します。

前述の C-LEDFI 制御サブ画面で ON に設定されている各 LED を点灯/消灯します。

▼ C-LEDFI の制御



160

8.1.18 落射光源装置に D-LEDI を使用する場合の操作

蛍光 LED 光源(D-LEDI)には励起波長ごとに LED が内蔵されており、各 LED の使用可否と調光を操作して好みの波長の光で照明することができます。

LED の点灯/消灯操作

1. 下図のボタンをタップします。



点灯中。タップすると消灯します。

消灯中。タップすると点灯します。

前述の D-LEDI 制御サブ画面で ON に設定されている各 LED を点灯/消灯します。



[②] -> [落射照明]で[トリガー]の設定を有効にしている場合は、操作できません。

Async モードの場合:使用する LED の選択と制御

1. 下図のボタンをタップします。



すべての LED が OFF の状態

各 LED が ON の状態

D-LEDI 制御サブ画面が表示され、各 LED の使用(ON) / 不使用(OFF)、および光量が表示されます。

- 2. 各 LED の[ON]または[OFF]をタップすると、それぞれの LED を使用するか否かを設定できます。
- 3. LED ごとに[<]/[>]をタップして光量を設定します。

各 LED のチェックボックスを ON にすると、チェックを入 れた LED の光量が比率を維持したまま連動します。

4. [OK]をタップして、D-LEDIの制御を確定します。

▼ D-LEDI の制御



▼ D-LEDI の制御



▼ D-LEDI 制御サブ画面



Sync モードの場合: LED の制御

1. 下図のボタンをタップします。



LED が OFF の状態

LED が ON の状態

D-LEDI 制御サブ画面が表示され、LED の使用(ON)/不 使用(OFF)、および光量が表示されます。

- LED の[ON]または[OFF]をタップすると、LED を使用する か否かを設定できます。
- 3. [<]/[>]をタップして光量を設定します。
- 4. [OK]をタップして、D-LEDIの制御を確定します。

▼ D-LEDI の制御



▼ D-LEDI 制御サブ画面



8.1.19 落射光源装置にインテンシライトを使用する場合の操作

落射光源装置に電動インテンシライト(電動 HG プリセンターファイバー光源 C-HGFIE)を使用している場合は、シャッター開閉と、インテンシライトに装着した ND フィルターの切替えを操作することができます。

インテンシライトのシャッターの開閉

1. 下図のボタンをタップします。



インテンシライトのシャッターが開いた状態で す。タップすると閉じます。

インテンシライトのシャッターが閉じた状態で す。タップすると開きます。

前述の C-LEDFI 制御サブ画面で設定されている各 LED を点灯/消灯します。

▼ インテンシライトのシャッターの開閉



インテンシライトの ND フィルターの切替え

1. 下図のボタンをタップします。



ND フィルター切替えサブ画面が表示されます。

▼ ND フィルターの切替え



ND フィルターを切り替える場合は、[<]/[>]をタップし ▼ ND フィルター切替えサブ画面ます。

3. [OK]をタップして、ND フィルターの変更を確定します。



8.1.20 アプリ側のファンクションボタンによる操作

顕微鏡本体やジョイスティック側のファンクションボタンに設定されている機能の操作を、アプリ側から行うことができます。

各ボタンには、現在割り当てられている機能の略称が表示されます。

顕微鏡本体のファンクションボタンに設定した機能

1. 下図のボタンをタップします。



顕微鏡本体左側の FnL ボタンに割り当てられて いる機能が作動します。

顕微鏡本体右側のFnRボタンに割り当てられている機能が作動します。

ファンクションボタンの初期設定は「11.1.1 Ti2-E顕微鏡 本体側ファンクションボタンの初期設定」を参照してください。

現在割り当てられている機能を変更する場合は、「7.9.1 顕 微鏡本体とジョイスティックのファンクションボタンの設 定」を参照してください。

▼ ファンクションボタンによる操作



ジョイスティックのファンクションボタンに設定した機能

1. 下図のボタンをタップします。



ジョイスティックのファンクションボタン (Fn1~Fn6)に割り当てられている機能が作動 します。

ファンクションボタンの初期設定は「11.1.2 ジョイスティック側ファンクションボタンの初期設定」を参照してください。

現在割り当てられている機能を変更する場合は、「7.9.1 顕 微鏡本体とジョイスティックのファンクションボタンの設 定」を参照してください。





8.1.21 カスタムファンクションボタンによる操作

設定した機能をカスタムファンクションボタンで操作できます。

各ボタンには、現在割り当てられている機能の略称が表示されます。

1. 下図のボタンをタップします。



設定したカスタムファンクションボタン(最大 30 個)に割り当てられている機能が作動しま す。

現在割り当てられている機能を変更する場合は、「7.9.2 カ スタムファンクションボタンの設定」を参照してください。

▼ カスタムファンクションボタンによる操作



8.2 XYZ 画面

XYZ 画面に表示されたボタンや、操作エリア内での操作で、電動ステージ(X、Y)と焦準装置(Z)を操作することができます。

XYZ 画面で表示される機能の一部には、Home 画面と共通のものがあります。 本項では、XYZ 画面に特化した機能について説明します。 Home 画面と共通の機能に関しては「8.1 Home画面」を参照してください。

1. [XYZ]をタップします。

XYZ 画面が表示されます。

▼ XYZ 画面



2. [Move]をタップします。

XYZ 画面が Move モードに切り替わります。

機能や操作方法については、次項以降をご覧ください。

アシスト鏡筒ベースが装着されている場合、画面表示部には アシストカメラの画像が表示されます。

🕑 注意

アシスト鏡筒ベースが装着されていても、画像表示部にアシスト カメラの画像が表示されないことがあります。

画像の取得に失敗している場合、メッセージダイアログが表示されますので、メッセージにしたがって画像取得の再試行を実行し てください。

何度か再試行してもライブ画像が表示されない場合は、購入先ま でお問い合わせください。

3. [Map]をタップします。

XYZ 画面が Map モードに切り替わります。

Move モードと共通の機能や操作方法については、次項以降 をご覧ください。

Mapモードに特化した機能や操作については、「8.2.7 Map モード」を参照してください。

▼ XYZ 画面(Move モード)



▼ XYZ 画面(Map モード)



8.2.1 XYZ 画面の構成

ここでは、XYZ 画面の基本的な構成について説明します。

■ (表示切替え)

タップして表示されたサブメニューから、右側の表示エリアを 切り替えます。

Hide:

リモコンボタン/情報表示エリアを非表示にします。

Information:

情報表示エリアを表示します。

Microscope Control:

リモコンボタンエリアを表示します。

Camera Control:

アシストカメラ画像の調整画面を表示します。

ホワイトバランスの調整や、アシストカメラの視野を双眼 部の視野と同じ位置やサイズに調整することができます。



▼ 情報表示エリア



▼ リモコンボタンエリア



表示部を上下にスワイプすると、エリアに表示される項目がス クロールします。

■ 情報表示エリア

■ 表示部のスワイプ

電動ステージ(X、Y)、または焦準装置(Z)に関する情報を表 示します。 詳しくは「8.2.2 情報表示エリア」を参照してください。

■ リモコンボタンエリア

各ボタンをタップすると、顕微鏡本体の各装置を操作できます。 詳しくは「8.2.3 リモコンボタンエリア」を参照してくださ い。

■ XYZ 操作エリア

詳しくは「8.2.5 XYZ操作エリア」を参照してください。



▼ リモコンボタンエリア



8.2.2 情報表示エリア

電動ステージ(X、Y)、または焦準装置(Z)に関する情報を表示します。

🕑 補足

各情報のタイトル部に表示された▼をタップすると、その情報の詳細を折りたたみ表示します。 また、▲をタップすると、折りたたまれた情報を展開します。

をタップして表示されたサブメニューから[Information] を選択して、右側の表示エリアを切り替えます。

警告:

直前のアラート情報を表示します。

PFS:

PFS の ON/OFF 状態を表示します。 ON/OFF 状態表示部をタップすることで、ON/OFF を 切り替えることができます。

座標:

電動ステージ(X、Y)と焦準装置(Z)の座標を表示しま す。

XY インジケーター:

電動ステージ(X、Y)の座標表示を絶対値/相対値で切り替えます。

🕑 補足

XY インジケーターの相対表示は、ジョイスティックの RESET -XY ボタンを押したときの位置を原点とした相対座標を表示する 機能です。

Z インジケーター:

焦準装置(Z)の座標表示を絶対値/相対値で切り替えま す。

✓ 補足

Zインジケーターの相対表示は、ジョイスティックの RESET - Z ボタンを押したときの位置を原点とした相対座標を表示する機 能です。

XY リミット:

電動ステージ(X、Y)のソフトウェアリミットの ON/ OFF 状態を表示します。

ON/OFF 状態表示部をタップすると、XY リミットのサ ブ画面を表示します。

▼ 情報表示エリア



XY ソフトウェアリミットの設定手順は以下のとおりで す。

- 1) 左上のソフトウェアリミットとして設定する位置(X は左側、Yは奥側)まで電動ステージを移動させます。
- ▼ XY リミットの設定



2) 情報表示エリアの XY リミットの ON / OFF 状態表示 ▼ 情報表示エリア 部をタップします。

XY リミットのサブ画面が表示されます。

3) [左上セット]を選択し、[OK]をタップします。

現在の XY 座標が XY の左上のソフトウェアリミット として設定されます。

[左上クリア]を選択すると、設定されているソフトウ ェアリミットをクリアすることができます。

▼	XYUミット
	ON

▼ XY リミットのサブ画面

XYUEyh	
左上セット	
右下セット	
左上クリア	
右下クリア	
Cancel	ок

- 4) 右下として設定する位置(Xは右側、Yは手前側)ま ▼ XY リミットの設定 で電動ステージを移動させます。



5) 情報表示エリアの XY リミットの ON / OFF 状態表示 ▼ 情報表示エリア 部をタップします。

XY リミットのサブ画面が表示されます。



第8章 各装置の制御と表示: Ti2-E編

6) [右下セット]を選択し、[OK]をタップします。

現在の XY 座標が XY の右下のソフトウェアリミット として設定されます。

[右下クリア]を選択すると、設定されているソフトウ ェアリミットをクリアすることができます。

▼ XY リミットのサブ画面



Z リミット:

焦準装置(Z)のソフトウェアリミットの ON/OFF 状態 を表示します。

ON/OFF 状態表示部をタップすると、Z リミットのサブ 画面を表示します。

- Zソフトウェアリミットの設定手順は以下のとおりです。
- 1) 上限として設定する位置まで焦準装置(Z)を上げます。
- 1 情報表示エリアのZリミットのON/OFF状態表示部 をタップします。

Z リミットのサブ画面が表示されます。



▼	ZUミット	
	OF	Ŧ

▼ Z リミットの設定



3) [上限セット]を選択し、[OK]をタップします。

現在のZ座標がZのソフトウェアリミット(上限) として設定されます。

[上限クリア]を選択すると、設定されているソフトウ ェアリミットをクリアすることができます。

▼ Z リミットのサブ画面

ZIJĘyħ	
上限セット	
上限クリア	
Cancel	ок
8.2.3 リモコンボタンエリア

顕微鏡本体の各電動装置を操作します。

をタップして表示されたサブメニューから[Microscope Control]を選択します。

■ リモコンボタンエリア

各ボタンをタップすると、顕微鏡本体の各電動装置を操作できます。

各リモコンボタンの配置は、Display 画面で自由に変更することができます。

詳しくは「9.2 リモコンボタンの配置」を参照してください。

▼ リモコンボタンエリア



8.2.4 カメラコントロール

アシストカメラ画像の調整画面を表示します。

をタップして表示されたサブメニューから[Camera Control]を選択します。

■ 設定エリア

フレームレート:

タップするとフレームレートの選択画面を表示します。 アシストカメラのフレームレートを選択します。

ROI:

タップすると ROI 画面を表示します。 アシストカメラの視野のサイズや位置を調整することが

できます。

詳しくは「7.11 [アシストカメラ] アシストカメラの設 定」を参照してください。

■ 制御エリア

ホワイトバランス:

現在画面に表示されている画像に対して、自動的にホワイ トバランスを調整します。

キャプチャー:

タップするとアシストカメラの画像を取得します。 光路が[EYE]に切替えられている場合は、アシストカメラ の画像がキャプチャーされ、スマートデバイス内のストレ ージに保存されます。

🕑 補足

キャプチャーした画像は、スマートデバイス内の[Pictures] -> [Ti2Control]フォルダーに保存されます。キャプチャーした画像 は、スマートデバイス内の[カメラロール]に保存されます。 保存した画像は、写真閲覧アプリで確認できます。

▼ カメラコントロール







8.2.5 XYZ 操作エリア

焦準装置(Z)や電動ステージ(X、Y)を移動します。

アシスト鏡筒ベースが装着されている場合は、アシストカメラの画像が表示されます。

■ 焦準装置(Z)の操作

PFS が OFF の場合は、XYZ 操作エリア内を 2 本の指で上下に ドラッグ/スワイプすることで、焦準装置(Z)を移動させる ことができます。

上にドラッグ/スワイプ:

2本指スワイプの場合、一定の値だけ焦準装置(Z)が上 に移動します。

2本指ドラッグの場合、動かした分だけ焦準装置(Z)が 上に移動します。

下にドラッグ/スワイプ:

2本指スワイプの場合、一定の値だけ焦準装置(Z)が下 に移動します。

2本指ドラッグの場合、動かした分だけ焦準装置(Z)が下に移動します。

PFS が ON の場合は、XYZ 操作エリア内を 2 本の指で上下に 2 本指ドラッグすることで、焦準装置(Z)をオフセット量分移 動させることができます。

🕑 補足

[Z リミット]が設定され、かつ ON の状態の場合は、設定された ソフトウェアリミットの座標間の内側のみ焦準装置を移動でき ます。

Z 方向のソフトウェアリミットは、XYZ 操作エリアに赤色のラインで表示されます。

▼ XYZ 操作エリア



■ 電動ステージ(X、Y)の操作:

XYZ操作エリア内を1本の指で上下左右にドラッグ/スワイプ することで、電動ステージ(X、Y)を移動させることができま す。

ドラッグ:

上ドラッグ: Y ステージが奥に移動

下ドラッグ:Yステージが手前に移動

右ドラッグ:Xステージが右に移動

左ドラッグ:Xステージが左に移動

XYZ 操作エリア内を1本の指でタップした後、0.5 秒以 内に上下左右にドラッグすることで、移動することもでき ます。

スワイプ :

上スワイプ:Yステージが奥に1視野分移動
 下スワイプ:Yステージが手前に1視野分移動
 右スワイプ:Xステージが右に1視野分移動
 左スワイプ:Xステージが左に1視野分移動

🕑 補足

[XY リミット]が設定され、かつ ON の状態の場合は、設定され たソフトウェアリミットの座標間の内側のみ電動ステージ(X、 Y)を移動できます。 XY 方向のソフトウェアリミットは、XYZ 操作エリアに赤色のラ

インで表示されます。

▼ XYZ 操作エリア



8.2.6 Memory

電動ステージ(X、Y)と焦準装置(Z)の座標を、顕微鏡側には最大4個、タブレット側には最大10個まで記憶するこ とができます。

また記憶した座標を呼び出して、その座標位置に電動ステージ(X、Y)と焦準装置(Z)を移動させることができます。

1. Move モードもしくは Map モード時に、[Memory]をタッ ▼ Memory プします。

Memory のサブ画面が表示されます。



座標を記憶する (Memory)

- 1. Memory のサブ画面で、座標の記憶先のタブを選択します。 ▼ Memory のサブ画面([顕微鏡]タブ)

Memory / Recall X, Y, Z							
7	顟歕鏡		タプレット				
M 1	-14415.9 ,	9863.5 ,	5661.36	XYZ			
M2				XYZ			
М3							
М4				XY			
	Close		De	lete all			

2. [Memory]をタップします。

現在の電動ステージ(X、Y)と焦準装置(Z)の座標が記憶 されます。

✓ 補足

既に記憶されている座標位置が顕微鏡側に4個、タブレット側に 10 個ある場合は、これ以上記憶できません。

✓ 補足

顕微鏡側に記憶した座標には M1~M4 の番号が、タブレット側に 記憶した座標にはT1~T10の番号が付与されます。 これらの番号は Map モード画面で、該当の座標位置に表示され

ます。

▼ Memory のサブ画面([タブレット]タブ)



選択した座標を削除する

- 1. Memory のサブ画面で、座標の記憶先のタブを選択します。 ▼ Memory のサブ画面
- 2. 削除する座標をロングタップします。 削除の確認メッセージが表示されます。



3. [OK]をタップします。

選択した座標が削除されます。

座標をすべて削除する

- 1. Memory のサブ画面で、座標の記憶先のタブを選択します。
- 2. [Delete all]をタップします。

削除の確認メッセージが表示されます。

▼ 削除確認



▼ Memory のサブ画面



3. [OK]をタップします。

タブレット側に記憶されているすべての座標が削除されま す。

▼ 削除確認



記憶した座標位置にステージを移動させる

- 1. Memory のサブ画面で、座標の記憶先のタブを選択します。
- 2. 呼び出したい座標をタップします。

移動の確認メッセージが表示されます。

🕑 補足

座標横のボタンをタップすると、移動するステージの座標軸を変 更できます。 (「移動するステージの座標軸を指定する」参照)

 対物レンズがステージに接触しないか確認し、[Yes]をタッ プします。

各ステージが移動します。

[Cancel]をタップすると、ステージは移動せず、Move モードの画面に戻ります。

移動するステージの座標軸を指定する

- 1. Memory のサブ画面で、座標の記憶先のタブを選択します。
- 2. 座標横のボタンをタップします。

▼ Memory のサブ画面



▼ 移動確認

Ti2 Control	
Move XYZ	
X:=18019.9um, Y:=5311.1um,	Z:5608.46um
Cancel	Yes

▼ Memory のサブ画面



3. 移動するステージを選択してから[OK]をタップします。

(Z=焦準装置、XY=電動ステージ、XYZ=両方)

▼ 移動するステージを選択



8.2.7 Map モード

Map モード画面では、焦準装置(Z)や電動ステージ(X、Y)の可動範囲内のどの位置を見ているかを把握することができます。

1. XYZ 画面の[Map]をタップします。

Map モード画面が表示されます。



Map モード画面の表示

■ 電動ステージ(X、Y)の位置表示エリア

緑の長方形:

見ている視野のサイズと位置の目安を表しています。

赤の実線:

XY リミットを表しています。

数字:

Memory 機能で記憶された座標を表しています。

M1~M4は、顕微鏡側に記憶されている座標です。 T1~T10は、タブレット側に記憶されている座標です。

黄色の実線:

XY ステージが移動した軌跡を表しています。

▼ XY の位置表示エリア



■ 焦準装置 (Z) の位置表示エリア

緑の実線:

見ているZ位置の現在値を表しています。

赤の実線:

Zリミットを表しています。

数字:

Memory 機能で記憶された座標を表しています。

表示範囲外で記憶された座標がある場合は、表示エリアの 上下に〇印が表示されます。

▼ Z の位置表示エリア



Map モードの操作

■ XY の位置表示エリアでの操作

ダブルタップ:

XY の位置を高速で移動します。

位置表示エリア上でダブルタップすると、移動確認のメッ セージが表示されます。

[Yes]をタップすると、ダブルタップしたおおよその位置 に電動ステージが移動します。

🕑 注意

XY リミットが OFF だった場合は、対物レンズとステージが接触 しないかどうかを確認するための警告メッセージが表示されま す。

ロングタップ:

フルストロークの範囲が画面全体に表示されます。

ピンチイン・ピンチアウト:

ピンチアウトすると拡大表示され、ピンチインすると縮小 表示されます。

ドラッグ/スワイプ:

表示している画面を移動します。



リモコンボタンエリアのこのボタンをタップする と、Mapモード画面に表記された黄色い実線(XY ステージが移動した軌跡)が削除されます。

■ Z 位置表示エリアでの操作

ダブルタップ:

Zの位置を高速で移動します。

位置表示エリア上でダブルタップすると、移動確認のメッ セージが表示されます。

[Yes]をタップすると、ダブルタップしたおおよその位置 に焦準装置が移動します。

ロングタップ:

フルストロークの範囲が画面全体に表示されます。

ピンチイン・ピンチアウト:

ピンチアウトすると拡大表示され、ピンチインすると縮小 表示されます。

ドラッグ/スワイプ:

表示している画面を移動します。

▼ Z の位置表示エリア



▼ XY の位置表示エリア





高度な使い方: Ti2-E編

本章では、「Ti2 Control」から顕微鏡を操作する場合の、より高度な使用方法について説明します。

9.1 Check モード

指定した検鏡方法で正しく観察できる状態かどうかをチェックするモードです。

9.1.1 Check モードの使い方

Home 画面の[Check]をタップします。
 検鏡方法の選択リストが表示されます。

▼ Check モードの開始



2. リストからチェックする検鏡方法を選択して、[Start]をタ ップします。

Home 画面が Check モードに切り替わり、選択した検鏡方 法に適したボタン配列に変更されます。

🕑 補足

ここで表示される検鏡方法は、アクセサリーの装着状態により、 実行可能と判断された検鏡方法のみ選択可能になります。

▼ チェックする検鏡方法の選択



🕑 補足

検鏡方法を選択して[Start]をタップした際、焦準装置(Zステージ)が退避中の場合は、復帰するか確認するメッセージが表示されます。

Check モードを開始する場合は、[Yes]をタップして対物レンズ を復帰させてください。

[No]をタップすると、Check モードを開始できない旨のメッセ ージが表示され、Home 画面に戻ります。



Check モード中は、「Check]の文字が選択した検鏡方法名に ▼ Check モード中の Home 画面 切り替わり、赤もしくは緑色で表示されます。

検鏡方法に適さないアクセサリーが光路にある、もしくは状 態の場合、[検鏡方法名]の文字が赤で表示され、該当のアク セサリーのリモコンボタンに 🚺 マークが表示されます。

検鏡方法に適さない対物レンズが光路にある場合は、他のア クセサリーが検鏡方法に適さない状態であっても、対物レン ズのリモコンボタンにのみ 🚺 マークが表示されます。 適正な対物レンズに切替え後、検鏡方法に適さないアクセサ リーに対して 🚺 マークが表示されます。

また、電動装置であれば、最適な状態に自動的に変更されま す。

検鏡方法に適した状態の場合、[検鏡方法名]の文字が緑色で 表示されます。

3. 🚺 マークが表示されたリモコンボタンをタップします。

該当のアクセサリーの状態が最適な状態に変更されるか、も しくは変更するためのサブ画面が表示されます。



▼ Check モード中の Home 画面



サブ画面が表示された場合は、検鏡方法に適した項目を選択 します。

検鏡方法に適した項目は緑枠で表示されています。

▼ サブ画面



すべての装置が検鏡に適した状態になると、リモコンボタン に表示された 🚺 マークがすべて消え、 [検鏡方法名]の文字 が緑色で表示されます。

🕑 補足

Check モードを解除する場合は、「検鏡方法名」をタップすると解 除されます。



9.2 リモコンボタンの配置

各リモコンボタンを自由に配置し、リモコンボタンの配置設定として登録することができます。

9.2.1 リモコンボタンの配置変更

1. Home画面もしくはXYZ画面の[Display]をタップします。

選択リスト画面が表示されます。

🕑 補足

リモコンボタンの配置設定は、Home 画面、XYZ 画面それぞれ 別に管理されます。

どちらの画面で[Display]をタップしたかによって、次に表示される選択リスト画面が異なります。

▼ リモコンボタンの配置変更の開始



2. 新規でリモコンボタンの配置設定を作成する場合は、[+]を タップします。

リモコンボタンの配置変更画面が表示されます。

🕑 補足

現在使用中のリモコンボタンの配置設定名の横に(✓)が表示されています。

🕑 補足

作成済みのリモコンボタンの配置設定を編集する場合は、該当の 設定を選択して[Edit]をタップします。

[Edit]を選択した場合、後から別名保存することはできませんの でご注意ください。

▼ 選択リスト画面-Display (Home)



▼ 選択リスト画面-Display (XYZ)



画面左の配置可能なボタン群から、配置するボタンを選択し ▼ リモコンボタンの配置変更画面 3. ます。

ボタン群は左右にスワイプすると、表示される項目がスクロ ールします。

ボタンを選択すると、黄色い枠で表示されます。

既に配置済みのボタンは、ボタン右上にチェックマーク付き で表示されます。

(配置済) 例) (未配置) → 🗽 🗖

✓ 補足

各リモコンボタンの機能概要については「8.1.2 リモコンボタ ン一覧」を参照してください。

4. 画面右側の配置画面で、ボタンを配置する位置をタップしま ▼ ボタンの配置 す。

タップした位置に選択したボタンが表示されます。

(先に配置したい位置をタップしてから下側のボタンをタッ プしてもボタンを配置することができます。)

- 配置するボタンを選択 SHTR œ con 6 SHTR ୵ୖୄ Ö DIC RJ 🚱 FU 💽 BA1CO Euth CO ×Ô (° • ۰Ô

- 配置可能なボタン群をスワイプ

ボタンを配置す



5. 配置されているボタンを削除する場合は、そのボタンをタッ プします。

ボタンを選択すると、黄色い枠で表示されます。

6. []をタップします。

選択したボタンが削除されます。

(先に []をタップしてから削除したいボタンをタップ しても、ボタンを削除することができます。)

複数のボタンを一度に削除する場合は、一つ目のボタンをロ ▼ 複数ボタンの削除 ングタップします。

一つ目のボタン左上に黄色いチェックマークが表示されて から、他のボタンを選択します。

チェックマークが表示されているボタンをタップすると、選 択が解除されます。

複数選択を解除する場合は、画面左上の[Back]で解除できま す。

Г ■]をタップすると、選択したボタンが削除されます。 ▼ ボタンの削除



Back		XYZ	Assist Gu	iide				
هم ا	R2	EVE CO	SHTR	Home Icons	(0NZ2)		EPI	
Nozepiecz	FL Shutter 2	Eye Shutter	EPI Shutter	G		*		
		DIA SHTR O DIA Shutter	C-LEDFI	FLI (🖗	BAICO	۵۵ اس	الهـ ف	DIC P
			EPI	RJ 🜑	бл2 СО	™Ā	LAPPI	۳Ô
RJ CO FL Shutter 1			EPI C-HGFI	√ 15.2⊘	୍ତ୍ର ର୍ଜ୍ଜ ି	EYE 💽	✓ Lapp2 ⊒	∗ Ô
FL2	Exth CO Ex. Ph		EPI C-HGFI	✓ R2€	SHTR	E PI SHTR O		Ď
							[

- 7. 配置されたボタンを入れ替える場合は、入れ替えたいボタン ▼ ボタンの入替え をそれぞれタップします。



8. すべてのボタンを配置し終えたら、[Done]をタップします。 保存画面が表示されます。

▼ リモコンボタンの配置変更の設定保存



9. カスタムしたリモコンボタンの配置をリモコンボタンの配 置設定として保存する場合は、[名前]欄に保存名を入力し て、[Save]をタップします。

保存名は、半角英数 20 文字以内で入力します。

設定したボタン配置がリモコンボタンの配置設定の一つと して登録されます。

✔ 補足

登録したリモコンボタンの配置設定を削除する場合は、選択リス ト画面で、該当の設定名をロングタップします。

削除の確認メッセージが表示されたら、[OK]をタップして削除 します。

▼ Save Display 画面

Save D	isplay (Home)		
名前	Stage up setting		
	Cancel	Save	

▼ 選択リスト画面



9.2.2 保存したリモコンボタン配置を呼出す

1. Home画面もしくはXYZ画面の[Display]をタップします。 ▼

選択リスト画面が表示されます。

▼ ボタン配置の呼出し



2. リストから表示したいリモコンボタン配置のリモコンボタ ンの配置設定名を選択して、[Apply]をタップします。

リモコンボタンの配置設定に登録されているボタン配列に 変更されます。

🕑 補足

[All]を選択して[Apply]をタップした場合、表示可能なすべての リモコンボタンが表示されます。



Home	>	ΥZ	Assist Guide					₿
Check	Mode	Display						
¢û	NSI TI2-E	801	Stan	dard setting CP 00x Oil	(©∰ Eme	EYE 💽 Open	DIC DI	Capture
			FU	1 🏠		EPI SHTR Open	dic 🙈 OUT	FnL tot out
			R	a 🌑 Open	OFF	ER ©N	DIC P IN	FnR INDICATOR ON OFF
	0		0		©14 *1 25	۲۹ ۱۹۰۱	м ф 1.0х	Fn1 MODE1 LOAD: SAVE
			BA	NCO OPEN	^{ssc} Ā ≞≈	LAPTI 📕 EPI-FL	в Ô олт	Fn2 MODE2 LOAD:SAVE

Mode 連動の登録と再現 9.3

各電動装置の状態をモードとして登録でき、モードを切り替えるだけで任意の観察状態を呼び出すことができます。

Mode 連動の保存 9.3.1

モード連動機能に観察状態を複数保存できます。

1. Home 画面の[Mode]をタップします。

モード連動画面が表示されます。

▼ モード連動の設定

Home XYZ	Assist Guide	ţ <u>;</u>
Check Mode Display		
NSI T12-E 001	TI2-E Standard set	
₩	۵۵ ایک ایک ایک	MÔ
	100x Dry Capture ON OUT	1.0x
		FnL 101 OUT
	RI CORE ESC A BO	Fn1 MODEI LOAD SAVE
	BAI (0) EYEO	Fn2 MODE2 LOAD:SAVE
	Close Close Close	Fn3 COND Jetl/Prs

[顕微鏡]タブを選択時に登録したいモード番号の[Edit]をタ ▼ モード連動画面(顕微鏡側に保存) ップすると、顕微鏡側にモードを保存します。

Mode						
₽	新教部	\$		タブレット		
Fn1	1	(Unset)			Edit	
					Edit	
					Edit	
					Edit	
					Edit	
					Edit	
					Edit	
					Edit	
	c	lose				

[タブレット]タブを選択時に[Add]をタップすると、タブレ ▼ モード連動の保存先(タブレット側に保存) ット側にモードを保存します。

Mode		
7	頸鎖鏡	5JL 91
	Close	Add

顕微鏡に保存する場合と、タブレットに保存する場合で設定 項目が異なります。

以降は、保存先ごとに説明します。

連動させる装置と動作の設定(顕微鏡に保存)

1. [顕微鏡]タブを選択し、登録したいモード番号の[Edit]をタ ▼ モード連動画面 ップします。

モード設定のサブ画面が表示されます。

Mode Image: State Sta

▼ モードの設定(顕微鏡に保存)

2. 次の値を設定します。

現在値:

現在の装置状態を読み込みます。

全てクリア:

表示されている値をすべてクリアします。

名称:

登録モードの表示名を入力します。 (半角英数で最大 14 文字まで入力できます)

レボルバー:

電動レボルバーの番地を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

コンデンサー:

コンデンサーターレットの番地を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

フィルター1:

使用するフィルターキューブが入っている FL ターレット 1の番地を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

フィルター2:

ステージアップで、2 台目の FL ターレットがある場合は、 使用するフィルターキューブが入っている FL ターレット 2 の番地を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

FL シャッター1:

FL ターレット1のシャッターの開閉動作を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

FL シャッター2:

ステージアップで、2 台目の FL ターレットがある場合は、 FL ターレット 2 のシャッターの開閉動作を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)



バリア 1:

使用する BA フィルターが入っている BA フィルターホイ ール1の番地を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

バリア 2:

2 台目の BA フィルターホイールがある場合は、使用する BA フィルターが入っている BA フィルターホイール 2 の 番地を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

光路:

光路を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

EPI シャッター:

落射照明用電動シャッターの動作を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

DIA シャッター:

透過照明用電動シャッターの動作を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

DIA 照明:

透過照明の動作(ON/OFF)を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

光量:

透過照明の光量を入力します。 (入力範囲は 0~100。何も入力しない場合は連動しません。)

D-LEDI Ch:1:

蛍光LED光源(D-LEDI)のチャンネル1の動作(ON/OFF)
 を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

🛇 蛍光 LED 光源(D-LEDI)で Sync モード設定時

Sync モード設定時も Ch1~Ch4 まで表示されますが、すべて同 じ値になります。

光量:

蛍光 LED 光源(D-LEDI)のチャンネル1の光量を選択します。(「---」を選択すると連動しません。)

Ch:2:

蛍光LED光源(D-LEDI)のチャンネル2の動作(ON/OFF)
 を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

光量:

蛍光 LED 光源(D-LEDI)のチャンネル2の光量を選択します。(「---」を選択すると連動しません。)

▼ モードの設定(顕微鏡に保存)(続き)



Ch:3:

蛍光LED 光源(D-LEDI)のチャンネル3の動作(ON/OFF)
 を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

光量:

蛍光 LED 光源(D-LEDI)のチャンネル3の光量を選択します。(「---」を選択すると連動しません。)

Ch:4:

蛍光LED光源(D-LEDI)のチャンネル4の動作(ON/OFF)
 を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

光量:

蛍光 LED 光源(D-LEDI)のチャンネル4の光量を選択します。(「---」を選択すると連動しません。)

鏡筒ベースターレット:

外部位相差鏡筒ベースのターレットの番地を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

LAPP メインブランチ 1:

落射照明装置のメインブランチ1の光路を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

LAPP メインブランチ 2:

ステージアップで、落射照明装置の構成が上下2 段組み になっている場合は、メインブランチ2の光路を選択し ます。 (「---」を選択すると連動しません。)

LAPP サブブランチ:

落射照明装置のサブブランチの光路を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

中間変倍:

中間変倍の倍率を選択します。

DIC スライダー:

DIC スライダーの挿脱状態を選択します。

DIC ポラライザー:

DIC ポラライザーの挿脱状態を選択します。

アナライザースロット:

アナライザースライダーの挿脱状態を選択します。

ベルトランレンズ:

ベルトランレンズの挿脱状態を選択します。

3. [Save]をタップして保存します。

▼ モードの設定(顕微鏡に保存)(続き)



🕑 補足

登録したモードを顕微鏡本体やジョイスティックのファンクションボタンに割り当てる場合は、「7.9.1 顕微鏡本体とジョイスティックのファンクションボタンの設定」を参照してください。

ファンクションボタンにモードが登録されると、モード連動画面 のモード名の右端に、割り当てたファンクションボタンのアイコ ンが表示されます。

▼ モード連動のファンクションボタンへの割当て



連動させる装置と動作の設定(タブレットに保存)

1. [タブレット]タブを選択し、[Add]をタップします。

モード設定のサブ画面が表示されます。

▼ モード連動画面



2. 次の値を設定します。

現在値:

現在の装置状態を読み込みます。

全てクリア:

表示されている値をすべてクリアします。

名称:

登録モードの表示名を入力します。 (半角英数で最大 14 文字まで入力できます)

レボルバー:

使用する対物レンズを選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

コンデンサー:

使用するコンデンサーを選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

フィルター1:

使用するフィルターキューブを選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

フィルター2:

ステージアップで、2 台目の FL ターレットがある場合は、 使用するフィルターキューブを選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

FL シャッター1:

FL ターレット1のシャッターの開閉動作を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

FL シャッター2:

ステージアップで、2 台目の FL ターレットがある場合は、 FL ターレット 2 のシャッターの開閉動作を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

バリア 1:

使用する BA フィルターを選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

バリア 2:

2 台目の BA フィルターホイールがある場合は、使用する BA フィルターを選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)



光路:

光路を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

EPI シャッター:

落射照明用電動シャッターの動作を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

DIA シャッター:

透過照明用電動シャッターの動作を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

DIA 照明:

透過照明の動作(ON/OFF)を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

光量:

透過照明の光量を入力します。 (入力範囲は0~100。何も入力しない場合は連動しません。)

C-HGFI:

インテンシライトの動作(ON/OFF)を選択します。

C-LEDFI Ch:1 もしくは D-LEDI Ch:1:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI もしくは D-LEDI)のチャンネル1の動作(ON/OFF)を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

📀 蛍光 LED 光源(D-LEDI)で Sync モード設定時

Sync モード設定時も Ch1~Ch4 まで表示されますが、すべて同じ値になります。

光量:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI もしくは D-LEDI)のチャンネル1の光量を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

Ch:2:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI もしくは D-LEDI)のチャンネ
 ル2の動作(ON/OFF)を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

光量:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI もしくは D-LEDI)のチャンネル2の光量を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

Ch:3:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI もしくは D-LEDI)のチャンネル3の動作(ON/OFF)を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

光量:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI もしくは D-LEDI)のチャンネル3の光量を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

▼ モードの設定(タブレットに保存)(続き)



Ch:4:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI もしくは D-LEDI)のチャンネ
 ル4の動作(ON/OFF)を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

光量:

蛍光 LED 光源(C-LEDFI もしくは D-LEDI)のチャンネル4の光量を選択します。
 (「---」を選択すると連動しません。)

観察ポート:

外部位相差鏡筒ベースもしくはポート鏡筒ベースを使用 している場合に表示されます。 鏡筒ベースの光学出力先(観察ポート)を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

接眼部シャッター:

アシスト鏡筒ベースを使用している場合に表示されます。 双眼部への光路にあるシャッターの開閉状態を選択しま す。(「---」を選択すると連動しません。)

鏡筒ベースターレット:

外部位相差鏡筒ベースを使用している場合は、使用する外部位相リングを選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

LAPP メインブランチ 1:

落射照明装置のメインブランチ1の光路を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

LAPP メインブランチ 2:

ステージアップで、落射照明装置の構成が上下2 段組み になっている場合は、メインブランチ2の光路を選択し ます。 (「---」を選択すると連動しません。)

LAPP サブブランチ:

落射照明装置のサブブランチの光路を選択します。 (「---」を選択すると連動しません。)

中間変倍:

中間変倍の倍率を選択します。

DIC スライダー:

DIC スライダーの挿脱状態を選択します。

DIC ポラライザー:

DIC ポラライザーの挿脱状態を選択します。

アナライザースロット:

アナライザースライダーの挿脱状態を選択します。

ベルトランレンズ:

ベルトランレンズの挿脱状態を選択します。

3. [Save]をタップして保存します。

▼ モードの設定(タブレットに保存)(続き)



▼ モードの設定(タブレットに保存)(アシスト鏡 筒ベース使用時)



9.3.2 登録済み Mode の呼出し

登録したモードを呼び出して、任意の制御状態に切り替えます。

1. Home 画面の[Mode]をタップします。

モード連動画面が表示されます。

▼ モード連動の呼出し



2. 表示されたリストから呼び出したいモード名をタップしま す。

登録済みモードが読み込まれます。

▼ モード連動呼出し画面



モード連動中は、[Mode]の文字が赤色もしくは緑色で表示 されます。

電動装置であれば、モードに登録された状態に自動的に変更 され、[Mode]の文字が緑色で表示されます。

登録済みモードに適さないアクセサリーが光路にある、もし くは状態の場合、該当のリモコンボタンに 🚺 マークが表 示され、[Mode]の文字が赤色で表示されます。

🕑 補足

モード連動を解除する場合は、もう一度[Mode]をタップすると 解除されます。

▼ モード連動中の Home 画面



3. 🚺 マークが表示されたリモコンボタンがある場合は、該当 ▼ モード連動中の画面 のボタンをタップします。

該当のアクセサリーの状態を変更するためのサブ画面が表 示されます。



サブ画面でモード連動に登録した項目を選択します。 モード連動に登録した項目は緑枠で表示されています。 ▼ サブ画面



4. 状態表示ボタンに 🚺 マークが表示されている場合は、顕微 鏡本体側で装置を登録済みモードに適した状態に切り替え ます。

▼ モード連動中の画面



すべての装置が登録済みモードに適した状態になると、リモ コンボタンに表示された
・ マークがすべて消え、[Mode] の文字が緑色で表示されます。

✓ 補足

モード連動を解除する場合は、もう一度[Mode]をタップすると 解除されます。

▼ モード連動中の画面



9.3.3 登録済み Mode の編集

登録済みの Mode を編集する方法について説明します。

1. Home 画面の[Mode]をタップします。

モード画面が表示されます。

▼ モードの編集



2. 編集したいモード番号の[Edit]をタップします。

[顕微鏡]タブを選択時に、編集したいモード番号の[Edit]を タップすると、顕微鏡側のモードを編集する画面を表示しま す。

以降の編集方法は新規に登録する場合と同じです。

「9.3.1 Mode連動の保存」の「連動させる装置と動作の設定(顕微鏡に保存)」を参照してください。

▼ モード画面(顕微鏡側に保存)

Mode					
₽	nai	1		タブレット	
Fn1	1	MD1.			Edit
Fn2	2	MD2.			Edit
	3	MD3.			Edit
	c	lose			

[タブレット]タブを選択時に、編集したいモード番号の [Edit]をタップすると、タブレット側のモードを編集する画 面を表示します。

以降の編集方法は新規に登録する場合と同じです。 「9.3.1 Mode連動の保存」の「連動させる装置と動作の設 定(タブレットに保存)」を参照してください。

▼ モードの保存先(タブレット側に保存)





アシストガイドの使い方

本章では、アシストガイドの使い方について説明します。

10.1 アシストガイドについて

アシストガイドとは、顕微鏡を観察に最適な状態になるようガイドする機能です。

10.1.1 Assist Guide 画面(Top 画面)

アシストガイドの各画面に表示されたボタンの機能は以下のとおりです。

■ 🚹 (Home)

Home 画面に遷移します。

■ 観察方法別ガイド

タップすると観察方法に沿ったアシストガイド画面に遷移しま す。

🕑 補足

ここで表示される観察方法は、アクセサリーの装着状態により、 実行可能と判断された観察方法のみ選択可能になります。

■ 調整項目別ガイド

タップすると調整したい項目別のアシストガイド画面に遷移し ます。

▼ Assist Guide 画面構成(Top)

ガイド 方法を選択してく: 観察方法別ガイド	どさい		
Hikiy(GF)	Ci相差(Ph)	徽 分于渗(DiC)	SKX(Epi-FL)
NAMO	IaMI		
調整項目別ガイド			

▼ Assist Guide 画面構成(Top)

ガイド方法を選択してくだ	さい		≜
明視 打(BF)	位相差(Ph)	微分干涉(DIC)	董光(Epi+FL)
調整項目別ガイド			
ケーラー 新明(BF)	リング調整(Ph)	方位课程(DIC)	NAMC 强整(NAMC)

10.1.2 Assist Guide 画面(ガイド中)

■ _____ (Top)

Assist Guide 画面(Top)に戻ります。

Break)

タップすると、休憩中のメッセージが表示され、ガイドを途中 でとめることができます。 [OK]をタップすると、ガイドを再開します。

🕑 補足

■ ガイド項目

ガイドの概略です。 タップした項目からガイドを始めることができます。

■ ガイド表示エリア

ガイド内容を表示します。 画面中央に表示された画像をタップすると、画像が拡大表示されます。もう一度タップすると、元の画面に戻ります。

♥ アシスト鏡筒ベースを使用している場合

アシスト鏡筒ベースを使用している場合、ガイド表示エリア左側 にアシストカメラの Live 画像が表示されます。 画像をタップすると、画像が拡大表示されます。もう一度タップ すると、元の画面に戻ります。 ▼ Assist Guide 画面構成(ガイド中)





▼ スマートフォン使用時の画面





▼ 設定の表示(スマートフォン使用時)



▼ 画面の切替え



■ ページ遷移

画面の遷移状況を表示します。 [<]/[>]でページを移動します。

■ 🛒 (表示画像の切替え)

全体像と操作する位置を指示した画像の表示を切り替えます。

ňa

調整ガイドツール

調整状態の表示

のON/OFF

バー

■ アシストカメラのライブ画像

タップすると、画像を拡大表示します。

■ 🛛 (調整ガイドツールの ON / OFF)

アシストカメラのライブ画像上に、調整ガイドのツールを表示 します。

✓ 注意

明るさなどの設定によっては、うまく機能しないことがありま す。

■ 調整状態の表示バー

フォーカス値や輝度などの調整時に、調整状態を表示します。 バーが右に行くほど調整が正しい状態です。

■ アシストカメラの調整

アシストカメラ画像の調整画面を表示します。

ホワイトバランスの調整や、アシストカメラの視野を双眼部の 視野と同じ位置やサイズに調整することができます。

■ 光軸の調整

アシストカメラのライブ画像上に白い交差線が表示された場 合は、交差線が緑色になるまで光軸を調整します。

▼ 光軸の調整(例:ケーラー照明 NG 時)

▼ アシストカメラのライブ画像

サンプルに焦点を合わせてください。

<

アシストカメラ のライブ画像

萤光(Epi-FL

1 条件段定

巴小腿

3 光触胞

4 蛍光観察

アシストカメラの調整



▼ 光軸の調整(例:ケーラー照明 OK 時)





電動装置を使用しており、画面上に Motorized と表示されて いる場合は、[Auto]をタップすると、ガイドの指示にあせて装 置が自動的に制御されます。

▼ 電動装置の操作



■ 状態検出アクセサリーの操作 Intelligent

検鏡方法に適さないアクセサリーが光路にある、もしくは状態 の場合、 [●] マークが表示されます。

ガイド内容にそって、適正な状態に切り替えると 🚺 マークが 消え、次のページに移動できるようになります。

📀 電動・状態検出アクセサリーを使用する場合

状態検出可能なアクセサリー(電動・状態検出)を装着している 場合で、検鏡方法に適した状態になっていれば、該当のガイド画 面はスキップされ、次のガイド画面が表示されます。 また一度検鏡方法に適した状態に設定したアクセサリーを誤っ て操作した場合は、該当のガイド画面に戻ります。

■ 便利機能

■ ヘルプ

す。

調整方法などを表示します。

▼ 状態検出アクセサリーの操作



▼ 便利機能



[<]でガイドに戻ります。

ヘルプ画面を表示します。

うまく調整できないときなどに、解決方法やヒントを表示しま

▼ 便利機能画面

蛍光(Epi−FL)			1	60x exasRed_1	2	â
1 条件設定						
2 101-1882						
3 光軸調整						
4 繁光觀察						
		视频周	壁を行う			
		NE ALLEI	壁を行う			
	 	(C.P	機能			

▼ ヘルプ機能

top 蛍光(Epi-Fi	L)	TexasRed_1 👤 🔒
1 条件設定	サンプルに焦点を合わせてください。	
2 比小調整		便利機能 ヘルプ
3 光相調整		
4 蛍光観察		
		19
	[42 / 43]	— >

[<]でガイドに戻ります。

▼ ヘルプ画面

TOP	蛍光(Epi-Fi	L)		60x TexasRed_1	2	a
1	条件設定					
2	ピント調整					
3	光幅调整					
4	堂光観察		細胞が見つからない			
			明るさを調整したい			
			照明ようがある			
			光が届いていない			
		<	 Help	- >		
		<	 Help	- >		

▼ XYZ 画面の呼出し

TOP	萤光(Epi-Fi	L)	60x TexasRed_1	₽	â
1	条件設定	サンプルの観察エリアを目視で対物レンズ中心に移動してください。			
2	じた問題	xyz			
3	光釉調整				
4	宝光観察				
		(33/4)	- >		

電動ステージのガイド画面にて、[XYZ]をタップすると XYZ 画

■ XYZ (Ti2-Eのみ)

面に遷移します。

操作方法については、「8.2 XYZ画面」を参照してください。

操作後に XYZ 画面から Assist Guide 画面に戻るには、[Assist ▼ XYZ 画面から Assist Guide 画面へ戻る場合 Guide]をタップします。



▼ 光路選択画面

蛍光(Epi−FL)		60x 👤 🔒
1 条件設定	観察ポートを選択してください。	
2 比片調整		
3 光相调整		
4 30光銀展		
		- EYE
	Side NGA	
		R100
	AUX	_
	< [21 / 30]	- >

■ 光路選択

観察で使用する光路を選択します。 選択すると、次のページに遷移します。

10.2 アシストガイドの開始

観察方法別ガイドを選択した場合、観察したい観察方法の条件を設定すると、ガイドが開始されます。 調整項目別ガイドを選択した場合、その項目の調整用ガイドが開始されます。

設定する条件は選択したガイド方法によって異なりますので、それぞれに表示される条件設定のガイドにそって、設定してください。

✔ 注意

アシストガイドを開始する場合、事前に顕微鏡の構成や対物レンズなどの光学素子を登録しておく必要があります。 使用している顕微鏡ごとに、以下を参照してください。

- Ti2-Aの場合

 「3.3 [システム]顕微鏡構成の表示と手動登録」
 「3.5 [光学素子]光学素子の設定」

 Ti2-Eの場合
 - 「7.3 [システム] 顕微鏡構成の表示と手動登録」
 - 「7.5 [光学素子]光学素子の設定」

基本的な条件設定の流れについて説明します。

1. [Assist Guide]をタップします。

Assist Guide 画面が表示されます。

▼ Assist Guideの開始

Home		XYZ	Assist Guide					ţ j :
Check	Mode	Display						
⇒Ô	NSI TI2-E	001	т12-е	Standard	set	DIA		
			C 100	e N Dry	Capture	ON	dic 🖳 🔊 Out	M Ô 1.0x
			FL) L.D	CO MPL1	608 NI	*	DIC (P) IN	FnL 101 OUT
			FU Let	Open	ESC A Esc	epi ON	B OUT	Fn1 MODE1 LOAD:SAVE
	9		BAI	CO PEN	EYE O Close	۴۹ ایک اف	LAPPI	Fn2 MODE2 LOAD:SAVE
			۲ د		DIA SHTRO Close		DIC 🕞 100xd-R	Fn3 COND Jetl/Prs

2. 観察方法もしくは調整項目を選択します。

選択に応じた顕微鏡設定のガイドシーケンスへ進みます。

(ここでは蛍光観察を例に説明します。)

🕑 補足

ここで表示される観察方法は、アクセサリーの装着状態により、 実行可能と判断された観察方法のみ選択可能になります。

▼ ガイド方法の選択



3. 観察に使用する対物レンズを選択します。

▼ 観察用対物レンズの選択



- 4. 蛍光観察で使用する照明装置を選択します。
- ▼ 照明装置の選択



- 5. C-LEDFI 装着時は、蛍光観察で使用する光源の波長を選択 します。
- ▼ 光源の波長選択(C-LEDFI 装着時)



D-LEDI 装着時で Async モードの場合は、蛍光観察で使用 ▼ 光源の波長選択(D-LEDI 装着時) する光源の波長を選択します。

Sync モードの場合は、光源の波長選択画面は表示されませ ん。

☆ 蛍光(Epi-FL)	20x 👤 畣
	宝光観察で使用する光源の波長を選択してください。	
	LED1 LED2 385 nm 475 nm	
	LED3 LED4	
<		

6. 色素を選択して、[OK]をタップします。

▼ 色素の選択



▼ フィルターキューブの選択

7. フィルターキューブを選択します。

★ 空光(Epi=FL) reaching ● ▲

 アイルターキュー方を選択して代表れ、

 アイルターキュー方を選択して代表れ、

 DAPL1

 FTC1

 FTC1

 FTRTC1

 TRTTC1

 TRTTC1

以上で、条件設定は終了です。

[開始]をタップすると、ガイドシーケンスに移行します。

以降は、画面に表示されたガイドにそって、顕微鏡を操作します。

▼ 条件設定完了



▼ ガイドの開始

TOP	蛍光(Epi−Fi	_)	TexasRed_1	2	÷.
1	条件設定	この章ではサンプルの設置からピットを合わせるところまでガイドします。 (サンプルのピッルを合わせやす)、「トゥカウック」3の対象レンプを使用しょ	:क)		
2	じた問題				
3	光相调整				
4	蛍光観察				
		< <u>[1 / 43]</u>	>		

🕑 注意

顕微鏡の LAN ケーブルや、顕微鏡が接続されている無線ルーターの LAN ケーブルを、社内(あるいは所内)のネットワーク に接続される場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

(アシストカメラをご使用の場合は、大量のパケットが LAN に流れますので、社内(あるいは所内)のネットワークへの接続は、推奨しません。)


付録: Ti2-E編

本章では、Ti2-E顕微鏡本体やジョイスティックのファンクションボタンへの割当て機能一覧について説明します。

11.1 ファンクションボタンの割当て機能一覧

11.1.1 Ti2-E 顕微鏡本体側ファンクションボタンの初期設定

Ti2-E 顕微鏡本体のファンクションボタンに割り当てられている初期設定の機能は以下のとおりです。

ボタン名	アプリ上の機能の表示名	ジョイスティックの LCD、 リモコン拡張ボタンの表示名	機能概要				
FnR ボタン	I/O 1 TRIG.	IO1 OUT	コントロールボックス I/O の Ch 1 をトリガー出力				
FnL ボタン	Indicator LED On<->Off	INDICATOR ON^OFF	顕微鏡本体前面の LED インジケーター類の点灯<->消灯				

11.1.2 ジョイスティック側ファンクションボタンの初期設定

ジョイスティックのファンクションボタンに割り当てられている初期設定の機能は以下のとおりです。

ボタン名	ジョイスティックの LCD 表示名	アプリ上の機能の表示名	機能概要
Fn1	MODE1 LOAD::SAVE	MODE 1 LOAD::SAVE	短押し:MODE1 再現 長押し:MODE1 記憶
Fn2	MODE2 LOAD :: SAVE	MODE 2 LOAD::SAVE	短押し:MODE2 再現 長押し:MODE2 記憶
Fn3	COND Jctl/Prs	Condenser Control with Joystick while pressing	押しながらジョイスティック X 方向で、 コンデンサーが、左:番地 UP、右:番地 DOWN
Fn4	COND-SHTR OP^CL	Condenser Shutter OPEN <-> CLOSE	コンデンサーのシャッター位置駆動
Fn5	FL#1 Jctl/Prs	Filter Turret 1 Control with Joystick while pressing	押しながらジョイスティック X 方向で、 FL ターレット1が、左:番地 UP、右:番地 DOWN
Fn6	FL#1-SHTR OP^CL	FL Shutter OPEN <-> CLOSE	FL ターレット 1 のシャッター OPEN <-> CLOSE

11.1.3 登録可能な機能

Ti2-E 顕微鏡本体およびジョイスティック(J/S)のファンクションボタンに割当て可能な機能は以下のとおりです。 以下リストの機能はすべて「Ti2 Control」から設定可能です。

						(√√	:初期設定、🗸	(:設定可能)	
	_	カテゴリー	機能の表示名	+4%-612-800 786	ジョイステ- 設定	ジョイスティックからの 設定可否		プリからの 設定可否	
NO.		サブカテゴリー	(ショイスティックのLCD、リモコン孤張ホタンの 表示名)	fixelia/sec	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	リモコンの拡張 ボタン
		(NULL)							
1			(NULL)	設定なし	~	~	~	~	~
	No	sepiece							
2			Nosepiece Control with Joystick while pressing (NSPC Jctl/Prs)	押しながらジョイスティック X 方向で、 レボが、左:番地 UP、右:番地 DOWN	1		√	~	
3			Nosepiece Position 1 (NSPC P1)	レボが 1 番地に駆動			~	~	~
4			Nosepiece Position 2 (NSPC P2)	レボが2番地に駆動			~	~	~
5			Nosepiece Position 3 (NSPC P3)	レボが3番地に駆動			*	~	~
6			Nosepiece Position 4 (NSPC P4)	レボが4番地に駆動			~	~	~
7			Nosepiece Position 5 (NSPC P5)	レボが 5番地に駆動			*	~	~
8			Nosepiece Position 6 (NSPC P6)	レボが6番地に駆動			*	~	~
9			Nosepiece Increment (NSPC INC)	レボが、番地UP方向へ隣接番地駆動			~	~	~
10			Nosepiece Decrement (NSPC DEC)	レボが、番地 DOWN 方向へ隣接番地駆動			~	~	~

						(√√	:初期設定、✓	:設定可能)	
		カテゴリー	機能の表示名		ジョイスティ	イッ クからの	アプリからの *******		
No.		サブカテゴリー	(ジョイスティックの LCD、リモコン拡張ボタンの 表示名)	機能概要	設定 J/Sの Enlact	回合 本機の Fal/FaD	J/Sの Enloc	設定可否 本機の Epil /Epp	リモコンの拡張
	Co	ndenser			1110	THE/THK	1110	THE/THK	***
11			Condenser Control with Joystick while pressing (COND Jctl/Prs)	押しながらジョイスティックX方向で、 コンデンサーが、左:番地UP、右:番地DOWN	✓✓ (Fn3)		√√ (Fn3)	~	
12			Condenser Position 1 (COND P1)	コンデンサーが 1 番地に駆動			~	~	~
13			Condenser Position 2 (COND P2)	コンデンサーが 2 番地に駆動			~	~	~
14			Condenser Position 3 (COND P3)	コンデンサーが 3番地に駆動			~	~	~
15			Condenser Position 4 (COND P4)	コンデンサーが 4番地に駆動			~	~	~
16			Condenser Position 5 (COND P5)	コンデンサーが 5番地に駆動			~	~	~
17			Condenser Position 6 (COND P6)	コンデンサーが 6番地に駆動			~	1	~
18			Condenser Position 7 (COND P7)	コンデンサーが 7番地に駆動			~	√	~
19			Condenser Increment	コンデンサーが、番地 UP 方向へ隣接番地駆動			~	~	~
20			Condenser Decrement	コンデンサーが、番地 DOWN 方向へ隣接番 地駆動			~	~	~
	Filt	ter Turret 1							
21			Filter Turret 1 Control with Joystick while pressing (FL#1 Jctl/Prs)	押しながらジョイスティックX 方向で、 FL ターレット1が、左:番地 UP、右:番地 DOWN	✓✓ (Fn5)		✓✓ (Fn5)	~	
22			Filter Turret 1 Position 1 (FI #1 P1)	FL ターレット1が1番地に駆動			~	~	~
23			Filter Turret 1 Position 2 (FL#1 P2)	FL ターレット1が2番地に駆動			~	~	~
24			Filter Turret 1 Position 3 (FL#1 P3)	FL ターレット1が3番地に駆動			~	~	~
25			Filter Turret 1 Position 4 (FL#1 P4)	FL ターレット1が4番地に駆動			~	~	~
26			Filter Turret 1 Position 5 (FL#1 P5)	FL ターレット1が5番地に駆動			~	~	~
27			Filter Turret 1 Position 6 (FL#1 P6)	FL ターレット1が6番地に駆動			~	~	~
28			Filter Turret 1 Increment (FL#1 INC)	FL ターレット1が、番地 UP 方向へ隣接番地 駆動			~	~	~
29			Filter Turret 1 Decrement (FL#1 DEC)	FL ターレット1が、番地 DOWN 方向へ隣接 番地駆動			~	~	~
	FL	Turret 2							•
30			Filter Turret 2 Control with Joystick while pressing (FL#2 Jctl/Prs)	押しながらジョイスティックX方向で、 FLターレット2が、左:番地UP、右:番地 DOWN	~		~	~	
31			Filter Turret 2 Position 1 (FL#2 P1)	FL ターレット2が1番地に駆動			~	\checkmark	~
32			Filter Turret 2 Position 2 (FL#2 P2)	FL ターレット2が2番地に駆動			~	~	~
33			Filter Turret 2 Position 3 (FL#2 P3)	FL ターレット2が3番地に駆動			~	~	~
34			Filter Turret 2 Position 4 (FL#2 P4)	FL ターレット2が4番地に駆動			~	~	~
35			Filter Turret 2 Position 5 (FL#2 P5)	FL ターレット2が5番地に駆動			~	~	~
36			Filter Turret 2 Position 6 (FL#2 P6)	FL ターレット2が6番地に駆動			~	~	~
37			Filter Turret 2 Increment (FL#2 INC)	FL ターレット2 が、番地 UP 方向へ隣接番地 駆動			~	√	~
38			Filter Turret 2 Decrement (FL#2 DEC)	FL ターレット2が、番地 DOWN 方向へ隣接 番地駆動			~	√	~

					(✓✓:初期設定、✓:設定可能)				
		カテゴリー	機能の表示名		ジョイスティ	イックからの 回本	ፓ	プリからの 設定可否	
No.		サブカテゴリー	(ジョイスティックの LCD、リモコン拡張ボタンの 表示名)	機能概要	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	リモコンの拡張 ボタン
	BA	Filter Wheel	1					I	
39			BA Filter Wheel 1 Control with Joystick while pressing	押しながらジョイスティックX方向で、 BAフィルターホイール1が、左:番地UP、 ち:番地DOWN	~		~	~	
40			BA Filter Wheel 1 Position 1	BA フィルターホイール1が1番地に駆動			~	√	~
41			(BA#1 P1) BA Filter Wheel 1 Position 2	BA フィルターホイール1が2番地に駆動			✓	1	~
42			(BA#1 P2) BA Filter Wheel 1 Position 3	BA フィルターホイール1が3番地に駆動			~	~	✓
			(BA#1 P3) BA Filter Wheel 1 Position 4				.1		
43			(BA#1 P4) BA Filter Wheel 1 Position 5				•	•	
44			(BA#1 P5) BA Filter Wheel 1 Position 6	BA フィルターホイール1が5番地に駆動	/		\checkmark	~	✓
45			(BA#1 P6)	BA フィルターホイール1が6番地に駆動		\square	~	√	✓
46			BA Filter Wheel 1 Position 7 (BA#1 P7)	BAフィルターホイール1が7番地に駆動			~	~	~
47			BA Filter Wheel 1 Increment (BA#1 INC)	BAフィルターホイール1が、番地UP方向 へ隣接番地駆動		~	\checkmark	~	√
48			BA Filter Wheel 1 Decrement (BA#1 DEC)	BA フィルターホイール 1 が、番地 DOWN 方向へ隣接番地駆動		~	\checkmark	~	✓
	BA	Filter Wheel	2		/				
			BA Filter Wheel 2 Control with Jovstick	押しながらジョイスティック X 方向で、					
49			while pressing (BA#2 Jctl/Prs)	BA フィルターホイール2 が、左:番地 UP、 右:番地 DOWN	~		~	~	
50			BA Filter Wheel 2 Position 1 (BA#2 P1)	BA フィルターホイール2が1番地に駆動			\checkmark	~	\checkmark
51			BA Filter Wheel 2 Position 2 (BA#2 P2)	BAフィルターホイール2が2番地に駆動			~	~	~
52			BA Filter Wheel 2 Position 3 (BA#2 P3)	BAフィルターホイール2が3番地に駆動			\checkmark	~	~
53			BA Filter Wheel 2 Position 4 (BA#2 P4)	BA フィルターホイール2が4番地に駆動			~	~	✓
54			BA Filter Wheel 2 Position 5 (BA#2 P5)	BAフィルターホイール2が5番地に駆動			~	~	~
55			BA Filter Wheel 2 Position 6 (BA#2 P6)	BAフィルターホイール2が6番地に駆動			~	~	~
56			BA Filter Wheel 2 Position 7 (BA#2 P7)	BA フィルターホイール2が7番地に駆動			~	~	~
57			BA Filter Wheel 2 Increment (BA#2 INC)	BAフィルターホイール2が、番地UP方向 へ隣接番地駆動		~	~	~	~
58			BA Filter Wheel 2 Decrement (BA#2 DEC)	BA フィルターホイール 2 が、番地 DOWN 方向へ隣接番地駆動		~	~	~	~
	Lig	ht Path							
59		Set	Light Path Control with Joystick while pressing (PATH Jctl/Prs)	押しながらジョイスティック XY 方向で、 X+:R100, X-:L100, Y+:EYE, Y-:L80 で光 路切替え	V		~	V	
60		Set	Light Path EYE (PATH EYE)	光路切替えを EYE に駆動			~	~	~
61		Set	Light Path RIGHT (PATH RIGHT)	光路切替えを R100 に駆動			~	~	~
62		Set	Light Path LEFT (PATH LEFT)	光路切替えを L100 に駆動			~	~	~
63		Set	Light Path AUX (PATH AUX)	光路切替えを AUX に駆動			\checkmark	~	~
64		Toggle	Light Path EYE <-> RIGHT (PATH EYE^R)	光路切替えを EYE <-> R100 でトグル			~	~	~
65		Toggle	Light Path EYE <-> LEFT (PATH EYE^L)	光路切替えを EYE <-> L100 でトグル			~	~	~
66		Toggle	Light Path EYE <-> AUX (PATH EYE^AUX)	光路切替えを EYE <-> AUX でトグル			~	~	~
67		Toggle	Light Path RIGHT <-> LEFT (PATH R^L)	 光路切替えを R100 <-> L100 でトグル			~	~	~
68		Toggle	Light Path RIGHT <-> AUX (PATH R^AUX)	 光路切替えを R100 <-> AUX でトグル			~	~	~

(✓✓:初期設定、	✓:設定可能)

		カテゴリー	機能の表示名		ジョイスティ	(** イックからの (河本)		: 設定可能 の の の の の の の の	
No.		サブカテゴリー	(ジョイスティックの LCD、リモコン拡張ボタンの 表示名)	機能概要	J/Sの Fn1~6		J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	リモコンの拡張 ボタン
69		Toggle	Light Path LEFT <-> AUX	光路切替えを L100 <-> AUX でトグル			~	~	~
70		Set	Light Path Rotation	光路を EYE -> R100 -> AUX -> L100 ->			~	~	~
	71)rive	(PATH ROT)						
			Z Drive Speed change	Z 粗動/微動 切替え(2-state 時)					
71			(Z SPD)	Z 粗動/微動/極微動 切替え(3-state 時)			~	~	~
72			Z Drive Display 0 Reset (Z DISP ZERO)	上下動 Z 軸座標を0 にリセット			~	~	~
73			Z Drive ESCAPE <-> REFOCUS (Z ESC^ REFOCUS)	上下動 退避 <-> 復帰でトグル	~		~	~	\checkmark
74			Z Drive ESCAPE (Z ESC)	上下動 退避			~	~	~
75			Z Drive REFOCUS (Z REFOCUS)	上下動 復帰			~	~	~
76			Z Drive Limit SET <-> CLEAR (Z-LMT SET::CLR)	上下動 ソフトウェアリミット 短押し:現在値をリミットに設定 長押し:リミットを解除			~	~	
77		LOAD::SAVE	Z Drive LOAD::SAVE 1 (Z M1 LOAD::SAVE)	短押し:Z位置1 再現 長押し:Z位置1 記憶			~	~	
78		LOAD::SAVE	Z Drive LOAD::SAVE 2	短押し:Z位置2再現			√	✓	
70			(Z MZ LOAD::SAVE) Z Drive LOAD::SAVE 3	長押し:2位直2記憶 短押し:2位置3再現			1	1	
			(Z M3 LOAD::SAVE) Z Drive LOAD::SAVE 4	長押し : Z 位置 3 記憶 短押し : Z 位置 4 再現					
80		LOAD::SAVE	(Z M4 LOAD::SAVE)	長押し:Ζ 位置4 記憶		/	~	~	
81		SAVE	(Z M1 SAVE)	Z 位置 1 記憶			~	~	~
82		SAVE	Z Drive SAVE 2 (Z M2 SAVE)	Z 位置 2 記憶			~	~	~
83		SAVE	Z Drive SAVE 3 (Z M3 SAVE)	Z 位置 3 記憶			~	~	~
84		SAVE	Z Drive SAVE 4 (Z M4 SAVE)	Z 位置 4 記憶			~	~	~
85		LOAD	Z Drive LOAD 1 (Z M1 LOAD)	Z 位置1 再現			~	~	~
86		LOAD	Z Drive SAVE 2 (Z M2 LOAD)	Z 位置 2 再現			~	~	~
87		LOAD	Z Drive LOAD 3	Z 位置 3 再現			✓	✓	~
88		LOAD	Z Drive LOAD 4	Z 位置 4 再現			~	~	~
	XY	Stage						1	I
	ĺ	-	XY Stage Speed Change	XY 粗動/微動 切替え(2-state 時)			1		1
89			(XY SPD)	XY 粗動/微動/極微動 切替え (3-state 時)			v	v	*
90			XY Stage X Display 0 Reset (X DISP ZERO)	XY ステージ X 軸座標を0 にリセット			~	~	~
91			XY Stage Y Display 0 Reset (Y DISP ZERO)	XY ステージ Y 軸座標を 0 にリセット			~	~	✓
92			XY Stage XY Display 0 Reset (XY DISP ZERO)	XY ステージ XY 軸座標を 0 にリセット			~	~	~
93			XY Stage FIXED SPEED Enable <-> Disable	XY ステージ ジョイスティックの一定速度 モード ON <-> OFF	~		~	~	~
94			XY Stage Change FINE SPEED Standard <-> Slow	XY ステージ ジョイスティックの微動速度 通常 <-> 低速	~		~	~	~
95		LOAD::SAVE	(XY Stage LOAD::SAVE 1 (XY M1 LOAD::SAVE)	短押し:XY 位置 1 再現 長押し:XY 位置 1 記憶			√	~	
96		LOAD::SAVE	XY Stage LOAD::SAVE 2 (XY M2 LOAD::SAVE)	短押し:XY 位置 2 再現 長押し:XY 位置 2 評価			~	~	
97		LOAD::SAVE	XY Stage LOAD::SAVE 3				√	~	
			XY Stage LOAD::SAVE 4	1を11HU : XY 位置 4 再現	\leftarrow				\sim
98		LUAD .: SAVE	(XY M4 LOAD::SAVE)	長押し:XY 位置4 記憶			v	v	

					(✓✓:初期設定、✓:設定可能)				
		カテゴリー	機能の表示名		ジョイスティ	ィックからの	ア	プリからの	
No.		サブカテゴリー	・ (ジョイスティックの LCD、リモコン拡張ボタンの 表示名)	機能概要	」 J/Sの En1〜6	回音 本機の Enl/EnR	J/Sの En1~6	設定可否 本機の Enl/EnR	リモコンの拡張
99		SAVE	XY Stage SAVE 1	XY 位置 1 記憶			✓	√	✓
100		SAVE	XY Stage SAVE 2	XY 位置 2 記憶			~	~	~
101		SAVE	XY Stage SAVE 3	XY 位置 3 記憶			~	~	~
102		SAVE	XY Stage SAVE 4	XY 位置4 記憶			~	✓	~
103		LOAD	XY Stage LOAD 1 (XY M1 LOAD)	XY 位置 1 再現			~	\checkmark	~
104		LOAD	XY Stage SAVE 2 (XY M2 LOAD)	XY 位置 2 再現			~	~	~
105		LOAD	XY Stage LOAD 3 (XY M3 LOAD)	XY 位置 3 再現			~	~	~
106		LOAD	XY Stage LOAD 4 (XY M4 LOAD)	XY 位置 4 再現			~	~	~
	Ex	ternal Shutte	r						1
107		Shutter1	External Shutter OPEN <-> CLOSE (SHTR#1 OP^CL)	電動シャッター1の OPEN <-> CLOSE	~	~	~	~	~
108		Shutter2	External Shutter OPEN <-> CLOSE (SHTR# 2 OP^CL)	電動シャッター2の OPEN <-> CLOSE	~	~	~	\checkmark	~
	FL	Shutter							
109		Shutter1	FL Shutter OPEN <-> CLOSE (FL#1-SHTR OP^CL)	FL ターレット1のシャッター OPEN <-> CLOSE	✓✓ (Fn6)		✓✓ (Fn6)	~	~
110		Shutter2	FL Shutter OPEN <-> CLOSE (FL#2-SHTR OP^CL)	FL ターレット 2 のシャッター OPEN <-> CLOSE	~		~	~	~
	Со	ndenser Shut	ter		1	1			1
111			Condenser Shutter OPEN <-> CLOSE (COND-SHTR OP^CL)	コンデンサーのシャッター位置駆動	✓✓ (Fn4)		✓✓ (Fn4)	~	~
	DI	A LED			T				
112			DIA LED Control with Z handle while pressing (DIA-LED Zctl/Prs)	押しながら焦準ノブで調光	~		~	~	
113			DIA LED ON <-> OFF (DIA-LED ON^OFF)	LED 透過照明の ON <-> OFF			~	~	~
114			DIA LED UP (DIA-LED UP)	LED 透過照明光量 UP			~	~	~
115			DIA LED DOWN (DIA-LED DN)	LED 透過照明光量 DOWN			~	\checkmark	~
	DI	A Halogen	•		~				
116			DIA Halogen Control with Z handle while pressing (DIA-LMP Zctl/Prs)	押しながら焦準ノブで調光	~		~	√	
117			DIA Halogen ON <-> OFF (DIA-LMP ON^OFF)	ハロゲン透過照明の ON <-> OFF			~	~	~
118			DIA Halogen UP (DIA-LMP UP)	ハロゲン透過照明光量 UP			~	\checkmark	~
119			(DIA Halogen DOWN (DIA-LMP DN)	ハロゲン透過照明光量 DOWN			~	~	~
	PF	S	·		<i>x</i>	~			
120			PFS ON <-> OFF (PFS ON^OFF)	PFSのON <-> OFF			~	~	~
121			PFS DM IN <-> OUT (PFS-DM IN^OUT)	PFS ダイクロイックミラーの IN <-> OUT	~		~	~	~
122			PFS Offset Origin (PFS-OFST ORG)	オフセットレンズを基準位置に駆動		~	~	~	~
123			PFS LED OFF (PFS-LED OFF) PFS Offset dial Speed	PFSのLED 消灯			~	√	✓
124			(PFS-OFST SPD)	PFS オフセットノブの粗動/微動切替え			~	~	✓
	Tu	be Base				_			
125			Tube Base Control with Joystick while pressing (EXPH Jctl/Prs)	押しながらジョイスティックX方向で、 鏡筒ベースの外部位相差ターレットが、左: 番地 UP、右:番地 DOWN	~		~	~	
126			Tube Base Position O (EXPH PO)	鏡筒ベースの外部位相差ターレットが O番地に駆動			~	~	~
127			Tube Base Position 1 (EXPH P1)	鏡筒ベースの外部位相差ターレットが1番 地に駆動			~	~	~
128			Tube Base Position 2 (EXPH P2)	鏡筒ベースの外部位相差ターレットが 2番 地に駆動			~	\checkmark	~

(✓✓:初期設定、✓:設定可能)

		カテゴリー	機能の表示名		ジョイスティ	(ックからの 回答	. 105-0120LC 7	プリからの設定可否	
No.		サブカテゴリー	(ジョイスティックの LCD、リモコン拡張ボタンの 表示名)	機能概要	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	リモコンの拡張 ボタン
129			Tube Base Position 3 (EXPH P3)	鏡筒ベースの外部位相差ターレットが 3番 地に駆動			~	~	~
130			Tube Base Increment (EXPH INC)	鏡筒ベースの外部位相差ターレットが、番地 UP 方向へ隣接番地駆動		~	~	~	~
131			Tube Base Decrement (EXPH DEC)	鏡筒ベースの外部位相差ターレットが、番地 DOWN 方向へ隣接番地駆動		~	~	~	~
	Ma	ain Branch							•
132			Main Branch Mirror1 IN <-> OUT (MBRANCH#1 IN^OUT)	落射照明装置のLappメインブランチ1のIN <-> OUT	~	~	~	~	~
133			Main Branch Mirror2 IN <-> OUT (MBRANCH#2 IN^OUT)	落射照明装置のLapp メインブランチ2のIN <-> OUT	~	~	~	~	~
	Su	b Branch							
134			Sub Branch Mirror IN <-> OUT (SBRANCH IN^OUT)	落射照明装置の Lapp サブブランチの IN <-> OUT	~	~	✓	~	~
	C-I	LEDFI							
135			C-LEDFI Select UNIT 1 (C-LED SLCT1)	蛍光 LED 光源の LED ユニット#1 選択			~	~	~
136			C-LEDFI Select UNIT 2 (C-LED SLCT2)	蛍光 LED 光源の LED ユニット#2 選択		\square	~	~	~
137			C-LEDFI Select UNIT 3 (C-LED SLCT3)	蛍光 LED 光源の LED ユニット#3 選択			~	~	~
138			C-LEDFI Select UNIT 4 (C-LED SLCT4)	蛍光 LED 光源の LED ユニット#4 選択			~	~	~
139			C-LEDFI Rotation (C-LED SLCT ROT)	蛍光LED光源のLEDユニットを #1 -> #2 -> #3 -> #4 -> #1 で切替え			~	~	~
140			C-LEDFI UP (C-LED UP)	蛍光 LED 光源の選択 LED ユニット 光量 UP			~	~	~
141			C-LEDFI DOWN (C-LED DN)	蛍光 LED 光源の選択 LED ユニット 光量 DOWN			~	~	~
142			C-LEDFI ON <-> OFF (C-LED ON^OFF)	蛍光 LED 光源の選択 LED ユニット ON <-> OFF			~	✓	~
	Int	tensilight							
143			Intensilight Control with Joystick while pressing (INTSL 1ctl/Prs)	押しながらジョイスティック X 方向で、左: ND が UP (光量 DOWN)、右: ND が DOWN (光量 UP)			*	*	
144			Intensilight DOWN (INTSL DN)	IntensiLightのNDがUP(光量DOWN)			~	~	~
145			Intensilight UP (INTSL UP)	IntensiLight の ND が DOWN (光量 UP)			~	~	~
146			Intensilight Shutter OPEN <-> CLOSE (INTSL-SHTR OP^CL)	IntensiLight のシャッター OPEN <-> CLOSE			~	~	~
	Co	rrection Colla	r		·	·			
147			Correction Collar Control with Z handle while pressing	押しながら焦準ノブ 雷動補正環+-駆動	~		~	~	
			(COR-COL Zctl/Prs)						
	MC	DDE							
148		SAVE	MODE 1 SAVE (MODE1 SAVE)	MODE1 記憶			✓	~	~
149		SAVE	MODE 2 SAVE (MODE2 SAVE)	MODE2 記憶			~	~	~
150		SAVE	MODE 3 SAVE (MODE3 SAVE)	MODE3 記憶	\square	\square	✓	~	~
151		SAVE	MODE 4 SAVE (MODE4 SAVE)	MODE4 記憶		\square	~	~	~
152		SAVE	(MODE 5 SAVE)	MODE5 記憶	\square	\square	√	✓	~
153		SAVE	(MODE 6 SAVE)	MODE6 記憶	\square	\square	√	✓	~
154		SAVE	MODE 7 SAVE (MODE7 SAVE)	MODE7 記憶	\square	\square	✓	~	~
155		SAVE	MODE SAVE (MODES SAVE)	MODE8 記憶	\square		~	~	~
156		LOAD	(MODE 1 LOAD)	MODE1 再現	\square		~	~	✓
157		LOAD	(MODE2 LOAD)	MODE2 再現	\square	\square	√	~	~
158		LOAD	(MODE3 LOAD)	MODE3 再現	$\langle \rangle$		✓	✓	~
159		LOAD	(MODE4 LOAD)	MODE4 再現		\swarrow	✓	~	 ✓
160		LOAD	(MODES LOAD)	MODE5 再現			√	✓	~

					(✓✓:初期設定、✓:設定可能)				
		カテゴリー	機能の表示名		ジョイスティ 設定	イッ クからの 可否	アプリからの 設定可否		
No.		サブカテゴリー	(ジョイスティックのLCD、リモコン拡張ボタンの 表示名)	機能概要	J/SØ Enloch	本機の Enl /EnP	J/Sの En1cc6	本機の End /EnP	リモコンの拡張
161		LOAD	MODE 6 LOAD (MODE6 LOAD)	MODE6 再現			√ V	√	√ √
162		LOAD	MODE 7 LOAD (MODE7 LOAD)	MODE7 再現			~	~	~
163		LOAD	MODE 8 LOAD (MODE8 LOAD)	MODE8 再現			\checkmark	~	~
164		LOAD::SAVE	MODE 1 LOAD::SAVE (MODE1 LOAD::SAVE)	短押し:MODE1 再現 長押し:MODE1 記憶	✓✓ (Fn1)	~	✓✓ (Fn1)	~	
165		LOAD::SAVE	MODE 2 LOAD::SAVE (MODE2 LOAD::SAVE)	短押し:MODE2 再現 長押し:MODE2 記憶	✓✓ (Fn2)	~	✓✓ (Fn2)	~	
166		LOAD::SAVE	MODE 3 LOAD::SAVE (MODE3 LOAD::SAVE)	短押し:MODE3 再現 長押し:MODE3 記憶	\checkmark	~	\checkmark	~	
167		LOAD::SAVE	MODE 4 LOAD::SAVE (MODE4 LOAD::SAVE)	短押し:MODE4 再現 長押し:MODE4 記憶	~	~	\checkmark	~	
168		LOAD::SAVE	MODE 5 LOAD::SAVE (MODE5 LOAD::SAVE)	短押し:MODE5 再現 長押し:MODE5 記憶			~	~	
169		LOAD::SAVE	MODE 6 LOAD::SAVE (MODE6 LOAD::SAVE)	短押し:MODE6 再現 長押し:MODE6 記憶			~	~	
170		LOAD::SAVE	MODE 7 LOAD::SAVE (MODE7 LOAD::SAVE)	短押し:MODE7 再現 長押し:MODE7 記憶			~	✓	
171		LOAD::SAVE	MODE 8 LOAD::SAVE (MODE8 LOAD::SAVE)	短押し:MODE8 再現 長押し:MODE8 記憶			~	✓	
	I/(O OUT			/	/			
172		TRIG.	I/O 1 TRIG. (IO1 OUT)	コントロールボックス I/O の Ch 1 をトリガ 一出力	~	✓✓ (FnR)	~	✓✓ (FnR)	
173		TRIG.	I/O 2 TRIG. (IO2 OUT)	コントロールボックス I/O の Ch 2 をトリガ 一出力	~	~	~	✓	
174		TRIG.	I/O 3 TRIG. (IO3 OUT)	コントロールボックス I/O の Ch 3 をトリガ 一出力			~	~	
175		TRIG.	I/O 4 TRIG. (IO4 OUT)	コントロールボックス I/O の Ch 4 をトリガ 一出力			~	~	
176		TRIG.	I/O 5 TRIG. (IO5 OUT)	コントロールボックス I/O の Ch 5 をトリガ 一出力			~	~	
177		TRIG.	I/O 6 TRIG. (IO6 OUT)	コントロールボックス I/O の Ch 6 をトリガ 一出力			~	~	
178		TRIG.	I/O 7 TRIG. (IO7 OUT)	コントロールボックス I/O の Ch 7 をトリガ 一出力			\checkmark	~	
179		TRIG.	I/O 8 TRIG. (IO8 OUT)	コントロールボックス I/O の Ch 8 をトリガ 一出力			~	~	
180		High<-> Low Toggle	I/O 1 High <-> Low Toggle (IO1 HI^LO)	コントロールボックス I/O の Ch 1 の出力 Hi <-> Low	~	~	~	~	√
181		High<-> Low Toggle	I/O 2 High <-> Low Toggle (IO2 HI^LO)	コントロールボックス I/O の Ch 2 の出力 Hi <-> Low	~	~	~	~	✓
182		High<-> Low Toggle	I/O 3 High <-> Low Toggle (IO3 HI^LO)	コントロールボックス I/O の Ch 3 の出力 Hi <-> Low			~	~	~
183		High<-> Low Toggle	I/O 4 High <-> Low Toggle (IO4 HI^LO)	コントロールボックス I/O の Ch 4 の出力 Hi <-> Low			~	~	~
184		High<-> Low Toggle	I/O 5 High <-> Low Toggle (IO5 HI^LO)	コントロールボックス I/O の Ch 5 の出力 Hi <-> Low			\checkmark	\checkmark	~
185		High<-> Low Toggle	I/O 6 High <-> Low Toggle (IO6 HI^LO)	コントロールボックス I/O の Ch 6 の出力 Hi <-> Low			\checkmark	\checkmark	~
186		High<-> Low Toggle	I/O 7 High <-> Low Toggle (IO7 HI^LO)	コントロールボックス I/O の Ch 7 の出力 Hi <-> Low			\checkmark	\checkmark	~
187		High<-> Low Toggle	I/O 8 High <-> Low Toggle (IO8 HI^LO)	コントロールボックス I/O の Ch 8 の出力 Hi <-> Low			~	~	~
188		PUSH	I/O 1 PUSH (IO1 HI/Prs)	コントロールボックス I/O の Ch 1 の出力 プッシュ時 Hi	~	~	\checkmark	~	
189		PUSH	I/O 2 PUSH (IO2 HI/Prs)	コントロールボックス I/O の Ch 2 の出力 プッシュ時 Hi	~	~	~	~	
190		PUSH	I/O 3 PUSH (IO3 HI/Prs)	コントロールボックス I/O の Ch 3 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
191		PUSH	I/O 4 PUSH (IO4 HI/Prs)	コントロールボックス I/O の Ch 4 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
192		PUSH	I/O 5 PUSH (IO5 HI/Prs)	コントロールボックス I/O の Ch 5 の出力 プッシュ時 Hi			\checkmark	~	
193		PUSH	I/O 6 PUSH (IO6 HI/Prs)	コントロールボックス I/O の Ch 6 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
194		PUSH	I/O 7 PUSH (IO7 HI/Prs)	コントロールボックス I/O の Ch 7 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
195		PUSH	I/O 8 PUSH (IO8 HI/Prs)	コントロールボックス I/O の Ch 8 の出力 プッシュ時 Hi			~	\checkmark	

カテゴリー		カテゴリー	機能の表示名		ジョイスティックからの 設定可否		アプリからの 設定可否			
No.		サブカテゴリー	(ジョイスティックの LCD、リモコン拡張ボタンの 表示名)	機能概要	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	リモコンの拡張 ボタン	
	Ex	.I/O OUT								
196		TRIG.	EXI/O 1 TRIG. (EXIO1 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 1 をトリガー出力			\checkmark	~		
197		TRIG.	EXI/O 2 TRIG. (EXIO2 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 2 をトリガー出力			~	~		
198		TRIG.	EXI/O 3 TRIG. (EXIO3 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 3 をトリガー出力			~	~		
199		TRIG.	EXI/O 4 TRIG. (EXIO4 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 4 をトリガー出力			\checkmark	~		
200		TRIG.	EXI/O 5 TRIG. (EXIO5 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 5 をトリガー出力			\checkmark	~		
201		TRIG.	EXI/O 6 TRIG. (EXIO6 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 6 をトリガー出力			~	~		
202		TRIG.	EXI/O 7 TRIG. (EXIO7 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 7 をトリガー出力			~	~		
203		TRIG.	EXI/O 8 TRIG. (EXIO8 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 8 をトリガー出力			~	~		
204		TRIG.	EXI/O 9 TRIG. (EXIO9 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 9 をトリガー出力			\checkmark	~		
205		TRIG.	EXI/O 10 TRIG. (EXIO10 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 10 をトリガー出力			~	~		
206		TRIG.	EXI/O 11 TRIG. (EXIO11 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 11 をトリガー出力			~	~		
207		TRIG.	EXI/O 12 TRIG. (EXIO12 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 12 をトリガー出力			\checkmark	~		
208		TRIG.	EXI/O 13 TRIG. (EXIO13 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 13 をトリガー出力			\checkmark	~		
209		TRIG.	EXI/O 14 TRIG. (EXIO14 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 14 をトリガー出力			\checkmark	~		
210		TRIG.	EXI/O 15 TRIG. (EXIO15 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 15 をトリガー出力			\checkmark	~		
211		TRIG.	EXI/O 16 TRIG. (EXIO16 OUT)	拡張ボックス I/O の Ch 16 をトリガー出力			~	~		
212		High<-> Low Toggle	EXI/O 1 High <-> Low Toggle (EXIO1 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 1 の出力 Hi <-> Low			\checkmark	~	~	
213		High<-> Low Toggle	EXI/O 2 High <-> Low Toggle (EXIO2 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 2 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
214		High<-> Low Toggle	EXI/O 3 High <-> Low Toggle (EXIO3 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 3 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
215		High<-> Low Toggle	EXI/O 4 High <-> Low Toggle (EXIO4 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 4 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
216		High<-> Low Toggle	EXI/O 5 High <-> Low Toggle (EXIO5 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 5 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
217		High<-> Low Toggle	EXI/O 6 High <-> Low Toggle (EXIO6 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 6 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
218		High<-> Low Toggle	EXI/O 7 High <-> Low Toggle (EXIO7 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 7 の出力 Hi <-> Low			\checkmark	~	~	
219		High<-> Low Toggle	EXI/O 8 High <-> Low Toggle (EXIO8 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 8 の出力 Hi <-> Low			\checkmark	~	~	
220		High<-> Low Toggle	EXI/O 9 High <-> Low Toggle (EXIO9 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 9 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
221		High<-> Low Toggle	EXI/O 10 High <-> Low Toggle (EXIO10 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 10 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
222		High<-> Low Toggle	EXI/O 11 High <-> Low Toggle (EXIO11 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 11 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
223		High<-> Low Toggle	EXI/O 12 High <-> Low Toggle (EXIO12 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 12 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
224		High<-> Low Toggle	EXI/O 13 High <-> Low Toggle (EXIO13 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 13 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
225		High<-> Low Toggle	EXI/O 14 High <-> Low Toggle (EXIO14 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 14 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
226		High<-> Low Toggle	EXI/O 15 High <-> Low Toggle (EXIO15 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 15 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
227		High<-> Low Toggle	EXI/O 16 High <-> Low Toggle (EXIO16 HI^LO)	拡張ボックス I/O の Ch 16 の出力 Hi <-> Low			~	~	~	
228		PUSH	EXI/O 1 PUSH (EXIO1 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 1 の出力 プッシュ時 Hi			\checkmark	~		
229		PUSH	EXI/O 2 PUSH (EXIO2 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 2 の出力 プッシュ時 Hi			~	~		
230		PUSH	EXI/O 3 PUSH (EXIO3 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 3 の出力 プッシュ時 Hi			1	~		

						(🗸	:初期設定、🗸	:設定可能)	
No.		カテゴリー	機能の表示名		ジョイスティックからの 設定可否		アプリからの 設定可否		
		サブカテゴリー	(ジョイスティックのLCD、リモコン拡張ボタンの 表示名)	機能微要	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	J/Sの Fn1~6	本機の FnL/FnR	リモコンの拡張 ボタン
231		PUSH	EXI/O 4 PUSH (EXIO4 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 4 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
232		PUSH	EXI/O 5 PUSH (EXIO5 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 5 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
233		PUSH	EXI/O 6 PUSH (EXIO6 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 6 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
234		PUSH	EXI/O 7 PUSH (EXIO7 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 7 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
235		PUSH	EXI/O 8 PUSH (EXIO8 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 8 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
236		PUSH	EXI/O 9 PUSH (EXIO9 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 9 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
237		PUSH	EXI/O 10 PUSH (EXIO10 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 10 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
238		PUSH	EXI/O 11 PUSH (EXIO11 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 11 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
239		PUSH	EXI/O 12 PUSH (EXIO12 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 12 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
240		PUSH	EXI/O 13 PUSH (EXIO13 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 13 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
241		PUSH	EXI/O 14 PUSH (EXIO14 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 14 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
242		PUSH	EXI/O 15 PUSH (EXIO15 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 15 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
243		PUSH	EXI/O 16 PUSH (EXIO16 HI/Prs)	拡張ボックス I/O の Ch 16 の出力 プッシュ時 Hi			~	~	
	Indicator								
244			Indicator LED On<->Off (INDICATOR ON^OFF)	顕微鏡本体前面の LED インジケーター類の 点灯<->消灯	~	✓✓ (FnL)	\checkmark	✓✓ (FnL)	~
	Ob	Dijective Combination							
245			Objective Combination Run (OBJ-COMBI)	レボルバー - 光学素子連動			~	~	~

11.2 Ti2-E 顕微鏡本体 LED インジケーターの表示機能割当て一覧

11.2.1 登録可能な表示機能

Ti2-E 顕微鏡本体の FnL/FnR インジケーターに割当て可能な LED 表示は以下のとおりです。

No.	機能の表示名	機能の概要	設定時の状態
1		設定なし	何もしない
2	Shutter 1 Open/Close Status	シャッター1 点灯状態	点灯:OPEN、消灯:CLOSE
3	Shutter 2 Open/Close Status	シャッター2 点灯状態	点灯:OPEN、消灯:CLOSE
4	Main Branch 1 IN/OUT Status	メインブランチ1 状態	点灯:IN、消灯:OUT
5	Main Branch 2 IN/OUT Status	メインブランチ 2 状態	点灯:IN、消灯:OUT
6	Sub Branch IN/OUT Status	サブブランチ 状態	点灯:IN、消灯:OUT
7	C-LEDFI ON/OFF Status	蛍光 LED 光源選択 LED ユニット状態	点灯:ON、消灯:OFF
8	Intensilight Shutter Open/Close Status	IntensiLight シャッター状態	点灯:OPEN、消灯:CLOSE
9	DIC Polarizer IN/OUT Status	DIC ポラライザー状態	点灯:IN、消灯:OUT
10	DIC Analyzer IN/OUT Status	アナライザースロット状態	点灯:IN、消灯:OUT
11	Inter Mag. 1.5x/1x Status	中間変倍状態	点灯:1.5x、消灯:1x
12	Eyepiece Tubebase Camera Port IN/OUT Status	鏡筒ベースカメラポート状態	点灯:EYE(電動鏡筒、ポート鏡筒)、 OPEN(アシスト鏡筒) 消灯:DSC(電動鏡筒、ポート鏡筒)、 CLOSE(アシスト鏡筒)
13	Bertrand Lens IN/OUT Status	ベルトランレンズ状態	点灯:IN、消灯:OUT
14	Assist Camera ON/OFF Status	アシストカメラ電源状態	点灯:ON、消灯:OFF
15	Control Box I/O 1 Output Hi/Low Status	コントロールボックス I/O の Ch 1 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
16	Control Box I/O 2 Output Hi/Low Status	コントロールボックス I/O の Ch 2 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
17	Control Box I/O 3 Output Hi/Low Status	コントロールボックス I/O の Ch 3 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
18	Control Box I/O 4 Output Hi/Low Status	コントロールボックス I/O の Ch 4 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
19	Control Box I/O 5 Output Hi/Low Status	コントロールボックス I/O の Ch 5 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
20	Control Box I/O 6 Output Hi/Low Status	コントロールボックス I/O の Ch 6 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
21	Control Box I/O 7 Output Hi/Low Status	コントロールボックス I/O の Ch 7 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
22	Control Box I/O 8 Output Hi/Low Status	コントロールボックス I/O の Ch 8 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
23	Extension I/O Box I/O 01 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 1 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
24	Extension I/O Box I/O 02 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 2 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
25	Extension I/O Box I/O 03 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 3 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
26	Extension I/O Box I/O 04 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 4 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
27	Extension I/O Box I/O 05 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 5 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
28	Extension I/O Box I/O 06 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 6 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
29	Extension I/O Box I/O 07 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 7 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
30	Extension I/O Box I/O 08 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 8 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
31	Extension I/O Box I/O 09 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 9 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
32	Extension I/O Box I/O 10 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 10 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
33	Extension I/O Box I/O 11 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 11 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
34	Extension I/O Box I/O 12 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 12 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
35	Extension I/O Box I/O 13 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 13 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
36	Extension I/O Box I/O 14 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 14 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
37	Extension I/O Box I/O 15 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 15 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low
38	Extension I/O Box I/O 16 Output Hi/Low Status	拡張ボックス I/O の Ch 16 出力状態	点灯:Hi、消灯:Low

11.3 ジョイスティックの LCD 画面の割り当て機能一覧

11.3.1 LCD 表示の初期設定

ジョイスティックの LCD 画面に割り当てられている表示機能の初期設定は以下のとおりです。

初期設定では、ジョイスティックの LCD 画面のページ数は4ページまでです。

ページ	行	機能の表示名	機能の概要
	2 行目	Nosepiece	対物レンズ情報
1ページ目	3 行目	Condenser	コンデンサー情報
	4 行目	Optical Path	光路切り替え情報
	2 行目	FL1	FL ターレット 1 情報
2ページ目	3 行目	Inter Mag.	中間変倍情報
	4 行目	Bertrand Lens	ベルトランレンズ情報
	2 行目	DIC Slider	DIC スライダー情報
3ページ目	3 行目	DIC Polarizer/Analyzer Slot	DIC ポラライザー、アナライザースロット情報
	4 行目		(設定なし)
	2 行目	DIA Lamp	LED 透過照明情報
4ページ目	3 行目	C-LEDFI	蛍光 LED 情報
	4 行目	C-HGFI	インテンシライト情報

11.3.2 登録可能な表示機能

No.	機能の表示名	機能の概要
1		(設定なし)
2	Nosepiece	対物レンズ情報
3	Condenser	コンデンサー情報
4	FL1	FL ターレット 1 情報
5	FL2	FL ターレット 2 情報
6	BA1	BA フィルターホイール 1 情報
7	BA2	BA フィルターホイール 2 情報
8	Optical Path	光路切替え情報
9	Eyepiece Tubebase	鏡筒ベースカメラポート情報
10	LAPP Main Branch 1	メインブランチ1(落射照明情報)
11	LAPP Main Branch 2	メインブランチ2(落射照明情報)
12	LAPP Sub Branch	サブブランチ(落射照明情報)
13	Shutter	電動シャッター情報
14	DIA Lamp	LED 透過照明情報
15	DIC Slider	DIC スライダー情報
16	DIC Polarizer/Analyzer Slot	DIC ポラライザー、アナライザースロット情報
17	Inter Mag.	中間変倍情報
18	Bertrand Lens	ベルトランレンズ情報
19	C-LEDFI	蛍光 LED 情報
20	C-HGFI	インテンシライト情報
21	Z	上下動 Z 位置情報 (*)

ジョイスティックの LCD 画面に割当て可能な表示機能は以下のとおりです。

(*) ファームウェアのバージョンが Ver.1.40 以降の場合に有効